わたしのドールブック
ジェニー
no.16
フランス人形風
ドレス
本多淑人作品
作り方説明と実物大型紙つき
日本ヴォーグ社 Heart Warming Life Series

1 トワル 生成の基本ドレス

ペチコート+ドレス　ピンクッション
作り方10・11ページ　型紙巻末A面

デザイン画から型紙を起こし、
仮の生地で仕立てて実際に着てみながら
全体のバランス等をチェックするのが
トワル出し（型出し）です。
今ジェニーが着ているのは、
出来上がったばかりのトワルと、
輪っかの入ったペチコート。
これから生地の柄や色を決めたり、
フリルやリボン等の飾りをつける位置を決めていきます。
さあ、この一つの型紙で
何通りのドレスに変身させられるか、
みなさんも自由にデザインして下さい。

昭和40年代に家庭を飾ったフランス人形をテーマに、
お子さまでも簡単に作れる工作感覚のドレスから、
懐かしいポーズ人形風のドレスや、
きらびやかなベルサイユ宮殿の舞踏会、
宝塚の舞台衣装風まで、
一度は作ってみたかった憧れのドレスを、
ご一緒に楽しく作りましょう。

CONTENTS

●表紙のモデルドール…本多淑人企画エイティーンジェニー（茶髪）　2ページの人形…モデルドール向って左から　ファーストジェニー　タカラバコオリジナルトム　ファッションステーションシオン　ファッションステーションサヤカ　トモキ　ウェディングたまき
●ジェニー以外の人形着用の服（参考商品）すべてpbファクトリー048-533-4082

デザイン・キャスティング・スタイリング・ヘアー・背景／本多淑人
制作協力／肥田野明枝　鈴木佳世子　宇田川恵子　見山恵子
スタイリング・背景協力／大野雅代　牧野良彦(p20)
カメラ／鈴木信雄　浅野あい(表紙・p16〜21)
レイアウト／前川デザイン事務所
版下／たにざきけいこ　カラーイラスト／わたぬきみちこ
原稿整理／大塚圭子　鈴木統子
編集担当／石坂文子

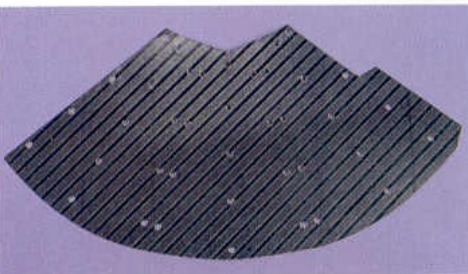
カンタン！華やか！デコレーションドレス①リボンのドレス

ケーキや花束に結ばれていたリボンがすてきなドレスに大変身！
レオタードドールをプレゼントするときにこんなラッピングは？
紙の土台に穴をあけてリボンを通して着せる、お子様からお年寄りまで工作感覚で作れるドレスです。
さあ！まずは、引出しの中を探してみましょう！
何かのときに使えるだろうと、とっておいた包装紙やリボン、なければカレンダーの裏に、
シールを貼ったり、絵を描いたり、リボンの変わりに残り毛糸やひも等、自由な発想で！

黄色のリボンのドレス

●材料　ケント紙（または同じくらいの厚さの紙）30cm×25cm、銀ストライプラッピングペーパー適量、金ラメ入りの包装用リボン2.5cm幅700cm、接着剤（ボンドGクリアー）、市販のレオタード（黄色）

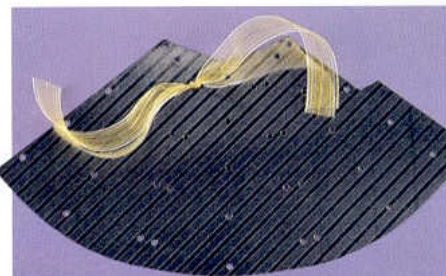
●型紙　ペーパースカート……………（A面）1枚

●作り方　**1**型紙より少し大きくケント紙を切り、ラッピングペーパーを上から貼り、型紙に合わせて切ります。リボンを通す穴をあけます。チェーンステッチは1個、蝶結びは2個並べてあけます。

2 贈りもの
黄色のリボンのドレス

レオタード＋紙のスカート
作り方4ページ　巻末型紙A面

2〈チェーンステッチ〉長いままのリボンを輪にして裏から進みたい方向の最初の穴に通します。リボンの端は10cmくらい残しておきます。

3次の穴にも同じように輪にしたリボンを通し、最初の輪の中をくぐらせて表に出します。これをくり返して最後の穴の手前まできたらリボンを15cmくらい残して切り、今度は輪にしないで表に出し、前の輪の中をくぐらせて同じ穴に表から通します。

4〈蝶結び〉両手で結べるくらいの長さ（30cm）に切ったリボンの端をそれぞれ裏から表に通し、ひと結びします。

5縦結びにならないように注意しながら好みの大きさの蝶結びにします。リボンの両端は二つ折りにした輪の方から斜めに切り取ります。

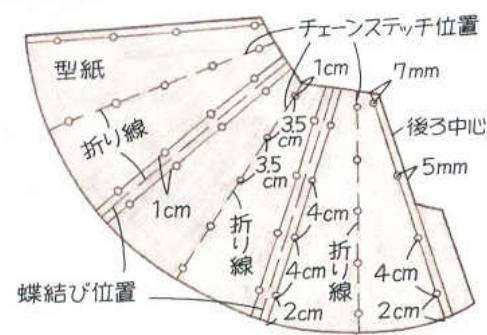
6後ろのつき合わせ部分を除いてリボンを通し、全体のバランスを見ながらリボンの形を整えます。

7裏に返してチェーンステッチの上下をきつめに結んで余分を切ります。

8後ろあきののりしろ部分をボンドで貼り合せ、しっかりくっつけます。レオタードを着せたお人形にはかせ、後ろあきにも裾から順にリボンを結びます。一番上は着せ替え用に長めにリボンの両端を残します（50cm）。

9レオタードの両肩にも蝶結び用に切ったリボンを通し（25cm）、形よく結んで両端を切ります。

●穴あけ位置
※紙を折りたたみ、折り山に沿って開けたもの。

●モデルドール／左からファーストジェニー　ジェニー（ストレート）　ジェニー（カール）

4 お誕生日　ピンクのリボンのドレス

レオタード＋紙のスカート
作り方4・5ページ　巻末型紙A面

●4の材料　黄色のリボンと同じ
●ピンクのリボンの穴あけ位置　巻末型紙A面
●作り方　黄色のリボンと同じでリボンはすべて蝶結びにします。

●3の材料　黄色のリボンと同じでリボンは400cm
●水色のリボンの穴あけ位置　巻末型紙A面
●作り方　黄色のリボンと同じで、リボンはすべてチェーンステッチをします。穴あけ位置は、型紙を参照します。

3 パーティ　水色のリボンのドレス

レオタード＋紙のスカート
作り方4・5ページ　巻末型紙A面

カンタン！華やか！デコレーションドレス②フリルのドレス

リボンのドレスは上手に出来ましたか？今度は同じスカートの形にフリルやテープなどをボンドで貼って作るドレスです。ここでは縁にテグスが入ってきれいな曲線が出るプリーツフリルと変わり山道テープを組み合わせています。

赤のフリルのドレス

●材料　ケント紙（または同じくらいの厚さの紙）30×25cm、3.8cm幅赤縁白ナイロンプリーツフリル200cm、白変わり山道テープ220cm、白6㎜幅サテンリボン50cm、6㎜幅銀メタリックリボン50cm、造花4個、リカピン、接着剤（ボンドGクリアー）、市販のレオタード

●型紙　ペーパースカート……………（A面）1枚

●作り方　**1**スカートの形に切ったケント紙に、フリルやレース幅に合わせて裾からウエストまでを等分にして印をつけ、肩ひも用の穴をセンターと後ろの端にあけておきます。

写真で目立つように赤印を使用。

2紙の端（裾）が見えないように変わり山道テープを貼ります。出来上がりで上になる後ろの部分は少し長く残しておきます。

5 野バラ　赤のフリルのドレス

レオタード＋紙のスカート＋髪飾り
作り方6ページ　巻末型紙A面

3下から順にフリルを貼り、フリルの上端を隠すように、変わり山道テープを貼ります。

4ウエストまで貼り終えたら後ろあきの部分のフリルと変わり山道テープを裏に折って貼ります。のりしろの部分はそのまま伸ばして貼ります。**1**であけた穴の上に重なったフリルなどにも穴をあけます。センターの穴にサテンリボンを半分に輪にして裏から通し、リボンの両端をその中に潜らせて肩ひもにします。

5 **4**のサテンリボンの中心から12cmまで、スカートと同様にフリルと変わり山道テープを貼ります。

6リボンのドレス同様にのりしろ部分をボンドで貼り、よく乾いてからお人形に履かせます。肩ひもを両肩にかけて後ろに渡し、スカートのウエストの穴に裏から通し、形よく蝶結びにします。

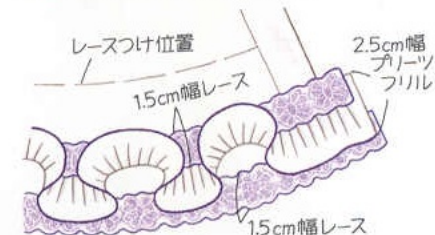
7メタリックリボンを蝶結びにし、中心に造花をつけて肩ひものウエスト中心につけます。

8プリーツフリルを20cmくらいに切ってぐし縫いし、ギュッと糸を引いて縫い縮め、中心に造花を刺します。裏にリカピンをつけて髪飾りを作ります。3個作ります。

紫のフリルのドレス

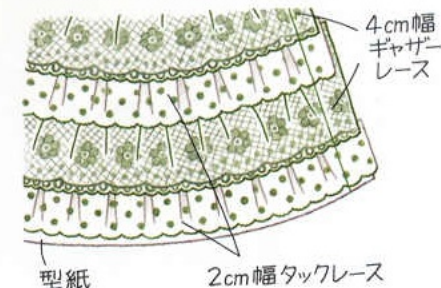
●材料　ケント紙（または同じくらいの厚さの紙）30×25cm、2.5cm幅紫縁白ナイロンプリーツフリル200cm、1.5cm幅うす紫レース220cm、6㎜幅紫サテンリボン50cm、造花2個、リカピン、接着剤（ボンドGクリアー）、市販のレオタード、メタリックリボン50cm

●型紙　スカート…………………………（A面）1枚

●作り方　赤のフリルのドレスと同じです。フリル幅が狭いので、6段つけます。

緑のフリルのドレス

●材料　ケント紙（または同じくらいの厚さの紙）30×25cm、白に緑水玉2cm幅タックレース140cm、4cm幅緑ギャザーレース140cm、銀山道テープ40cm、6㎜幅緑サテンリボン50cm、造花5個、リカピン、接着剤（ボンドGクリアー）、市販のレオタード

●型紙　スカート…………………………（A面）1枚

●作り方　赤のフリルのドレスと同じです。幅の違うタックレースを5段、ギャザーレースを4段、交互につけ、肩ひもとウエストに山道テープを貼り、造花をバランスよくつけます。

7 オルゴール

緑のフリルのドレス

レオタード＋紙のスカート＋髪飾り
巻末型紙A面　作り方6ページ

プリーツやタックの入ったレースは
そのまま段々に貼っていくだけで
豪華な雰囲気のドレスになります。
色やサイズの組み合わせ、
重なり具合等を考えながら
一段ずつ丁寧に貼っていくのがポイントです
またあまり髪をいじりたくないお人形の場合、
こんな髪飾りなら簡単で豪華になります。
中心よりも向って右につけると
不思議としっくり決まります。

6 子守唄

紫のフリルのドレス

レオタード＋紙のスカート＋髪飾り
巻末型紙A面　作り方6ページ

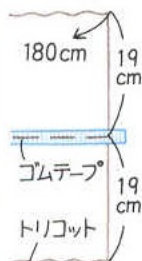
●モデルドール…おもちゃ博限定フェアリーフィールド　ジェニー「ストレートボブ紫目」「ソバージュ緑目」

カンタン！華やか！デコレーションドレス③スパークトリコットのドレス

さて、いよいよ布が登場します。でもまだ縫いません。
運動会やお祭りで作ったさくら紙の花、あんな感じで切りっぱなしの四角い布をたたんで
サテンリボンやゴムでギューと絞って結び、フワーと広げれば出来上がります！
リボン、フリルで作り慣れた紙のスカートは、ウエスト部分だけ穴をあけて糊代を貼り、
リボンを通して結び、ペチコートとします。

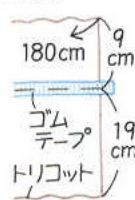
●材料　ジュリエット、オンディーヌ共通
（　）はオンディーヌ
ケント紙（または同じくらいの厚さの紙）30cm×25cm、白のスパークトリコット180cm×50cm（40cm）、4コールのゴムテープ15cm（25cm）、サテンリボン9㎜幅60cm・3㎜幅70cm、造花1個（2個）、接着剤（ボンドGクリア）、市販のレオタード（白）
●型紙　ペーパースカート……………（A面）1枚

ジュリエット

●作り方　**1**寸法に切ったスカート用の布（180cm×38cm）をあまり難しく考えずに適当にひだを寄せ、適当な長さに切ったゴムテープ（15cm）を丈の中心に置き、布を半分に折ってさらにギューと寄せます。

2レオタードを着せた人形に、紙のペチコートを履かせ、1のスカートを巻きつけてギャザーを寄せながらゴムを結び、後ろあきが開かないようにギャザーのバランスや裾の長さなどを見ながら形を整え、ゴム端をスカートの中に隠します。
3袖ドレープ用の布（70cm×10cm）の端から13cmのあたりをギュッと絞って肩で交差させ、レオタードの肩と一緒に3㎜幅サテンリボン（20cm）で結びます。きれいに蝶結びにして両端を斜めにカットします。反対側も同様にします。

43の布端を手首を前後から包むように集め、布端2cmくらいの所を3㎜幅のサテンリボン（15cm）で蝶結びにします。袖ドレープ布の輪の部分を左右対称になるようにスカートに掛け、ウエストでまとめて9㎜幅のサテンリボン（60cm）でしばり、後ろで蝶結びにします。リボン端は斜めにカットします。

オンディーヌ

寸法に切ったスカート用の布（180cm×28cm）を段違いにしただけでジュリエットと同じです。
1寸法に切った胸用のドレープ布（70cm×10cm）を胸元にたるみを持たせて両肩でレオタードと一緒にゴムテープ（5cm）で結びます。造花を飾り、残りは肩から後ろに流します。

ショートカットに着せる時はボリュームがないと負けるので、ビスク用ウイッグや人間用つけ毛を使う方法も。右上のジュリエットは髪をジェルで撫でてまとめ、ビスク用ウィッグをリカピンでシニョン風に止め、9ページでは市販のつけ毛つきジェニーを使いましたがカーリーヘアーのつけ毛が華やかな印象なので、髪飾りや造花を使わずにシンプルにまとめました。

ヘアースタイル　4ページの作品

ポーズ人形風後れ毛つきアップ
ここでは安価で髪が長く結髪に適したファーストジェニーをモデルに、昔のポーズ人形の象徴的な髪型をジェニー流にアレンジして結い上げてみました。市販品のように輪ゴムとリカピンを使用していますが、輪ゴムの変わりにゴムカタン糸や、糸でくくり、虫ピンで止めてもOKです。
●材料　左のほかに、小さな輪ゴム、リカピン、髪の毛と同系色の手縫い糸、静電気防止剤、ジェル、ヘアースプレー、髪飾り用のリボン
●作り方　**1**静電気防止剤をスプレーして毛先から丁寧にとかしておきます。次に耳後ろ辺りの横から前後に髪を分け、後ろの毛は上向きにとかし、高い位置でポニーテールにし、前髪は耳の後ろの毛をひとつまみ取り、左右で二つに分け、ポニーテールも含めて全部で5ブロックに分けます。

2ポニーテールと耳の横の毛を各々三つ編みにし、毛先までできたら輪ゴムでしっかりくくります。
3耳の横の三つ編みの先を戻し、耳の後ろ辺りに根元の毛をすくって糸で縫いとめ、毛先をカット。毛が長ければ輪の部分も耳の陰に戻して縫います。
4前髪をとかしながら耳の横で内側に折り曲げるようにねじり、3の毛先を隠してさらにねじり、ポニーテールの根にかけます。反対側も同様に根の前で交差させ、左右の前髪を根の後ろでゴムでくくり、1cm程残して毛先を切るか、そのまま三つ編みにして根元に巻きつけます。
5ポニーテールの毛を形よく根に巻きつけてリカピンで止め、髷を作ります。あまった毛先は後ろでカットするか、髷の中に入れ込みます。
6髷の毛先を隠すようにリボンを飾り、きっちり結い上げる時はジェルやヘアスプレーで固めます。

9オンディーヌ　袖なしのドレス

レオタード＋紙のペチコート＋四角い布
巻末型紙A面　作り方8ページ

扇型の厚紙がスカートになったりペチコートになったり…
ラッピングペーパーとリボン、
プリーツフリルやタックレース、
切りっぱなしのスパークトリコット、
ここまでの3つのクラフトドレスで
なんとなくドレスの仕組みがお分かりいただけたでしょうか?
難しく考えず、型紙や寸法に惑わされないで
作りたい！と思い立ったら自由に形にして下さい。
意外な形や素材の組み合わせが楽しく、
きっと素敵なドレスになります！

8ジュリエット　長袖のドレス

レオタード＋紙のペチコート＋四角い布
巻末型紙A面　作り方8ページ

●モデルドール…2体とも、スーパーコーディネートジェニー

縫いやすくて使いまわせる、トワル 生成の基本ドレス 2・3ページの作品

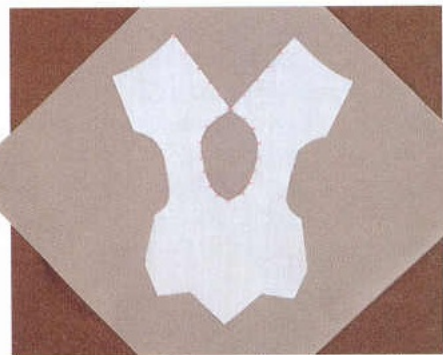
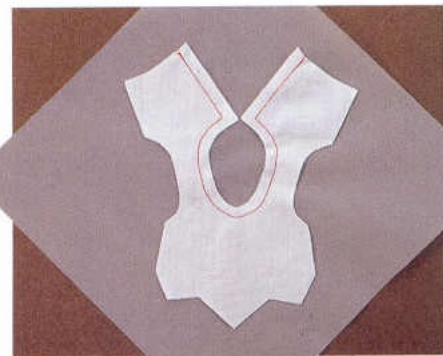
この本の大半の作品で使いまわす、身頃、スカート、袖、3枚の型紙で作る基本型です。
土台ドレスとして、これにブレード、リボン、フリル等を色々とデコレーションするので、
裾の処理や裏のつけ方等はそれに対応する作りになっていますが、
これ自体をシンプルなドレスの完成形として扱うことも出来ます。

トワル

●材料
表地(生成の薄手シーチング)90cm幅×35cm、裏地(白のナイロンシャー)90cm幅×35cm、1.2cm幅両折りテトロンバイアステープ100cm、

●共通材料
4コールのゴムテープ20cm、スナップ4組、90番ポリエステルミシン糸(表地と同系色)、ギャザー寄せ用のミシン糸(60番で色は後で抜き取るので目立つ色)、手工芸用パワーボンド、スプレー洗濯糊、手縫い糸(表地と同系色)、

●型紙
身頃A、土台スカート、袖……………………A面
※文中ではパワーボンドを「ボンド」
ボンドGクリアーは「Gクリアー」と表記。
※表地はスプレー洗濯糊をスプレーしてアイロンをかけ、張りを出しておきます。これで縫い易さ+当時の素材感を出します。

●作り方＊身頃と袖
1 裁断した身頃の表を上にして置き、衿ぐりと後ろあきの縫い代側の要所にボンドを点々とつけます。大まかな大きさに裁断したナイロンシャーを対角線(バイアス)に重ね、軽くアイロンでプレスして貼ります。

2 1のボンドで仮止めした部分、衿ぐりと後ろあきのみを縫います。

3 2で縫った部分のナイロンシャーを表地に合わせて切り取り、衿ぐりに切り込みを入れ、縫い目から縫い代を折って表に返し、アイロンで押さえます。縫っていない他の部分の生地の端にもボンドをつけ、アイロンで押さえます。ダーツの縫い位置にチャコペンで裏からラインを引きますが、ウエストのナイロンシャーまで延長します。
4 ダーツのトップにマチ針を一本垂直に刺し、その位置を基準にダーツを半分に折ります。下はナイロンシャーの透けを利用し、延長したラインを重ねます。ずれないように押さえて下から縫い、トップでマチ針にひと針ミシンをかけて、返し縫いをします。

5 縫い上がったダーツを倒します。
※洋裁ではダーツは中心側に倒しますが、ここではあえて外側に倒します。はみ出している部分のナイロンシャーを全部切り取ります。
6 袖口の縫い代を裏に折ってアイロンで押さえ、袖山の部分にはギャザーを寄せるために5mmくらいの縫い目で両端に糸を5cmほど残してミシンをかけておきます。

7 身頃の袖ぐりに、6の袖を身頃の縫い代から袖の縫い代の両端が5mmくらいはみ出すように中心と両端にマチ針を打ち、たるませます。両端から糸を引き、袖ぐりに合わせてギャザーを寄せます。

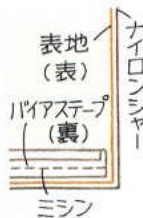
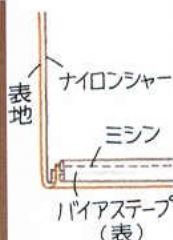
8 身頃側から見てミシンをかけ、きれいに袖つけをします。ギャザーの糸は抜き取ります。

9 袖口にゴムテープ(10cm)を目一杯伸ばした状態で、縫いつけます(ゴム引き)。ゴムの両端は、指で持てるくらいの長さ(2cm)を残しておきます。

10 身頃を中表に合わせ、袖口から脇まで一気に縫います。

11 ゴム引きのゴムテープの余分をカットします。脇の下に切り込みを入れて縫い代を割り、表に返します。これで上半身は出来上がり。

●作り方＊スカート

12型紙に合わせて切ったスカートの裏を上にして置き、身頃と同様にボンドをぐるりとつけます。大まかな大きさのナイロンシャーを重ねて、アイロンで押さえて貼り、表地に合わせてウエストの部分以外のナイロンシャーの余分をカットします。次にバイアステープの折り目と裾の縫い線を合わせて中表に縫います。

13 12で縫った縫い代に2.5cm間隔ほどに切り込みを入れてバイアステープを裏に折り、アイロンで押さえ、バイアステープの端を(「土台ドレス」ならミシンで手早く、「完成ドレス」なら手縫いで目立たないように)縫います。後ろあきの両端は、ロックミシンを表からかけます。

14スカートのウエスト中心と脇に印をつけ、右側は裏に6mm折っておきます。ウエストにギャザーミシンをかけ、ギャザーを寄せます。※ウエストのナイロンシャーの余分を手で引っ張るように持ち、ギャザーの方向を揃えてアイロンで平らにし、ロータリーカッターで表地に合わせて切ります。

15スカートと身頃のウエストを、中心・脇縫いの位置を合わせながらマチ針を打ち、ギャザー用の糸を引きます。表から見てナイロンシャーを引っ張って布端の向きと位置を身頃に揃え、縫い合わせます。※このとき、スカート右側は6mm折った山の部分を、左側は布端を、身頃の後ろあきに揃えます。

16表に返し、縫い代を身頃側に片倒しして、身頃のウエストより5mmの押さえミシンをかけます。

17スカートの後ろを中表に合わせてあき止まりまで縫い、裾の縫い代の角を切り落とします。縫い代は裾から割り、あき止まりのあたりから自然に右側に片倒しになるようアイロンで押さえ、表に返して身頃の後ろあきにスナップを3組、スカートのあきの中心に1組つけます。

ペチコート

●材料　白のナイロンタフタ70cm幅×35cm、1.2cm幅白のテトロン両折りバイアステープ210cm、1.1cm幅白の二つ折りバイアステープ15cm、白のライクボーン(または針金等)130cm、スナップ1組、手縫い糸(表地と同系色)、90番ポリエステルミシン糸(表地と同系色)、手工芸用ボンド、スプレー洗濯糊、ギャザー寄せ用のミシン糸(60番)

型紙　土台スカート……………………………1枚

●作り方　18ドレス同様にスプレー洗濯糊を使ってアイロンしたナイロンタフタを土台スカートの型紙に合わせて切り、裾(n)はドレスのスカートと同様バイアステープで処理し、後ろあき部分はロックミシン(なければジグザグミシン、手縫いなら粗い巻きかがり)をかけます。次にボーンを通す位置(e・h)に裏からバイアステープをのせ(両端は約1～1.5cm手前まで)、テープの上下を縫います。ウエスト部分にスカート同様にギャザーを寄せますが、このペチコートはローウエストで履くので、ギャザーはスカートよりも全体で2cm長めに寄せます。

19ウエストを表から両折りバイアステープではさんでミシンをかけます。

20後ろあきをあき止まりまで縫って縫い代は片倒しにし、バイアステープにボーンを通します。ボーンの端は3cmくらい重ねて縫い、ペチコートの布地にも縫い止めます。ウエストのバイアステープの端は裏に折って余分をカットして縫い、スナップをつけます。最後にボーンが楕円形になるように手で癖をつけます。尚、ボーンが手に入らない時は針金で代用出来ます。その場合はボーンと同様に約3cmくらい重ねますが、先をペンチ等で丸めて、出来た輪を縫い止めます。

※履かせる時はこのウエストのバイアステープをペチコートの中に折り込んでスナップを止めます。

このドレスは、夢を描くキャンバスの役割…。後半のドレスはこれと見比べると楽しめます。お手元の材料と相談して応用してください。

ピンクッション

●材料　布、厚紙、化繊綿、ゴムテープ各適量

●型紙　A面……………各1枚

1本体布のまわりをぐし縫いし、化繊綿を入れて糸を引きます。

2底布に、厚紙の芯を入れてくるみます。

3ゴムテープをはさんで、1と2をかがり合わせます。

思い出の再現!懐かしのドレス

トワルの布を色が豊富で入手しやすいドレス材料の定番サテンに変え、
ギャザーレースとバラのガーランドを段々につけただけの、
やさしいアレンジ例です。
レースの幅によって段数を変えたり、巻きバラのかわりに
造花や、小さなリボン等、
きれいな色とかわいいアクセントで色違いを沢山作ってみては?

10 園遊会 オレンジ色の4段レース飾りのドレス

ペチコート+ドレス+ヘッドドレス

作り方42ページ

12ペンダント 黄緑の脇12段フリルのドレス

ペチコート+ドレス+ヘッドドレス
作り方44・45ページ

鮮やかな蛍光黄緑アムンゼンのドレスは袖にアレンジを加えました。スカートの横のフリルは三角の布に縫いつけてから、のせて縫います。一見難しそうな帽子は、なんと真ん丸!とってもカンタンに出来ます。

11すみれ 紫のエプロンつきドレス

ペチコート+ドレス+ヘッドドレス
作り方43・44ページ

鮮やかな紫色のサテンと淡い色合いの刺しゅう入りトリコットレースを組み合わせ、縁飾りは当時のデットストックを使ってみました。今では入手は難しいので、タックレースやプリーツフリルとブレードを組み合わせて使うと良いでしょう。ヘッドドレスは楕円形に造花を飾ってそれらしく作ります。

●モデルドール…グレイシージェニーⅣローブ・ア・ラ・フランセーズ　グレイシージェニーⅫロココスタイル

13 招待状 ピンクの3段ギャザー重ねのドレス

ペチコート＋ドレス＋髪飾り＋長手袋
作り方46・47ページ

これぞフランス人形の王道とも言えるドレスです。身頃のラメジャガードとフリルの裾のラメレースは当時のデットストックを探し出し、ふんだんに使いました。フリルに均等にギャザーを寄せるのが重要なポイントです。カンタンにきれいに出来るように作り方を工夫しました。
※尚この作品はキット販売もあります。（34ページ参照）

15 宝石箱

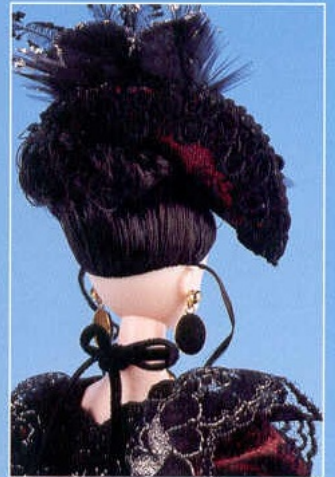
赤黒の8等分ドレープのドレス

ペチコート＋ドレス＋ヘッドドレス
作り方48・49ページ

バイアス仕立て8枚接ぎを絞り上げたスカートが重厚で大人っぽい雰囲気の豪華なドレスです。
スカートの絞り上げは自然な感じで、きっちり均等にしすぎず、アイロンの蒸気を上手く使って仕上げます。

14 檸檬

黄色の7分割スカラップのドレス

ペチコート＋ドレス＋ヘッドドレスチョーカー
作り方47・48ページ

黄色のサテンに重ねたオーガンジーの水玉模様とフリルが軽やかで可愛い雰囲気の7枚接ぎのドレスです。
差し色の造花はドレス、帽子、チョーカー等つける位置や分量、バランスを考えます。

●モデルドール…98カレンダーガールエイティーンジェニー「パール」　グレーシージェニーXIVジャパネスク琉球

舞踏会への誘い

ラメタフタとレース地を幾重にも重ね、ジャカード織の感じを出したアシンメトリーの曲線が入り組んだデザインのドレスです。同系色でまとめましたが、ドレスの地色によってはリボン等を他の色でも良いでしょう。品よくすっきりと、寂しくならないようにまとめるのがポイントです。

16 アラベスク

薄紫のアシンメトリーのドレス
ペチコート＋ドレス＋髪飾り
作り方50・51ページ

 ●モデルドール…グレーシージェニーⅪバッスルスタイル　★ティアラ、ネックレス、イヤリング／本多淑人企画参考商品／問い合わせpbファクトリー

17 メヌエット

ローズピンクのシンメトリーのドレス

ペチコート＋ドレス＋髪飾り
作り方52・53ページ

ローズピンクと黄色を組み合わせた3段のちょうちん袖が可憐なドレスです。プリーツフリルの扱いに注意して、ブレードはボンドで仮止めしながら縫えば、きれいな曲線に仕上がります。

●モデルドール…日本トイザらス10周年記念グレーシージェニー　★ティアラ、ネックレス、イヤリング／本多淑人企画参考商品／問い合わせpbファクトリー

18 シンフォニー

金茶と銀色レースに紺のドレス

ペチコート＋ドレス＋髪飾り
作り方54・55ページ

金茶系のドレスに濃紺のブレードやリボンの組み合わせのドレスです。それぞれが落ち着いた色ですが、金銀糸を混ぜて華やかさを強調します。この作品に限らず、人形の髪の色、目の色等もトータルでバランスを考えて選びます。

 ●モデルドール…グレーシージェニーXIIIベル・エポック　★ティアラ、ネックレス、イヤリング／本多淑人企画参考商品／問い合わせpbファクトリー

19 オペレッタ

ミントグリーンに金ラメレース＋紫色のドレス

ペチコート＋ドレス＋髪飾り

作り方55・56ページ

ミントグリーンと紫、反対色の組み合わせで、豪華な印象のドレスです。
これも18同様に目の色にドレスの色を合わせました。
また髪型や、髪飾りも重要なポイントですから、結髪にも挑戦して下さい。

●モデルドール…トイザらス100店舗記念グレーシージェニー　★ネックレス、イヤリング／本多淑人企画参考商品／問い合わせpbファクトリー

華麗なる競演!憧れの舞台衣装

●モデルドール…本多淑人企画エイティーンジェニー(茶髪)　★ティアラ、ネックレス、イヤリング／本多淑人企画参考商品／問い合わせpbファクトリー

20 バラベルサイユ　深紅薄手ベルベットのドレス

ペチコート＋ドレス＋髪飾り＋長手袋

作り方57～59ページ

フランス王妃マリーアントワネットと紅薔薇のイメージで深紅のベルベットをふんだんに使った絢爛豪華なドレスです。装飾も生地に負けないようにラインストーンのトリムを使いました。作り方は宝石箱とシンフォニーを組み合わせた応用です。押え金やアイロン台等、一手間かけることが、特殊な素材をきれいに縫うポイントです。

21マグノリア グリーンの6段フリルのドレス

ペチコート+ドレス+髪飾り+長手袋
作り方60・61ページ

マグノリア（白木蓮）は名作『風と共に去りぬ』にも登場し、アメリカ南部を象徴する花です。
誰もがスカーレットを連想するこのドレスはまだ僕が子供の頃、映画館のポスターでビビアンリー扮する上半身だけの写真を初めて見た時、きっと下のスカートはこうなってるな…とずっと思っていたデザインです。
でも大人になって映画を見たら、全然違っていました……

 ●モデルドール…本多淑人企画エイティーンジェニー（黒髪、スカーレットバージョン）

22 カルナバル～祭りの女王

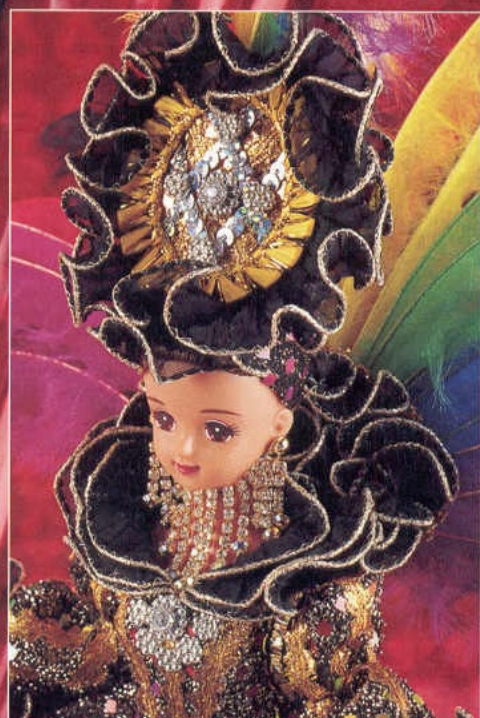
黒×金のドレス

ペチコート＋ドレス＋ヘッドドレス＋背負い羽根

作り方61～63ページ

音と光の洪水！情熱のカルナバル！
強烈なサンバのリズム！祭りの女王の登場でカルナバルは最高潮に！
黒地に七色に輝くホログラムラメの生地と
オーガンジーで作ったレインボーカラーの背負い羽根、
アクセントカラーはゴールドにシルバー！まさに極彩色の衣装です。
やるなら思いきり徹底的に！が、こういう衣装の原則です。
背負い土台はランドセルの様に背負う本物に近い作りになっています。

 ●モデルドール…ワールドコスチューム　パリジェニー　★ネックレス、イヤリング／本多淑人企画参考商品／問い合わせpbファクトリー

23 巴里祭〜エトワール

白オーロラ総スパンのアシンメトリードレス
ペチコート＋ドレス＋シルクハット＋長手袋＋背負い羽根
作り方64・65ページ

花の都パリ！粋でお洒落な恋の都！
そしてパリは華やかなレビューの本場でもあります。
豪華絢爛な羽根を背負ってフィナーレを飾るのは
エトワールに扮した我らがジェニー！
男物のシルクハットに大きく膨らんだ輪っかのスカートの組み合わせは
レビューではお決まりのスタイルですが、とても斬新なデザインです。
背負い羽根は本物のオーストリッチと、通称ナイアガラと呼ばれる
カスケード（滝型）のマラボーが下がった、より本格的な造りです。

 ●モデルドール…グレーシージェニーⅣローブ・ア・ラ・フランセーズ　★ネックレス、イヤリング／本多淑人企画参考商品／問い合わせpbファクトリー

楽屋～リラックスタイム

「お疲れさまー！」やっと撮影が終わりほっと一息のジェニー達。
ハンカチやハギレをお人形に巻いてゴムやリボンで結んだだけのドレス…。
着せ替え遊びの時、一度はやってみたことありませんか？
そのまま縫わずに、リカピン2本と綿ロープで、さわやかな楽屋着に変身！

ヘッドドレスの下の髪型は実はこんな感じでゴムでくくってピンで止めただけ！
元々のカールの毛先を上手く使ってジェルでなでつけながらセットします。

24 タオルハンカチの楽屋着

ブルー　白　黄緑

タオルハンカチ＋リカピン＋綿ロープ

着方66ページ

●モデルドール向って左から〈前列〉
グレイシージェニーロココスタイル
2001ナイスジェニーコレクションエイティーンジェニー
98カレンダーガールエイティーンジェニー「パール」

〈後列〉
ファッションステーションサヤカ
ファッションステーションシオン

●撮影協力…後列の服（参考商品）　すべてpbファクトリー048-533-4082

◆最後に

さて、基本の型紙が一個あって、色や飾りを変えてバリエーションを出せば、カンタンだろうと思ったのが、間違いのはじまり……。ただでさえ、大きいスカートでかさばる作品なので当然使う布も多いわけで、縫う長さや、装飾品の数も多く、写真の構図やレイアウト、型紙の配置まで多方面にご面倒をおかけ致しましたが、結果、新しいアイディアや試みも取り入れていただき、ひと味違った本になったのでは？と、手前味噌ながら喜んでいます。これもひとえに、私の努力と才能！ではなく（笑）、スタッフの皆様はじめ、この本の為にお力をかしていただいたすべての皆様と、発売を待ち望んで下さった読者の皆様のお陰です。この場をお借りして御礼申し上げます。本当に有難うございました！

※はみだし情報

本誌掲載作品を中心とした展示会＆販売のミニイベント「着せ替え人形プチミュージアム」を、2003/11/30(日)東京ビックサイトワールドキャラクターコンベンション17内で開催します。お問い合わせ　ワールドキャラクターコンベンション実行委員会　03-5458-4358(14時〜19時)　月曜日休み

白地のブロケードに薔薇を沢山あしらったこのドレスは数年前に展示会用に作ったものです。
輪っかのドレスはこれ以前にも作っていましたが、本誌掲載のような作り方で完成したのはこの作品がはじめてでした。
デザインは宝塚歌劇『ベルサイユのばらⅢ』で初風諄さんが着たアントワネットの衣装を参考にしています。

10

オレンジ色の４段レース飾りのドレス

口絵／12ページ

■ドレス

■型紙

身頃A、土台スカート…………… (A面) 各１枚
袖…………………………… (A面) 対称に各１枚

■材料　表地(サーモンオレンジ色サテン)90cm幅35cm、裏地(オレンジ色ナイロンシャー)90cm幅35cm、オレンジ色両折りテトロンバイアステープ 1.2cm幅100cm、白ナイロンギャザーレース3.5cm幅300cm、白×グリーンのオーガンジーのガーランド(ブレード) 1cm幅260cm、白サテン両折りバイアステープ3.5cm幅60cm・1.5cm幅20cm、白巻きバラ直径1cmを80個、基本の共通材料各適量

■裁断前にスプレー洗濯糊使用…サテン

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)

1～5は基本と同じ。

6－(1)袖口にギャザーレースを中表に合わせて端から６mmで縫うが、レースの元々のギャザー寄せの糸を縫い込まないようにする。

6－(2)縫い上がったら、ギャザー寄せの糸をすべて抜き取る。

6－(3)縫い代は袖側に倒して端ミシンをかける。

6－(4) 袖山にギャザーミシンをかけ、ギャザーを寄せる。

7～13は基本と同じ。

14－(1)ギャザーレースをそれぞれの段につける。

14－(2)ギャザーレースの縫い目を隠すようにオーガンジーのガーランドをGクリアーでつける。

14－(3)ウエストにギャザーミシンをかける。

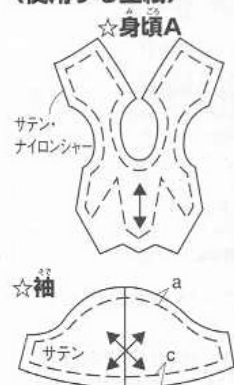
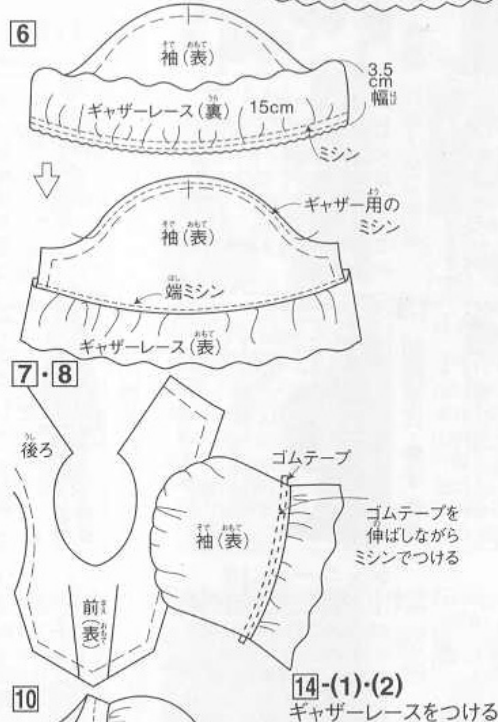
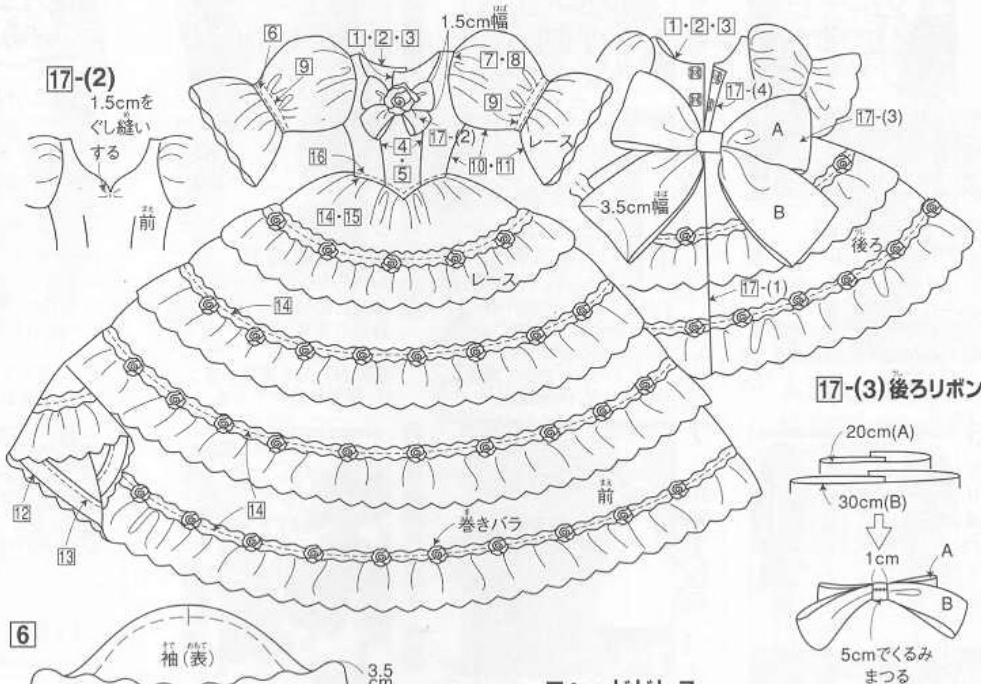
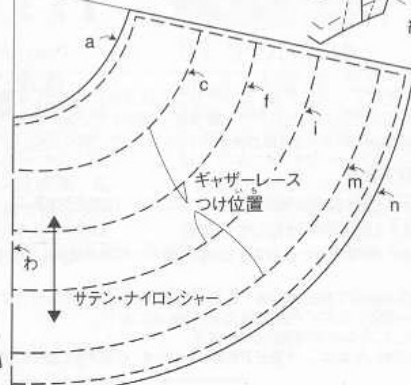
15～16は基本と同じ。

17－(1)スカートの後ろ中心を縫う。

17－(2)前身頃の衿ぐりから中心に向かって1.5cmを粗くぐし縫いし、縫い絞る。

17－(3)胸元とウエストの後ろにサテンバイアステープで作ったリボンと巻きバラをつける。

17－(4)後ろあきにスナップをつける。

〈使用する型紙〉

■ヘッドドレス

■型紙

帽子………………………………………… (B面)1枚

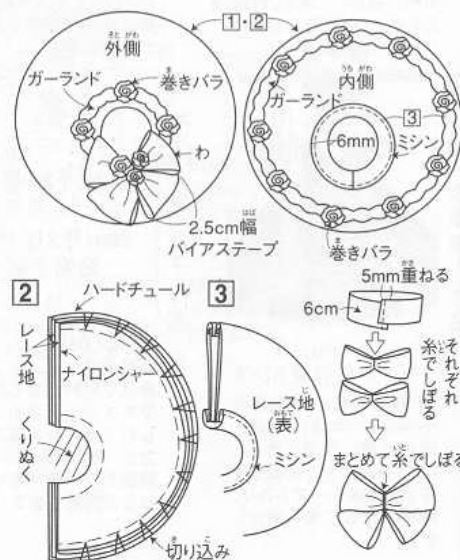
■材料　白レース地　横30cm×縦15cm、白ナイロンシャー・ハードチュール(芯)各15cm×15cm、白両折りサテンバイアステープ2.5cm幅20cm・1.2cm幅15cm、オーガンジーのガーランド(ブレード) 1cm幅45cm、白巻きバラ直径1cmを15個、ボンドGクリアー

■作り方

1大まかな大きさに切ったレース地を中表に合わせ、ナイロンシャーとチュールで挟んで４枚に重ね、型紙の線を書く。

2外回りの線を縫い、細かく切り込みを入れる。内側は４枚まとめてくりぬき、レースが表になるように表に返し、内側をボンドで貼り合わせる。

3二つ折りしたバイアステープで内側を挟み、ミシンで縫う。その上にガーランドをGクリアーでつけ、リボンと巻きバラをGクリアーでつける。

11

紫のエプロンつきドレス

口絵／13ページ

■ドレス

■型紙

身頃A、土台スカート……………(A面)各1枚

袖……………………………(A面)対称に各1枚

エプロン…………………………(B面)1枚

■材料　表地(紫サテン)90cm幅40cm、裏地(紫ナイロンシャー)90cm幅35cm、紫両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、白×マルチカラーのトリコットレース(袖・エプロン)40cm×40cm、白×マルチカラーのプリーツフリル最大3.5cm幅185cm、基本の共通材料各適量

■裁断前にスプレー洗濯糊使用…サテン、トリコットレース

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)

1～12は基本と同じ。

13－(1)スカート裾のバイアステープの端を縫う。トリコットレースでエプロンを裁つ。

13－(2)プリーツフリルをスカートの裾用、エプロン用共に、カーブに添うようにスチームアイロンで癖をつけておく。

13－(3)エプロンの表にプリーツフリルをのせ、パワーボンドで仮止めしてからミシンで縫う。

13－(4)土台のスカートに裾飾り用のプリーツフリルをのせて上端を縫う。このとき両端を3cmくらい縫わないで、そのままにしておく。

13－(5)エプロンのウエストをスカートに合わせパワーボンドで仮止めする。

14～16は基本と同じ。

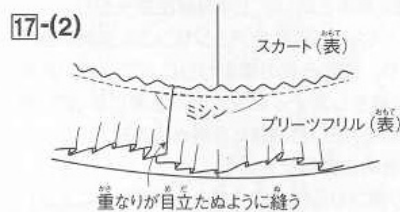
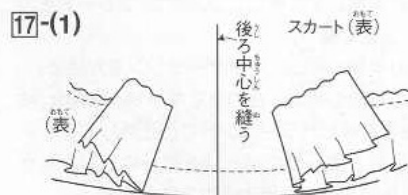
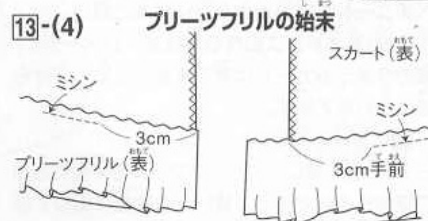
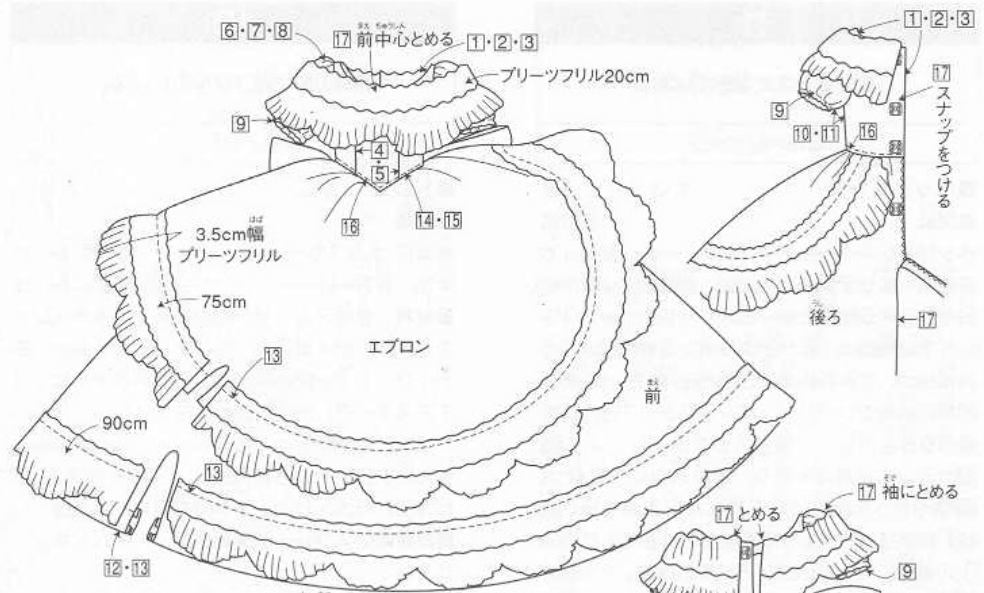
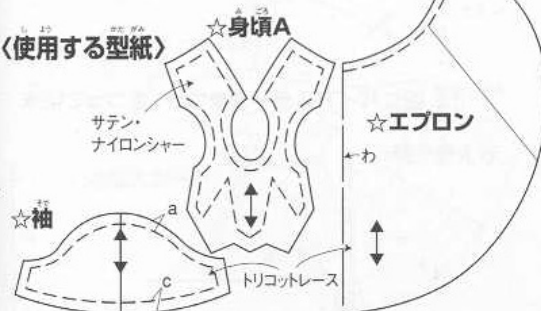
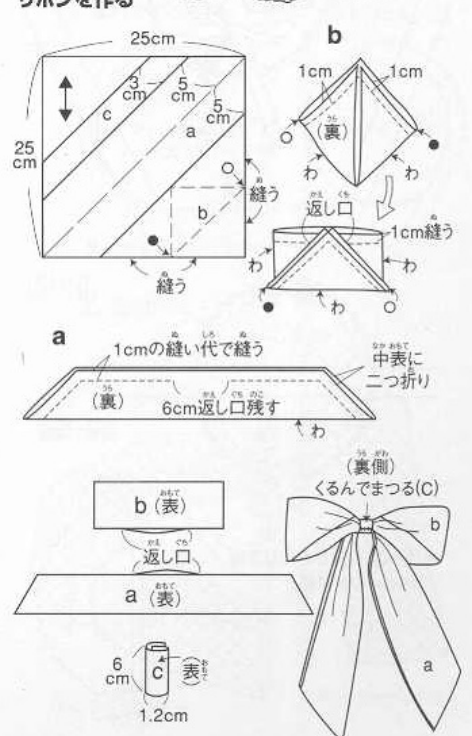
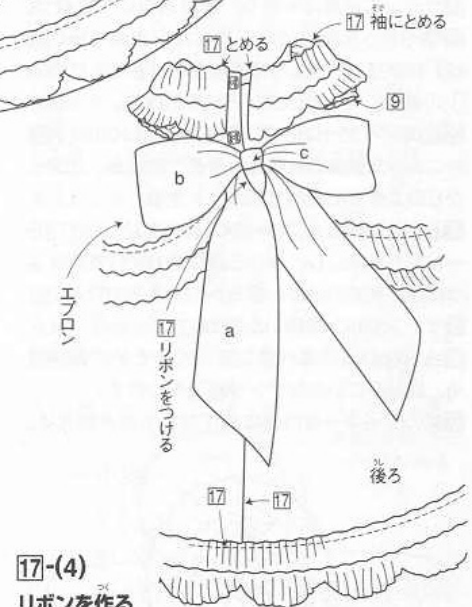
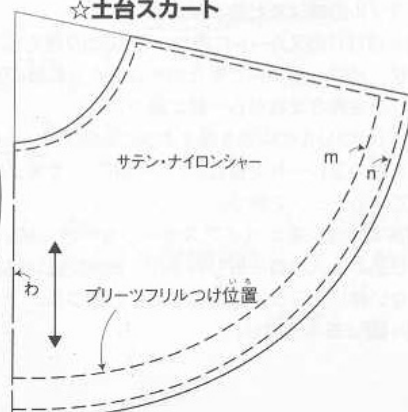
17－(1)土台スカートの裾からあき止まりまでをプリーツフリルをよけて中表に縫い、縫い代は割るが、5cmくらい手前で自然に片倒しにする。

17－(2)縫い残したプリーツフリルを重ねて縫う。

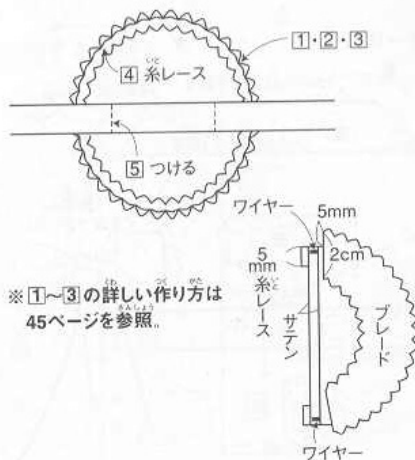
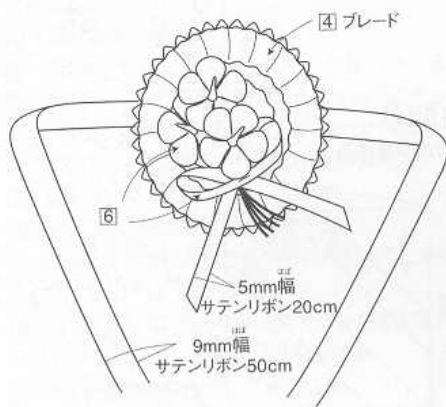
17－(3)胸飾り用のプリーツフリルの両端を寸法に合わせて裏に折ってボンドで止め、身頃の中心、両袖、後ろあきに止める。

17－(4)リボンの寸法に切った布を中表に縫って表に返し、それぞれ中心にヒダをとってリボンの形にまとめ、後ろウエスト中心に縫い止める。

17－(5)後ろあきにスナップをつける。

11

紫のエプロンつきドレス

口絵／13ページ

■ヘッドドレス
■型紙
ヘッドドレス……………………………(B面)1枚
■材料　紫サテン8cm×14cm、接着芯8cm×14cm、白糸レース5mm幅25cm、白×マルチカラーのブレード2cm幅25cm、紫サテンリボン5mm幅20cm・9mm幅50cm、すみれの造花(ピンク・水色・黄緑)、20番の紙巻きワイヤー、ボンドGクリアー
■作り方
1サテンに接着芯を貼り、型紙通りに1枚裁つ。
2ワイヤーを楕円に形作りながら1cmくらい重ね、Gクリアーをつけて糸で巻き止める。これを1の裏縁にそってGクリアーでつける。
3 2のワイヤーにGクリアーをさらにつけ、大まかに切った接着芯を貼ったサテンで挟み、出来上がりの大きさに合わせてカットする。
4ドレスに使ったプリーツフリルをばらしてブレード部分だけにし、表から縁の裁ち切りを隠すようにボンドでつける。裏も糸レースをつける。
5サテンリボンを縫い止める。
6すみれの造花をバランスよくまとめて縫い止め、蝶結びにしたサテンリボンをつける。
7縁のワイヤーを内側に曲げながら形を整える。

※1～3の詳しい作り方は45ページを参照。

12

黄緑の脇12段フリルのドレス

口絵／13ページ

■ドレス
■型紙
身頃B、土台スカート……………………(A面)各1枚
半袖、長袖…………………(A面)対称に各1枚
■材料　黄緑アムンゼン90cm幅35cm、金ラメジャカード横17cm×縦14cm、白サテン35cm×35cm、白ナイロンシャー90cm幅35cm、白両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、白ナイロンプリーツフリル2.5cm幅260cm、金ブレード1.7cm幅100cm、金×白ブレード6mm幅135cm、白薄手の接着芯(アピコ50) 17cm×14cm、基本の共通材料各適量
■裁断前にスプレー洗濯糊使用……アムンゼン、サテン
■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。
■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)
身頃のラメジャカードは裏に接着芯を貼ってから型紙に合わせて切る。
1～5は基本と同じ。
6－(1)長袖の袖口にプリーツフリルを中表に合わせて端から6mmで縫う。縫い代は袖側に倒して端ミシンをかける。
6－(2)半袖口を外表に二つ折りし、ブレードをのせてミシンで縫う。
6－(3)半袖の袖山にギャザーミシンをかける。
6－(4)長袖の袖山に合わせてギャザーを寄せ、袖山と脇を長袖にパワーボンドで仮止めしておく。
6－(5)袖2枚一緒にギャザー寄せのミシンをかけ、半袖のギャザー用の糸のみ抜き取る。
7～11は基本と同じ。上半身は出来上がり。
12－(1)スカートは表地アムンゼンのみ型紙に合わせて切り、裏から布の縁まわりにパワーボンドをつけ、粗裁ちしたナイロンシャーを裏に重ねて(外表に重ねる)貼り合わせたら裾と脇のみナイロンシャーを表地に合わせて切る。
12－(2)横フリル用の切り替え布のサテンにスプレー洗濯糊で張りを出し、型紙に合わせて切り、プリーツフリルを裾から段々にミシンでつける。
※フリルの端はまだ縫わない。
12－(3)(1)のスカートに表から(2)の切り替え布をのせ、パワーボンドで仮止めをしてから両脇のみフリルを押さえながら一緒に縫う。
12－(4)フリルの両端を隠すように金のブレードと金×白のブレードを重ねてパワーボンドで仮止めしてからミシンで縫う。
13基本同様に裾にバイアステープを中表に縫い、切り込みを入れ裏に折り返すが、表地に縫い目が出ない様に、ミシンで縫わずに手でまつる。
14～17は基本と同じ。

6-(1)

6-(2)・(3)

6-(4)

10 袖口から脇を縫う

13 裾にバイアステープをつけ、まつって始末

6mm幅ブレード
1・2・3
6
プリーツフリル
7・8
4・5
10・11
9
14・15・16
12-(3)・(4)
6mm幅ブレード
1.7cm幅ブレード
13
12・13
バイアステープ
前
6-(3)・(4)(5)
6-(2)
17
9
6-(1)
10・11
2.5cm幅
プリーツフリル
12-(2)
プリーツフリル
17
12-(4)
12
後ろ

12-(2)〜(4)
下から順に2cm間隔にサテンの端から端までプリーツフリルをつける
2.5cm幅
プリーツフリル
2cm
2cm
2cm
ミシン
白サテン
ナイロンシャー
アムンゼン
サテン
ミシン
1.7cm幅ブレード
6mm幅ブレード
1.7cm幅ブレード
サテン
ブレード2枚を重ねてミシン

〈使用する型紙〉
☆身頃B
ジャカード
ナイロンシャー
☆半袖
a
アムンゼン
わ
e
☆長袖
a
サテン
d
fをつなげる
☆完成スカート
わ
アムンゼン・
ナイロンシャー
☆切り替え布
サテン
☆土台スカート
a
1cm
1cm
サイド
n
5cm
☆切り替え布

12

黄緑の脇12段フリルのドレス

口絵／13ページ

■ヘッドドレス

■型紙

ヘッドドレス……………………………(B面)1枚

■材料　黄緑アムンゼン18cm×8cm、金×白ブレード6mm幅36cm、白ヘアーネット10cm×50cm、接着芯9cm×18cm、羽根(黄緑・白)、バラの造花(ピンク系)、20番紙巻きワイヤー

■作り方

1 アムンゼンに接着芯を貼り、型紙通りに2枚裁つ。

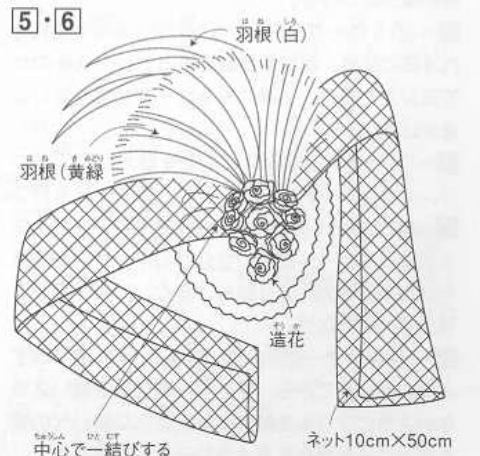
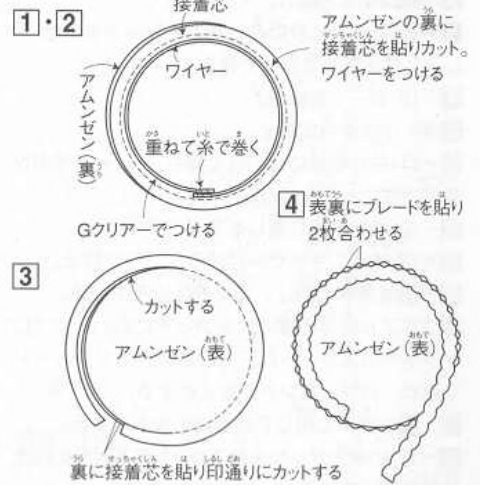
2 ワイヤーを円に形作りながら1cmくらい重ね、Gクリアーをつけて糸で巻き止める。これを1の裏縁にそってGクリアーでつける。

3 2のワイヤーにGクリアーをさらにつけ、大まかに切った接着芯を貼ったアムンゼンで挟み、出来上がりの大きさに合わせてカットする。

4 1の裁ち切りの縁を隠すように表裏ともブレードをGクリアーで貼る。

5 真ん中を一結びしたヘアーネットを中心に縫い止め、羽根と造花をバランスよくつける。

6 縁のワイヤーを内側に曲げながら形を整える。

13

ピンクの3段ギャザー重ねのドレス

口絵／14ページ

■ドレス

■型紙

身頃B、土台スカート……………………（A面）各1枚

袖…………………………………（A面）対称に各1枚

■材料　銀ラメジャカード（身頃、スカート1段め）横30cm×縦22cm、ナイロンタフタ白（袖）16cm×18cm・薄ピンク（2段めフリル）7cm×105cm・ピンク（3段めフリル）8.5cm×175cm・ショッキングピンク（4段めフリル）9.5cm×215cm、ナイロンシャー白（身頃）15cm×20cm・薄ピンク（土台スカート）90cm幅35cm、薄ピンク両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、白×銀ラメ入りナイロン平レース2cm幅550cm、銀ブレード8mm幅45cm、白薄手接着芯（アピコ50）30cm×22cm、基本の共通材料各適量

■裁断前にスプレー洗濯糊使用…薄ピンク・ピンク・ショッキングピンク・白のナイロンタフタ

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方（基本ドレスの作り方は10・11ページ）

身頃とスカート1段めのラメジャカードは裏に接着芯を貼ってから型紙に合わせて裁つ。

1～3は基本と同じ。

4－(1)前の衿ぐりに合わせて平レースをのせ、平レースの上下をミシンで縫う。

4－(2)ダーツを縫う。

5ダーツを脇側に倒す。

6－(1)袖も型紙に合わせて裁ち、平レースをのせ身頃同様に上下を縫う。

6－(2)袖口の折り返しをアイロンする。

6－(3)袖山にギャザー用のミシンをかける。

7～11は基本と同じ。上半身は出来上がり。

12ウエスト部分の縫い代を切らずにおいたナイロンシャーのスカートに、1段めのラメジャカードを重ね、パワーボンドで仮止めする。

13・14は基本と同じで裾と脇の始末をする。

15－(1)出来上がった土台スカートに8等分の印を放射線状につける。

15－(2)3色のグラデーションのフリル布をそれぞれ寸法に切り、裾は5mm裏に折ってレースをのせてミシンで縫い、上端にギャザー寄せ用のミシンをかける。

15－(3)一番下の段のフリルを8等分して印をつけ、土台スカートの位置と合わせてマチ針を打つ。

15－(4)8等分したフリルを中心からミシンの上糸を引き、スカートに合わせながらギャザーを寄せ、引いた糸は半分に切り結んでおく。この作業を8等分すべて行なう。

15－(5)ギャザー部分の縫い代をアイロンでつぶすように押さえてから、ギャザー寄せ糸を縫い込まないようにフリルを縫いつけ、さらに縫い代の端をギャザーを押さえるようにミシンで縫う。

＊各段共フリルは両端3cmくらいを縫いつけず、そのままにしておく。

15－(6)次の段も同様に行なう。

15－(7)一番上も同じようにつけ、その上端を隠すように銀のブレードをパワーボンドで仮止めしてからミシンで縫う。ブレードもフリル同様、両端3cmくらい縫わないでおく。

15－(8)身頃とスカートのウエストを縫う。

16身頃のウエストに、押さえミシンをかける。

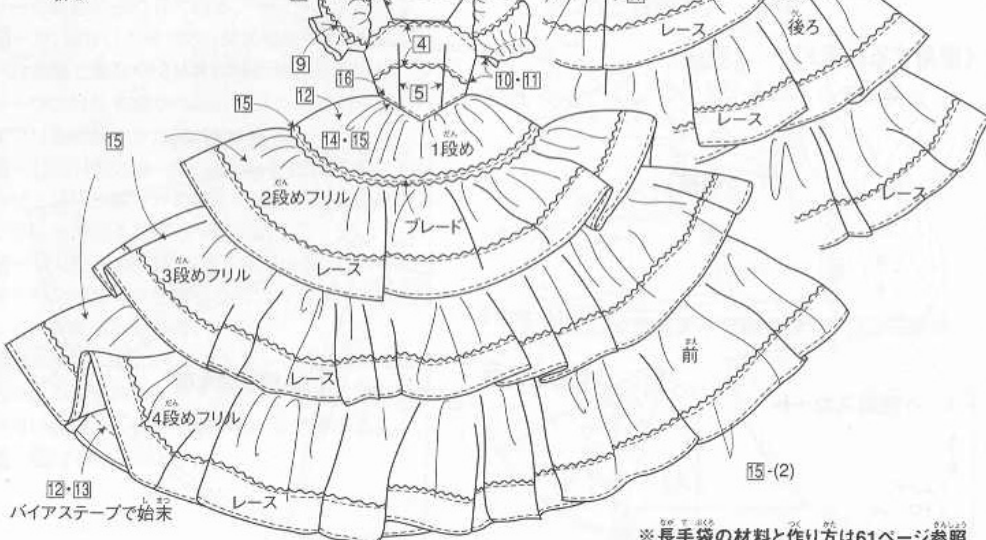
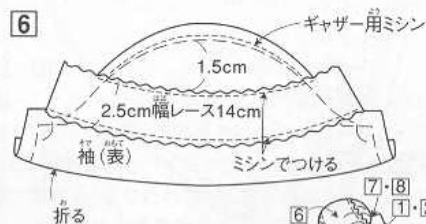
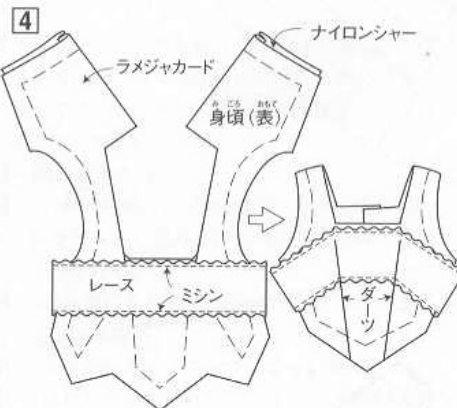
17－(1)土台スカートの裾からあき止まりまでをフリルをよけて中表に縫い、縫い代は割るが、あき止まりの5cmくらい手前で自然に片倒しにする。

17－(2)表に返し、縫い残したフリルの端をそれぞれ中表に縫い合わせ、各段ごとにギャザーを整えながらミシンで縫い、一番上の段のブレードも両端を裏に折ってつき合わせるようにして縫う。

17－(3)後ろあきにスナップをつける。

4
ラメジャカード
ナイロンシャー
身頃（表）
レース
ミシン
ダーツ

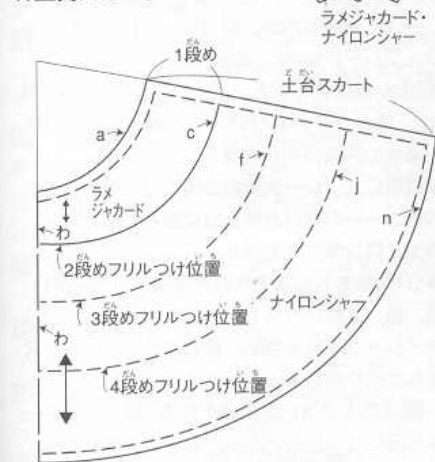
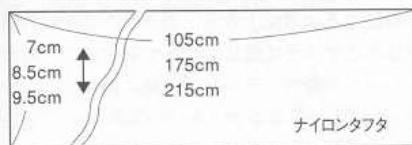
15
1段め
銀のラメジャカード
ブレード
土台スカート
ナイロンシャー
薄ピンク
2段め
6cm
ピンク
3段め
7cm
ショッキングピンク
4段め
裾の始末
（表）
レース
裾を折る

17
1段め（表）
ブレード
c
2段め（裏）
土台スカート（表）
f
3段め（裏）
j
4段め
（1）
（裏）

※長手袋の材料と作り方は61ページ参照

13

ピンクの3段ギャザー重ねのドレス

口絵／14ページ

〈使用する型紙〉

☆2～4段フリルの寸法（型紙はなし）

上から2段め・3段め・4段めの寸法

■ヘッドドレス
■型紙なし
■材料　羽根（グース）ピンク・薄ピンク・白を各3本、白の造花6個
■作り方
1 3色の羽根（グース）をグラデーションが出るようにGクリアーをつけながらまとめ、根元に造花をつける。

14

黄色の7分割スカラップのドレス

口絵／15ページ

■ドレス
■型紙
身頃A、土台スカート……………………（A面）各1枚
袖、オーバースカート…………（A面）対称に各1枚
■材料　黄色地に白水玉模様のフロッキーオーガンジー横70cm×縦60cm、黄色サテン70cm×60cm、黄色ナイロンシャー90cm幅35cm、黄色両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、白地黄色縁取りナイロンプリーツフリル2.5cm幅400cm、黄色ブレード1cm幅450cm、銀ラメリボン6mm幅200cm、造花直径1cm赤・ピンク・紫各15個、基本の共通材料各適量
■裁断前にスプレー洗濯糊使用…サテン
■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。
■作り方（基本ドレスの作り方は10・11ページ）
身頃、7枚接ぎスカートをサテンで裁ち、それぞれ上から大まかに粗裁ちしたオーガンジーを重ねて貼り合わせ余分を切る。袖はナイロンシャーに同じようにオーガンジーを重ねて貼る。
1～3は基本と同じ。衿ぐりにプリーツフリルとブレードを縫いつける。
4・5は基本と同じ。
6袖口にプリーツフリルを中表に合わせて縫い、表に返して押さえミシン。袖山にギャザー用のミシンをかける。
7～11は基本と同じ。上半身は出来上がり。
12ー（1）7枚接ぎのスカートを接ぎ合わせて縫い代を割り、ブレードをつける。
12ー（2）裾のスカラップに合わせてプリーツフリルとブレードを縫う。同様に上の段も縫う（後ろ中心3cmは縫い残す）。
12ー（3）土台スカートのナイロンシャーの裾に裾布のサテンを重ね、裾と脇を貼り合わせて余分なサテンを切る。オーガンジーも同様に重ねて縫う。
13ー（1）裾はバイアステープで始末する。
13ー（2）裾からプリーツフリルを2段つけ、上の段はフリルの上からブレードをつける。このときフリルとブレードはスカートの幅よりも1cmくらい長く残し、後ろ中心はそれぞれ3cmくらい縫わないでおく（46ページ参照）。
14ー（1）土台スカートに7枚接ぎスカートを重ね、後ろ中心にロックミシンをかける（土台の裾と7枚接ぎスカートのフリルはよけておく）。
14ー（2）ウエストのギャザー寄せは、7枚接ぎのラインを身頃の中心から均等になるように合わせる。
15・16は基本と同じ。
17ー（1）スカートの裾からあき止まりまでを縫う。
17ー（2）縫い残したフリルとブレードをそれぞれの段で重ねて縫う。
17ー（3）蝶結びにしたラメリボンの中央に造花をボンドGクリアーでつけ衿元とスカートにもつける。
17ー（4）後ろあきにスナップをつける。

〈使用する型紙〉

14

黄色の7分割スカラップのドレス

口絵／15ページ

■チョーカー

■材料 黄色ナイロンリボン6mm幅8cm、黄色ブレード1cm幅8cm、造花（紫・赤・ピンク）各1個、スナップ1組

■作り方

1 ナイロンリボンにブレードをGクリアーで貼り、両端を折ってスナップをつける。造花をまとめて縫いつける。

■15ドレス

■ヘッドドレス

■型紙

ヘッドドレス……………………………（B面）1枚

■材料 黄色地に白水玉模様のフロッキーオーガンジー7cm×14cm、黄色サテン7cm×14cm、白地に黄色の縁取りナイロンプリーツフリル2.5cm幅40cm、黄色ブレード1cm幅40cm、銀ラメリボン6mm幅15cm、白接着芯9cm×18cm、造花（紫・赤・ピンク各2個）、20番紙巻きワイヤー、ボンドGクリアー

■作り方（詳しい作り方は45ページを参照）

1 サテンに接着芯を貼り、オーガンジーを重ねて型紙通りに裁つ。

2 ワイヤーを楕円に形作りながら1cmくらい重ね、Gクリアーをつけて糸で巻き止める。これを1の裏縁にGクリアーでつける。

3 2のワイヤーにGクリアーをさらにつけ、大まかに切った接着芯を貼ったサテンで挟み、出来上がりの大きさに合わせてカットする。

4 1の裏側の裁ち切り縁にプリーツフリルを2重に貼り、その上にブレードを貼る。表側にもブレードを貼る。

5 造花とリボンをバランスよくまとめてつける。

6 縁のワイヤーを内側に曲げながら形を整える。

15

赤黒の8等分ドレープのドレス

口絵／15ページ

■ドレス

■型紙

身頃A、土台スカート………………（A面）各1枚
袖……………………………………（A面）対称に各1枚
オーバースカート……………（B面）対称に各1枚

■材料 赤ラメシャンタン90cm幅120cm、黒レース地90cm幅120cm、黒ナイロンシャー90cm幅35cm、黒両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、黒×銀レース6.5cm幅370cm、黒ブレード1.5cm幅130cm、黒ラメブレード5mm幅170cm、黒ラメ山道テープ1cm幅20cm、黒両折りサテンバイアステープ1.5cm幅160cm、黒台ダイヤ入りパーツ15個、スナップ5組、基本の共通材料各適量

■裁断前にスプレー洗濯糊使用…ラメシャンタン

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じだが、黒のナイロンタフタで作る。

■作り方（基本ドレスの作り方は10・11ページ）

身頃、袖、8枚接ぎスカート（オーバースカート）はラメシャンタンを型紙に合わせて切り、レースを重ねて貼り合わせ、余分を切る。

1〜11は基本同様に上半身を作る。衿ぐりのレースは寸法にカットし、中心からタックを取りながら衿ぐりの寸法に合わせてミシンをかけておく。レースを衿ぐりに縫いつけ、出来上がったとき突合わせになるように上から山道テープを波状の曲線がはみ出すように仮止めし、さらにその上にラメブレードを置き、ミシンで一緒に縫う。

スカートのレースは5cmくらいの間隔で5mmくらいのタックを取りながらミシンをかけておく。

12・13基本と同様にナイロンシャーで土台スカートを作る。

13ー(1) 8枚接ぎの位置で放射線状に印をつけ、裾から2段のレースを縫う。

13ー(2) 8枚接ぎのオーバースカートを左右の端から2枚ずつ接いで縫い代を割り、さらにその2枚を接いで4枚にし、最後に中心を接いで8枚にし、土台スカート同様に裾をバイアステープで始末し、後ろ中心はロックミシンをかける。

13ー(3) 裾のミシン目を隠すようにブレードをのせミシンで縫う。

13ー(4) オーバースカートの接ぎ線を裾から表2cm、陰1cmくらいとって、上向きにヒダをたたみ順に1cmくらいを同じ様に追っかけヒダに折りながら同時にミシンで押さえていく。この作業をセンターからそれぞれ外に向かって行なう。後ろ中心はまだヒダを取らずそのままにしておく。

13ー(5) 出来上がった8枚接ぎスカートと土台スカートを、完成の状態でウエストから合わせて重ねて置き、表地と土台スカート（右身頃）のあき止まり位置に5mmの切り込みを入れる。

13ー(6) 8枚接ぎと土台スカートの関係性はそのままにした状態で、右側のあき止まりから上の部分を中表（実際は表地の表と土台の裏）に縫い、表に返してスカートを出来上がり状態に重ね左側はそのまま重ねて縫い代の端を縫う。

13ー(7)ヒダを取った接ぎ線をさらにいせ込みながら土台スカートに重ねてミシンで縫い、縫い目を隠すようにラメブレードをのせて縫う。

※ブレードの裾側は1cmくらい長めにカットしてスカートの裏側に折り込む。

14〜16は基本と同じ

17ー(1)表地の裾から後ろあき迄を縫い、縫い代は裾から割るが、あき止まり5cmくらい手前から自然に片倒しにし、裾からプリーツをたたむ。

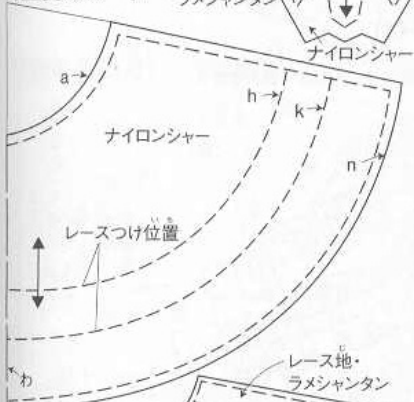
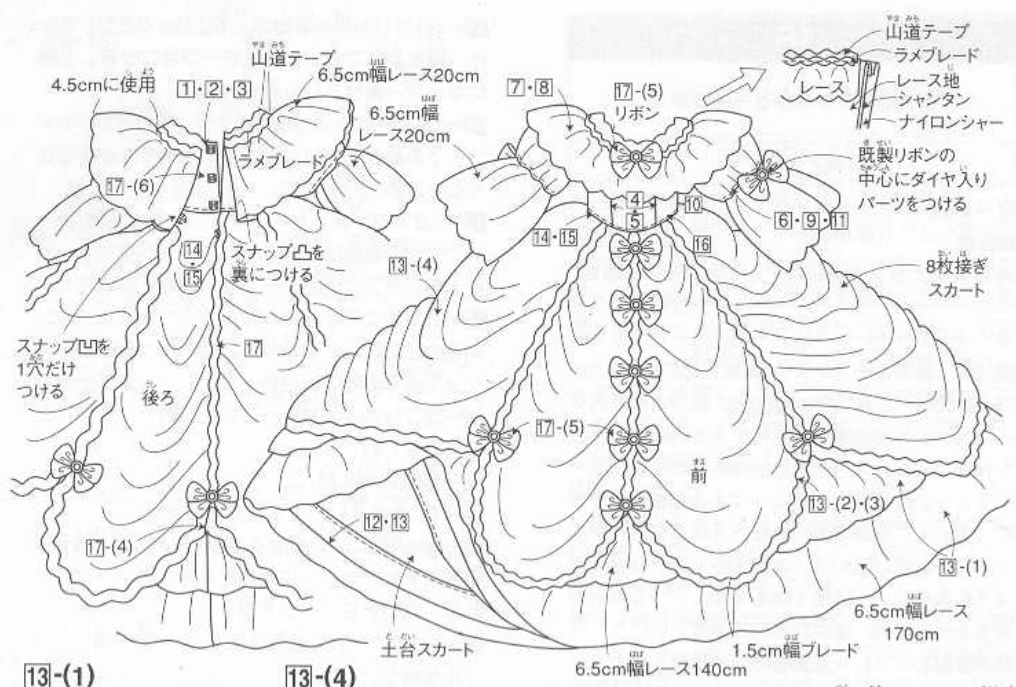
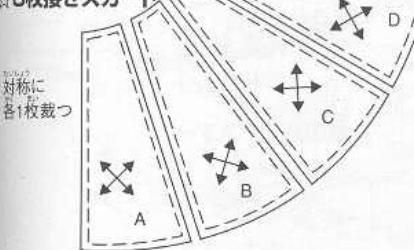
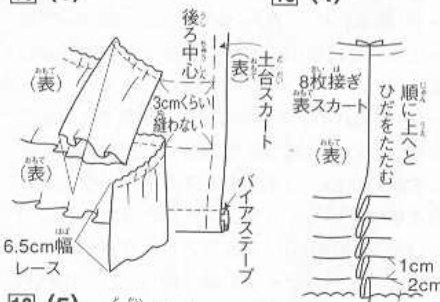
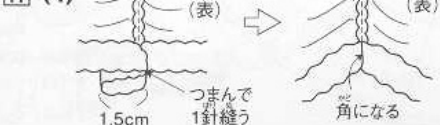
17ー(2)土台スカートも表地同様に縫い、表地を縫い目に重ね13ー(7)の要領であき止まりまでを縫う。縫い残した裾2段のフリルを縫う。

17ー(3)後ろ中心の縫い目中心にブレードをのせてあき止まりまで縫い、上は出来上がりで上に重なる方(右)にだけつけ、上端は裏に折ってパワーボンドでとめてミシンで縫う。

17ー(4)オーバースカートの裾の入り込んだ部分を一針縫ってスカラップ状に落ち着かせる。

17ー(5)胸元、袖、スカートにサテンバイアステープのリボン小とダイヤ入りパーツをつける。

17ー(6)後ろあきにスナップをつける。衿のレースには61ページ17ー(3)図を参照してつける。

☆ラメシャンタンの裁ち方図は66ページ

※サテンバイアステープのリボンの作り方は53ページ参照

■ヘッドドレス

■型紙

ヘッドドレス……………………………(B面) 1枚

■材料 赤ラメシャンタン8cm×16cm、黒レース地8cm×16cm、黒ブレード1.5cm幅23cm、黒ラメブレード5mm幅23cm、黒接着芯8cm×16cm、黒ビーズ入りフェザースプレー2種、黒造花、20番紙巻きワイヤー、ボンドGクリアー

■作り方(詳しい作り方は45ページを参照)

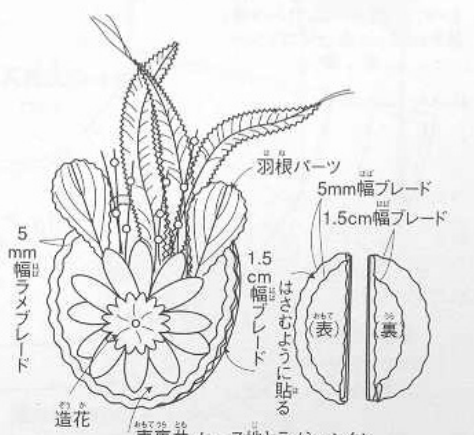
1ラメシャンタンに接着芯を貼り、レース地を重ねて型紙通りに裁つ。

2ワイヤーを円に形作りながら1cmくらい重ね、Gクリアーをつけて糸で巻き止める。これを1の裏縁にそってGクリアーでつける。

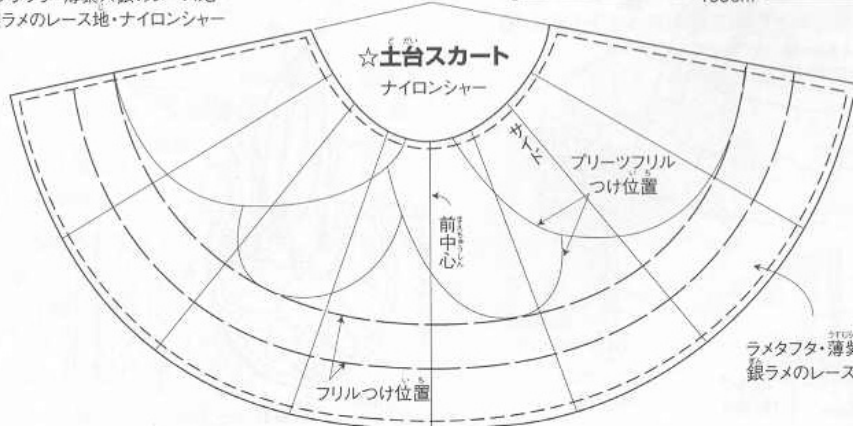
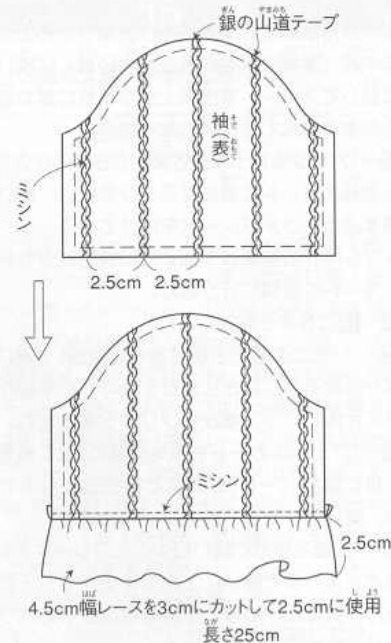
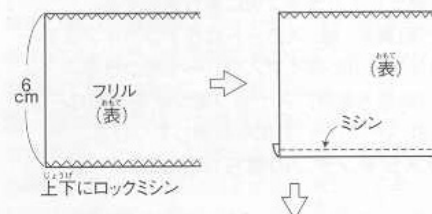
3 2のワイヤーにGクリアーをさらにつけ、接着芯を貼ったラメシャンタンにレース地を重ねたものではさみ、出来上がりの大きさにカットする。

4 3の裁ち切りの縁にブレードを貼り、造花とフェザースプレーをバランスよくまとめてつける。

5縁のワイヤーを内側に曲げながら形を整える。

16

薄紫のアシンメトリーのドレス

口絵／16ページ

■ドレス
■型紙
身頃A、土台スカート(アシンメトリー曲線)
……………………………………(A面)各1枚
袖……………………………………(A面)1枚
■材料　薄紫のラメタフタ・薄紫×銀のレース地・銀ラメのレース地各90cm幅60cm、表地と同系色ナイロンシャー90cm幅35cm、ドレスと同系色両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、白プリーツフリル2cm幅130cm、白レース4.5cm幅430cm、銀の山道テープ8mm幅600cm、銀ラメ両折りバイアステープ2cm幅170cm・1.5cm幅50cm、パール台アメジスト入りパーツ直径1cmを6個、パールパーツ直径6mmを30個、基本の材料各適量
■裁断前のスプレー洗濯糊の使用はなし。
■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。
■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)
表地は下から薄紫のラメタフタ、薄紫×銀のレース地、銀ラメのレース地の3枚を順に重ねる。
1～5は基本と同じで、身頃の前中心に山道テープを1本ミシンで縫う。
6袖は5本の山道テープをミシンで縫い、袖口はギャザーを寄せたレースと縫い合わせる。
7～12は基本と同じで9のゴム引きは2本。
13－(1)土台スカートの裾をバイアステープで始末する。
13－(2)フリル用の表地の上下にロックミシンをかけ、裾を折って縫い、山道テープをつける。上端にギャザー寄せミシンをかける。
13－(3)レースも同じ様にギャザー寄せミシンをかけ、下の段からフリルと交互にギャザーを寄せながらつける
13－(4)アシンメトリーのラインを書き込み、レースにかかる部分はそのラインでミシンをかけ、一番上のレースに山道テープを2本平行に縫う。
13－(5)(4)のラインにプリーツフリルを順にボンドで仮止めし、その中心に山道テープをのせ、ミシンで縫う。このとき後ろあきにかかる部分のプリーツフリルと山道テープは縫い残し、伸ばしたままにしておく。
14・15は基本と同じ。
16－(1)表に返し、ウエストにミシン。
16－(2)人形に一旦着せて、身頃のV字の山道テープをボディのラインに添わせながらGクリアーで貼り、乾いたらミシンで縫う。
17－(1)スカートの後ろあきを縫い、縫い残したフリルを縫う。
17－(2)胸まわりにプリーツフリルに山道テープを縫ったものを前後中心と肩に止め、スナップをつける。
17－(3)銀のバイアステープを3cm間隔でヒダを2山取りながら縫い絞ったものを、バランスよく配置して縫い止め、リボン小をスカートのウエスト左右と袖に、同じくリボン大を胸とスカートにつけ、リボン大の中心にアメジスト入りパーツ、リボン小とバイアステープの縫い絞りにパールパーツをGクリアーでつける。

6

13-(2)

13-(3)

1・3段めはレース、2・4段めは表布

17-(3)

銀のバイアステープ

〈使用する型紙〉

☆身頃A

☆袖

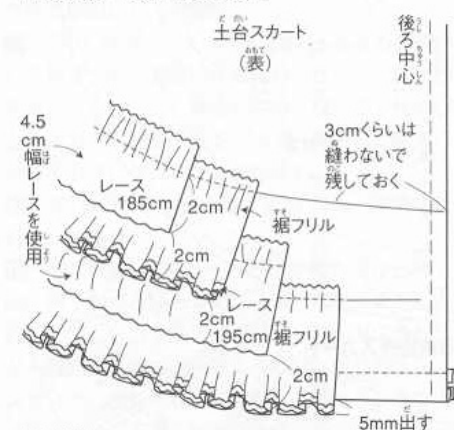
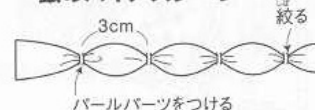
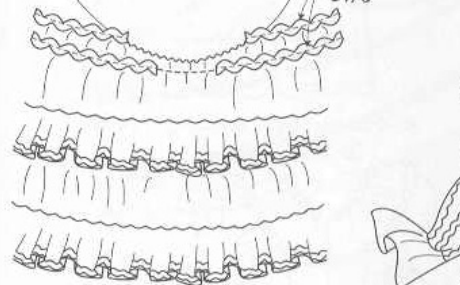
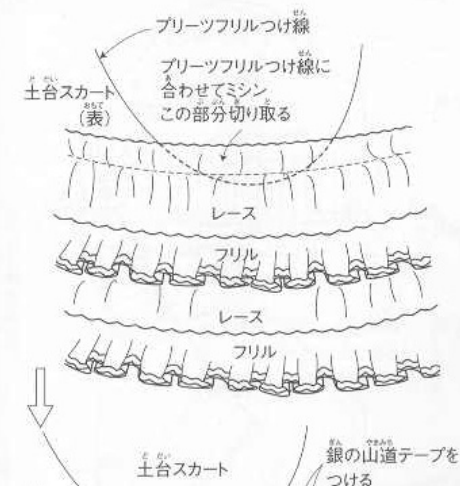
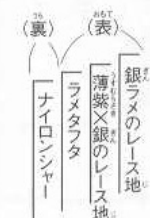
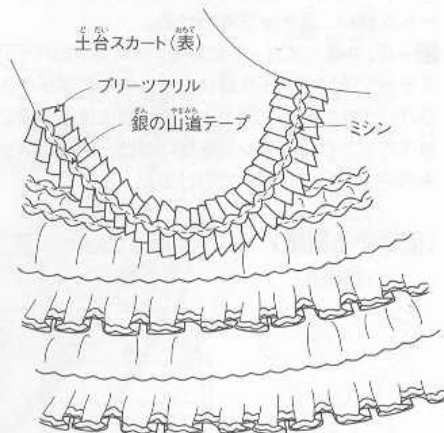
☆フリルの寸法 (型紙はなし)

13-(4)

プリーツフリルつけ線
プリーツフリルつけ線に合わせてミシン この部分切り取る
土台スカート（表）
レース
フリル
レース
フリル

土台スカート
銀の山道テープをつける

13-(5)

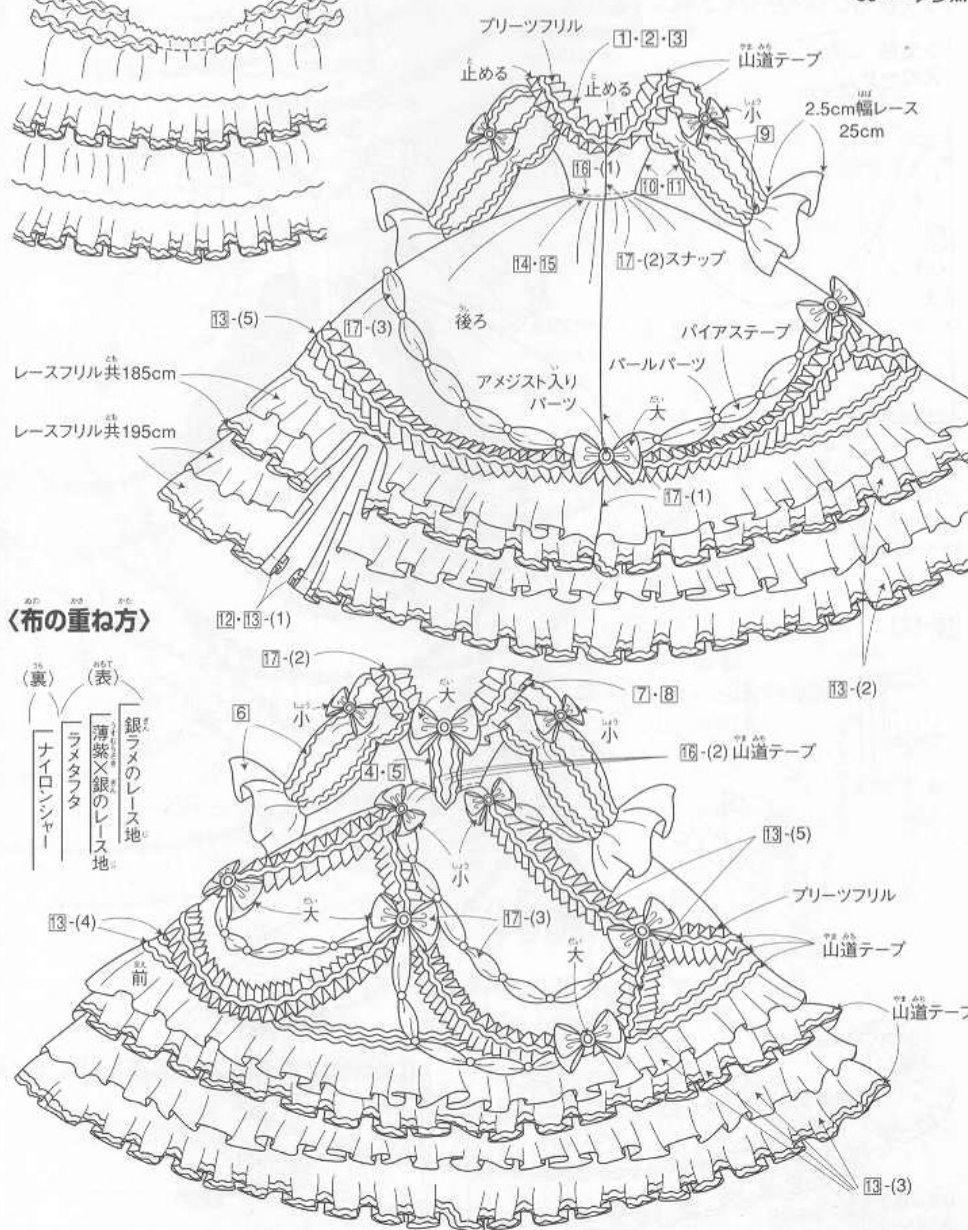
土台スカート（表）
プリーツフリル
銀の山道テープ
ミシン

※バイアステープのリボン（大・小）の作り方は53ページ参照

プリーツフリル
1・2・3
止める
止める
山道テープ
小
9
2.5cm幅レース 25cm
16-(1)
10・11
14・15
17-(2)スナップ
13-(5)
17-(3)
後ろ
バイアステープ
パールパーツ
アメジスト入りパーツ
大
レースフリル共185cm
レースフリル共195cm
17-(1)
12・13-(1)
13-(2)

〈布の重ね方〉

（裏）（表）
ナイロンシャー
ラメタフタ
薄紫×銀のレース地
銀ラメのレース地

17-(2)
大
7・8
6
小
小
16-(2) 山道テープ
4・5
13-(5)
小
プリーツフリル
13-(4)
大
17-(3)
山道テープ
前
大
山道テープ
13-(3)

16

薄紫のアシンメトリーのドレス

口絵／16ページ

■ヘアースタイル「ボンネット風」

真ん中分け、横分け、アップ植毛等でカールヘアーの人形が適します。もともとタテロール等にセットしてある人形はその部分を有効に利用して髪型をまとめます。髪をとかす時はエレガード等をスプレーして毛先からとかします。髪をしっかりセットする時はヘアースプレー、後れ毛の固定にはジェルを使いますが髪型によってはGクリアーを使用する場合もあります。

■髪飾り

（真ん中分けカールヘアーの人形使用）
髪飾り／薄紫の羽根
銀台アメジスト入りティアラ
銀ラメ両折りバイアステープ
パール台アメジスト入りパーツ2個

■作り方

1 耳の横から45度のラインで頭頂に向かって髪を前後に分け、後ろはゴムで括り前髪は左右のこめかみの毛をひとつまみ残して良くとかしておく。
2 後ろの毛をねじりながら額の生え際に添わせるように前髪を少しずつ巻きつけ、そのまま螺旋上にトップにまとめてピンで止め、髷を作り前髪と髷の間にティアラを入れ込みピンで止める
3 こめかみの毛をカールさせながらまとめてピンで止める。
4 後ろの植毛の隙間を隠すように羽根をまとめてつけ、その根元にドレスと同様に作ったリボンを2個バランスよくつける。

17

ローズピンクのシンメトリーのドレス

口絵／17ページ

■ドレス

■型紙

身頃A……………………………………(A面) 1枚
袖……………………………………………(A面) 1枚
スカートシンメトリー曲線……………(A面) 1枚

■材料 ローズピンクラメタフタ・ローズピンクレース地・黄色×銀ラメレース地各90cm幅35cm、ピンクナイロンタフタ(袖)25cm×15cm、表地と同系色ナイロンシャー90cm幅35cm、ローズピンク両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、ピンクボックスプリーツフリル5cm幅250cm、白プリーツフリル2.5cm幅150cm、金ラメ入り白×ピンクブレード5mm幅350cm、レモン色サテンバイアステープ1.5cm幅160cm、ピンクサテンバイアステープ2.5cm幅130cm、レモン色台ダイヤ入りパーツ直径1cmを13個、銀メッキパーツ直径6mmを10個、基本の材料各適量

■裁断前のスプレー洗濯糊の使用はなし

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)

表地は下からラメタフタ、ローズピンクのレース地、黄色×銀ラメのレース地の順に3枚重ねる。

1～5は基本と同じ。

6袖口に丈を詰めたピンクのボックスプリーツフリルと白のプリーツフリルを重ねて縫う。

7～11は基本と同じ。ゴム引きは上の段から袖口に向かって縫う。上半身は出来上がり。

12は基本と同じ。

13－(1)裾をバイアステープで始末する。

13－(2)スカートの裾に2種のプリーツフリルを縫い、上端と平行にブレード2本をボンドで仮止めしてから縫う。フリルの元々の糸はすべて抜き取る。両方とも後ろ中心側3cmくらいは縫わない。

13－(3)スカートの曲線のラインを書き、前中心にピンクのプリーツフリルの上端のみ縫う。

13－(4)白のプリーツフリルを重ねて縫い、余分なはみ出した両端の部分は縫い目ぎりぎりでカットする。

13－(5)(4)の上下にブレードをボンドで仮止めし、ミシンで縫う。

13－(6)左右サイド、左右後ろの順にプリーツフリル、ブレード2本をつける。他のラインに重なる部分はブレードのみ切り取り、フリルはそのまま(13－(4)参照)。後ろ中心側3cmくらいはフリル、ブレードとも縫わないでおく。フリルの元々の糸はすべて抜き、身頃にかかる部分のブレードもウエストから2cmくらいまで縫い残す。

14・15は基本と同じ。

16－(1)表に返し、縫い残したブレードを身頃にボンドで仮止めしてミシンで縫う。

16－(2)衿ぐりに2種のプリーツフリルをボンドで仮止めし、ブレードをのせてミシンで縫う。

17－(1)後ろあきを縫い、縫い残したフリルとブレードを縫い、スナップをつける。

17－(2)身頃とスカートにレモンイエローのバイアステープのリボン小を縫いつけ、中心にダイヤ入りパーツをつける。スカートの後ろには5つ縦に並べてピンクのリボン大を縫いつけ、中心にメッキパーツをGクリアーでつける。

13

土台スカートナイロンシャー

(裏) (表)

黄色×銀ラメのレース地

ローズピンクのレース地

ラメタフタ

ナイロンシャー

ブレードを残しておく

(身頃に続ける)

後ろ中心

3cmくらい縫わないでおく

中心で左右突き合わせになるようにフリルの幅を変える

ブレードを途中で縫い止める

ブレードを残しておく

下側になる部分のブレードは切り取る(フリルはそのまま)

ブレード

下側になる部分のブレードは切り取る(フリルはそのまま)

ブレードは途中で縫い止める

ピンク

白

ピンク

下側になる部分のブレードは切り取る(フリルはそのまま)

ブレード

ピンク

13-(1)

白

ピンク

〈裾と前中心のプリーツフリルとブレードのつけ方〉

5mm

5cm

ピンク

ブレード

2.5cm

白

プリーツフリル

ブレードは左右続けてリボンの角で接ぐ

(身頃に続ける)

3cmくらいすべて縫わないでおく

ブレードを続ける

3cmくらい縫わない土台スカートの後ろ中心を縫ってから続けて始末する

右側の角にブレード端をもってくる

16-(1)

スカートからのブレードを続けてつける

ミシン

〈サテンバイアステープのリボンの作り方〉

大7cm・小6cm

2.5cm・1.5cm

5mm

5mm重ねてボンドで貼る

中心を縫いしぼる

ひだを二つ作る 同じものを2個作る

2個を少し重ねて 糸でまとめて縫い止める

17

ローズピンクのシンメトリーのドレス

口絵／17ページ

■ヘアースタイル「ロココ風アップ」

真ん中分けカールヘアー衿足3本タテロールつきの人形を使用しましたが、タテロール部分はつけ毛でも良いでしょう。

■髪飾り

銀台ダイヤのティアラ

サーモンピンクのバラの造花

パールビーズ

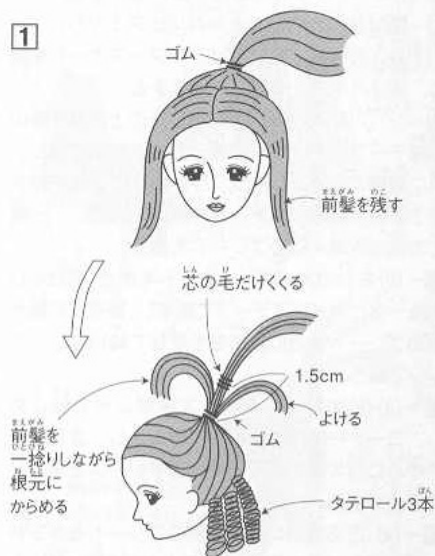
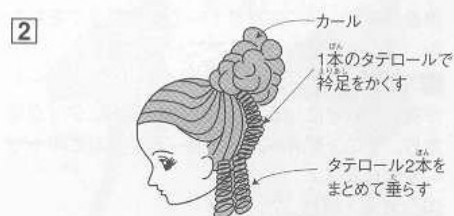
■作り方

1衿足の3本タテロールと生え際から頭頂迄の前髪長さ2㎝幅分け目から1㎝位を残してゴムで括り、その括った毛の外側を一皮残し、芯の毛だけを根元から1.5㎝くらいのところをゴムで括る。

2 1の前髪を基本のヘアー「フランス人形風アップ」の要領で一捻りしながら根元にからめてゴムで括り、毛先を小分けしてカールさせながらピンで止め、髷を作る。

3衿足のタテロール2本を片方にまとめて垂らし、残りの一本で衿足と髷の段差をうめるようにピンで止めながらまとめる。

4前髪と髷の間にティアラを入れてピンで止め、両サイドにバラの造花を3個ずつ飾り、後ろには糸に通したパールビーズをからめながら糸で髷に縫い止める。

18

金茶に銀色レースに紺のドレス

口絵／18ページ

■ドレス

■型紙

身頃A、土台スカート………………(A面)各1枚
袖………………………………(A面)対称に各1枚
見せかけアンダースカート……………(B面)1枚
オーバースカート……………(B面)対称に各1枚

■材料 金茶ラメタフタ・銀レース地・金×白ラメのレース地各90cm幅45cm、表地と同系色ナイロンシャー90cm幅35cm、ドレスと同系色両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、銀縁の白プリーツフリル2.5cm幅(衿ぐり)20cm・3.8cm幅(スカート)50cm・5cm幅(袖口)60cm、白×金山道テープ8mm幅40cm、白両縁平レース2.5cm幅50cm、白×銀花モチーフの平レース2cm幅50cm、紺×銀ブレード5mm幅300cm、紺色サテン両折りバイアステープ1.5cm幅220cm、銀台トパーズ入りパーツ直径1cmを17個、基本の材料各適量

■裁断前のスプレー洗濯糊の使用はなし

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)

表地は下から金茶のラメタフタ、銀のレース地、金×白ラメのレース地の順で3枚重ねる。

1～5は基本と同じ。

6袖は紺×銀のブレードをミシンで縫い、長さの違うプリーツフリルを重ねて縫い合わせる。

7～11は基本と同じ。上半身は出来上がり。

12土台スカートに見せかけアンダースカートを重ね、裾はバイアステープで始末する。

13－(1)フリルを裾に1段つけ、その上に白×金の山道テープをアンダーの部分のみミシンで縫う。次に銀縁の白のプリーツフリルとその上端を隠すように白×金の山道テープを順に3段縫い、一番上の端のみ紺×銀のブレードを縫う。

13－(2)左右のオーバースカートを接ぎ、前端から裾を一気にバイアステープで始末し、接ぎ目に紺×銀のブレードを裾に余裕をもたせて縫い残し、ミシンで縫う。

13－(3)(2)の前端に平レースをボンドで仮止めし、コーナーの角に合わせてカットし、さらにその中心に白×銀の花モチーフの平レースをボンドで仮止めする。

13－(4)(3)の両端にも紺×銀のブレードをボンドで仮止めしてからミシンで縫い、(2)で縫い残した接ぎ目のブレードの裾を1～2cmのタックをたたみ、ブレードで巻き込んでミシンで縫う。

14アンダースカートの上中心にオーバースカートが突き合わせになるように予め外向きにタックを取り、その上にオーバースカートを重ねてギャザーを寄せる。

15は基本と同じ。

16－(1)表に返してステッチをかける。

16－(2)身頃の中心に白×銀の花モチーフの平レースをボンドでつけ、人形に着せてV字に形作った紺×銀のブレードをボンドで仮止めしてからミシンで縫い、衿ぐりに銀縁の白のプリーツフリルと紺×銀のブレードを縫う。

17土台スカートの後ろあき、縫い残したフリル、オーバースカートの順に縫い、オーバースカートの前端にリボンを均等に並べてレースを縫い止めながら縫い、中心にトパーズ入りのパーツをつける。同様に胸、袖、オーバースカートの接ぎ目にもリボンとパーツをつけ、スナップをつける。

12・13-(1)

見せかけアンダースカート（表）

見せかけアンダースカートを縫いつける

土台スカート（表）

3cmくらい縫わないでおく

裾の始末

裾フリルをつける

アンダースカートの部分に山道テープをつける

裾フリル

ブレード

見せかけアンダースカート

プリーツフリル15cm

山道テープ

プリーツフリル16cm

山道テープ

プリーツフリル18cm

山道テープ

裾フリル

見せかけアンダースカート

ブレード

裾フリル

13-(2)・(3)・(4)

前

ミシン

バイアステープ

オーバースカート（裏）

縫い代はロックミシンで裁ち目かがり

後ろ中心

表にひびかぬようにまつる

平レースを重ねその上に花モチーフのレースを重ねる

両脇にブレード

縫いつける

縫い目の上にブレードを

前端のブレードを後ろ中心まで続けてつける

オーバースカート（表）

下は4cmくらい縫い残す

ブレードも6cmくらい残しておく

14

オーバースカートに合わせてタックをとる

ギャザー寄せミシン

オーバースカート（裏）

前中心で突き合わせ

オーバースカートの裾の始末

バイアステープ

裾

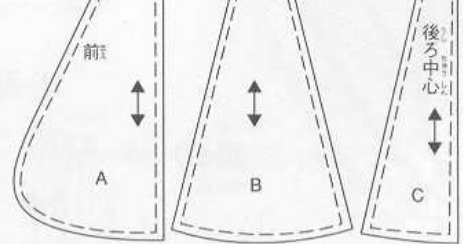
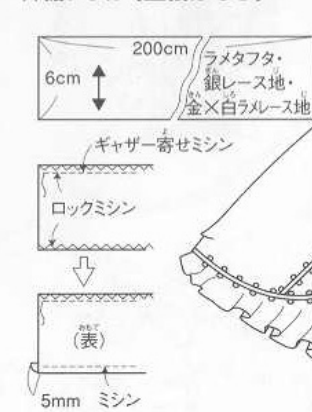
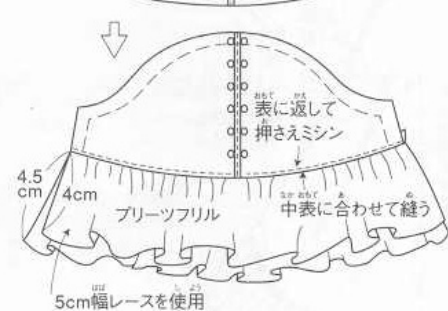
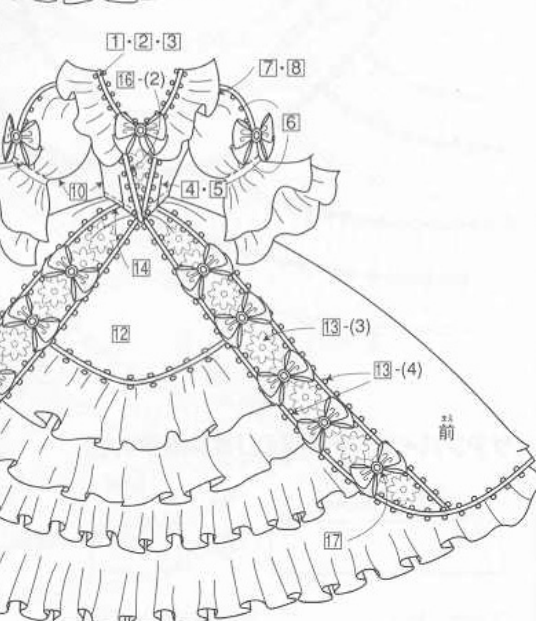
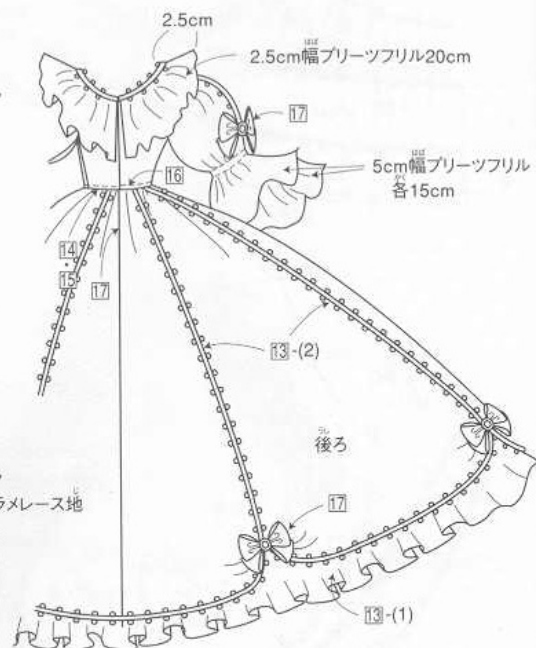
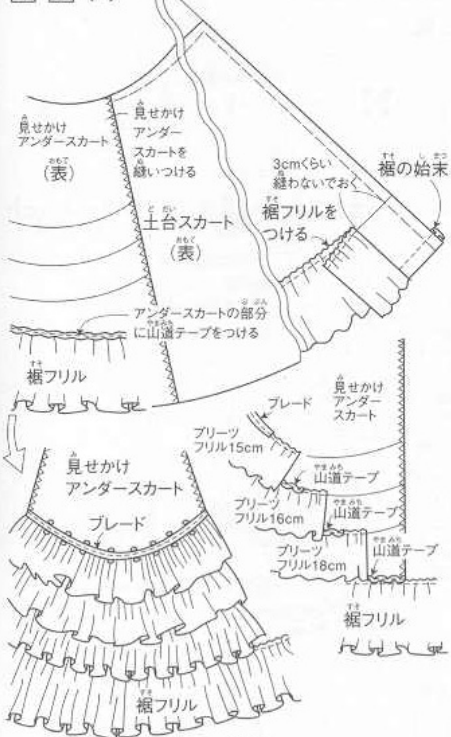
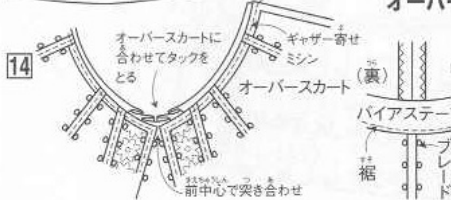
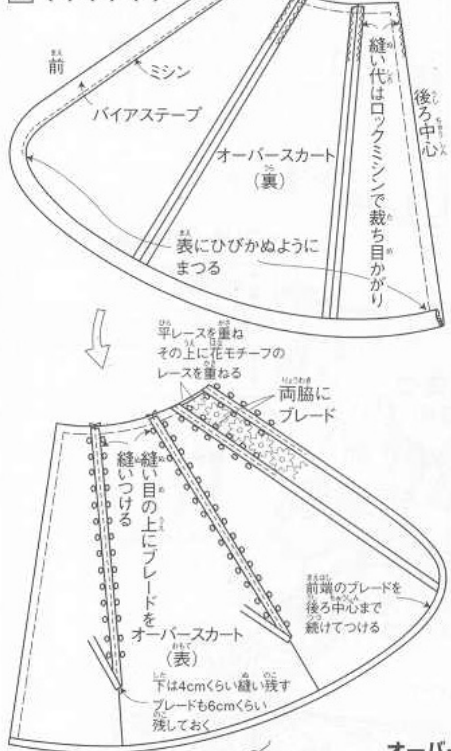
ブレード

ひと針縫い止める

5～6mmつまむ

1～2cmたたむ

ブレードでタックを巻き込む

18

金茶に銀色レースに紺のドレス

口絵／18ページ

■ヘアースタイル「フォンタンジュ風」

トップアップカールヘアーの人形使用

■髪飾り

白の羽根、紺色のオーストリッチ、オレンジ色のオーストリッチ、金台サファイヤ入りティアラ、タテロールつけ毛

■作り方

1 最初に前髪以外の毛を全て頭頂でゴムで括り、後ろからトップアップの前髪をセンター、左右の順で根元にまとめ、一緒にゴムで括る。

2 2段にゴムで括り、毛先を散らすようにランダムにカールさせて髷を作る。

3 20cmくらいに切ったタテロールのつけ毛を指先でからめながら楕円形にまとめて2個作り、こめかみから根元に向けてバランスよくピンで止める。

4 同じ長さのつけ毛を二つに折って毛先から6～7cmはタテロールを残し、残りの輪の部分を同様にからめながら後頭部にピンで止め、タテロールが6本まっすぐに並ぶようにまとめる。

5 最後に前からティアラを差し、ピンで止め、髷、両サイド、後ろのつけ毛と地毛が一体になるように形よくまとめて羽根と根元にリボンを飾る。

1 ゴム

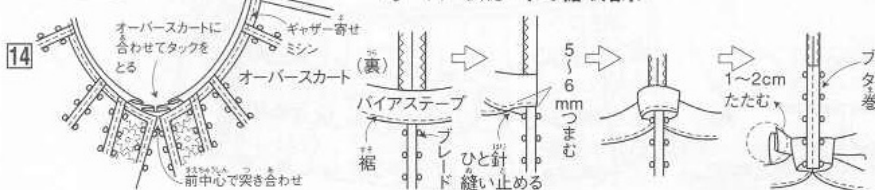
2 ゴム

カール

3

4 タテロールつけ毛

6～7cm

19

ミントグリーンに金ラメレース＋紫色のドレス

口絵／19ページ

■ヘアースタイル「アントワネット風」

ポニーテール、両サイド細タテロール2本つきの人形使用

■髪飾り

エメラルドグリーンのオーストリッチ2本

白オーストリッチ1本、紫オーストリッチ1本

白のベビーマラボー、パールビーズ、ワイヤー

■作り方

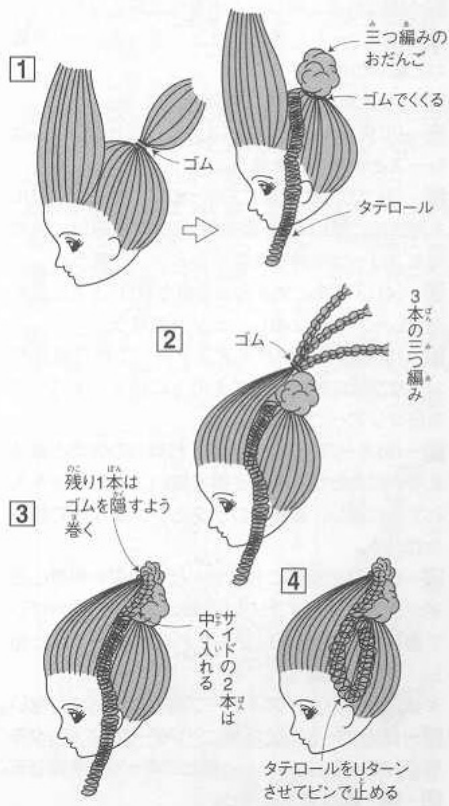
1 耳の横から45度で頭頂から前後に分け、後ろの毛は頭頂で束ねてゴムで括り、三つ編みにして根元に巻きつけ、高い髷を作る。

2 両サイドのタテロールを除き、前髪を真上にとかしながら、1で作った髷のトップでまとめてゴムで括り、垂直にピンを髷に打って固定し、残った毛先は3つに分けそれぞれ三つ編みにする。

3 2で作った三つ編みの両端2本は前に持っていき、毛先を前髪の中に入れ込みピンで止める。真ん中の一本はトップのゴムを隠すように巻きつけてピンで止める。

4 両サイドのタテロールを頬骨の辺りでUターンさせピンで止める。

5 パールビーズをワイヤーに通し、3連にまとめてあみだに前髪に飾り、後ろにオーストリッチをバランスよくつけ、根元を隠すようにベビーマラボーを飾る。

19

ミントグリーンに金ラメレース＋紫色のドレス

口絵／19ページ

■ドレス

■型紙

身頃A、土台スカート……………(A面)各1枚
袖…………………………………(A面)1枚
オーバースカート……………(B面)対称に各1枚
見せかけアンダースカート…………(B面)1枚

■材料　ミントグリーンの織柄入り裏地・金×白のレース地・金ラメのレース地各90cm幅45cm、表地と同系色ナイロンシャー90cm幅35cm、同系色の裏地(裏オーバースカート分)80cm×30cm、ドレスと同系色両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、白×金のレース4.5cm幅220cm、白ボックスプリーツフリル2.5cm幅100cm、金×白ブレード8mm幅210cm、紫色の両折りサテンバイアステープ1.5cm幅140cm、金のバイアステープ2cm幅50cm、銀メッキパーツ直径8mmを45個、金台ダイヤ入りパーツ直径1cmを3個、基本の材料各適量

■裁断前のスプレー洗濯糊の使用…………ミントグリーンの織柄入り裏地、表地と同系色の裏地

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)

表地は下からミントグリーンの織柄入り裏地、金ラメのレース地、金×白のレース地の順に3枚重ねる。

1～**5**は基本と同じ。

6袖口に白×金のレースをつけ、ゴムをつける。

7～**11**は基本と同じ。上半身は出来上がり。

12土台スカートに見せかけアンダースカートを重ねて縫いつける。

13ー(1)土台スカートの裾を始末する。

13ー(2)見せかけアンダースカート部分のフリルはレースと表地2段を縫う。

13ー(3)フリルの上端に白ボックスプリーツフリルを逆さまに置いて(下図参照)ミシンで縫い、反対側もプリーツを押さえながらミシンで縫う。

13ー(4)(3)のもともとの糸を抜き取り、上下に金×白ブレードを仮止めし、ミシンで縫う。

13ー(5)紫のサテンバイアステープで飾りを作り、ジグザグ状に縫い止めてその上に銀メッキパーツをGクリアーでつける。

13ー(6)オーバースカートは3枚重ねの表地と裏地を中表に合わせて前端と裾を縫い、切り込みを入れて表に返し、後ろはロックミシンをかけて縫い合わせる。

13ー(7)(6)の前端にも見せかけアンダー同様に白ボックスプリーツフリル(裾側はプリーツを伸ばして裏に折る)と金×白ブレードをボンドで仮止めし、ミシンで縫う。

※紫のサテンバイアステープ飾りはまだつけない。

13ー(8)54ページ**14**と同様にアンダーの上にタックを取り、オーバースカートと重ねてギャザーを寄せる。

14・**15**・**16**は基本と同じ。

17ー(1)白ボックスプリーツフリルをナイロンシャーにのせて両端をミシンで縫い、もともとの糸を抜き、さらにその両端に金×白ブレードをGクリアーで仮止めする。

17ー(2)人形に着せながら出来上がった身頃の衿ぐりからウエストのV字の長さに合わせて金×白ブレードを三角に折り込み、身頃にGクリアーで仮止めし、乾いたらミシンで縫う。

17ー(3)衿ぐりにギャザーを寄せたレースと金×白ブレードをボンドで仮止めしミシンで縫う。

17ー(4)後ろあきをアンダーとオーバースカートを一緒に縫い、スナップをつける。

17ー(5)オーバースカートの前端を90度に畳んで一針縫い、そのまま左右対称に絞り上げて縫い止める。

17ー(6)前端にアンダー同様に紫の飾りをつける。

17ー(7)金のバイアステープでリボン大を作り、胸、袖、オーバースカートに縫い止め、中心に金台ダイヤパーツをつける。

〈使用する型紙〉

☆袖　☆身頃A

織柄入り裏地・金ラメのレース地・金×白のレース地

ナイロンシャー

☆土台スカート・見せかけアンダースカート

土台スカート ナイロンシャー

見せかけアンダースカート

ボックスプリーツフリル　フリルつけ位置

レースつけ位置　3cm

織柄入り裏地・金ラメのレース地・金×白のレース地

☆オーバースカート

後ろ中心

織柄入り裏地・金ラメのレース地・金×白のレース地 裏地

☆フリル(型紙はなし)

4cm 1段め 95cm

4.5cm 2段め 110cm

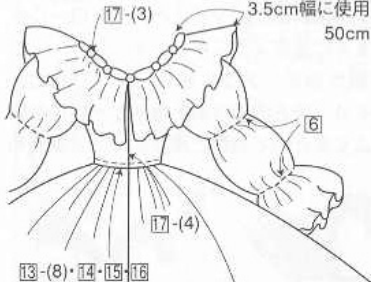
織柄入り裏地・金ラメのレース地・金×白のレース地

4.5cm幅のレースを3.5cm幅に使用 50cm

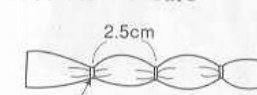
後ろ

土台スカート　裏布　表布

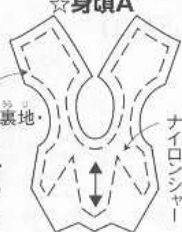
4.5cm幅レース 20cm

前

※バイアステープのリボン(大)の作り方は53ページ参照

バイアステープの飾り

2.5cm

結びめに銀メッキパーツをつける

ボックスプリーツの使い方

(身頃・オーバースカート・見せかけのアンダースカート)

20

深紅薄手ベルベットのドレス

口絵／20ページ

■ドレス

■型紙

身頃A、土台スカート（見せかけアンダースカート）……………………………………（A面）各1枚
袖……………………………（A面）対称に各1枚
立ち衿、オーバースカート…（B面）対称に各1枚
図案……………………………………（B面）1枚

■材料　深紅薄手ベルベット90cm幅120cm、赤ナイロンシャー90cm幅35cm、赤両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、赤ハードチュール15cm×15cm、白ハードチュール10cm×10cm、白オパールラメタフタ10cm×10cm、白プリーツレース6cm幅140cm、白変り山道テープ8mm幅30cm、ピンクサテン両折りバイアステープ1.5cm幅100cm、銀ブレードA（片ピコット）4mm幅330cm、銀ブレードB（両ピコット）6mm幅120cm、白×銀ブレード5mm幅75cm、パール台ダイヤ入りパーツ直径8mmを27個、銀台ルビー入りパーツ直径1cmを8個、白台ダイヤトリム3mm幅370cm、透明ビニールシート、基本の材料各適量

■裁断前のスプレー洗濯糊の使用はなし

■特種用具

ベルベット押さえ（ミシンの金具）
ベルベットメイト（ベルベット用アイロン台）

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方（基本ドレスの作り方は10・11ページ）

はじめにベルベットを縫う時はできるだけミシンの押さえ金と専用アイロン台を使う。またベルベット押さえはベルベット同士、他の素材とベルベットを縫うときには向くが他の素材のみには向かないのでこまめに押さえ金を取り替える。

1～5は基本と同じ。

6袖口にロックミシンをかけ、中央に銀ブレードBをのせてミシンで縫い、袖口を裏に折って端を縫う。ゴム引き位置にプリーツレースを縫う。

7～9は基本と同じに縫い、袖の銀ブレードBのセンターにラインストーンのトリムを貼りつけ、1本取りの糸で縫いかがる。

10・11－(1)は基本と同じ。

11－(2)立ち衿の型紙に合わせて切った白のハードチュールにラメタフタを重ねて貼り、縁に変り山道をミシンで縫い、後ろあきを折ってギャザー寄せミシンを入れたプリーツレースの端と縫い、ギャザー寄せの糸を引いて衿ぐりに合わせて縫う。

11－(3)衿の衿ぐりに切り込みを入れ、身頃の衿ぐりに立体に添わせるようにGクリアーでつけ、その部分を隠すように内側にも変り山道テープをボンドで仮止めし、衿ぐりの表からミシンで縫う。上半身は出来上がり。

12見せかけアンダースカートを土台にのせ、裾をバイアステープで始末する。

13－(1)裾にフリルをつけ、後ろ端は縫い残す。

13－(2)見せかけアンダースカートのフリルの上にプリーツレースをのせてまず上端を縫い、次に2cm下を縫う。

13－(3)(2)で縫った所に銀ブレードAをGクリアーでつけ、乾いたらミシンで縫い、その間に白×銀のブレードをジグザグ状にボンドで仮止めし、ミシンで縫う。

13－(4)オーバースカートはそれぞれ3枚接ぎで裾を始末し、ドレープを縫う。前端はフリルの裾までの距離でまとめ、接ぎ目には銀ブレードBを縫う。

13－(5)赤のハードチュールにプリーツレースを置いて両端を縫い、寸法にカットし、見せかけアンダースカートと両端のドレープの接ぎ目に重ねて両端をミシンで縫い、(4)同様にブレードをつける。

14～16は基本と同じ

17－(1)銀ブレードBを身頃の中心に1本つけ、ボディに着せてウエストのセンターからV字に折った銀ブレードBを添わせながら衿ぐり後ろあきまでGクリアーでつけ、乾いたらミシンで縫う。

17－(2)土台スカートの後ろあき、裾フリルの縫い合わせ、17－(3)後ろ中心のドレープの処理、17－(4)後ろのブレードのつけ方は49ページ17－(1)～(3)を参照する。

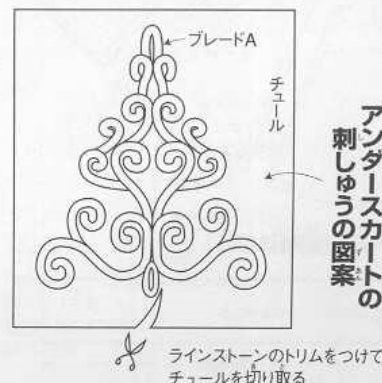
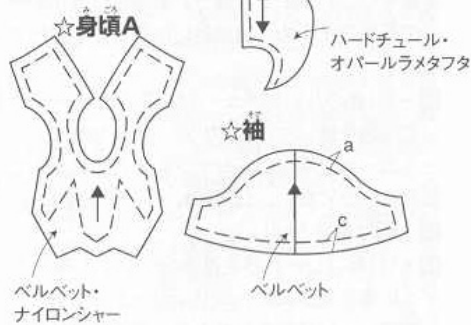
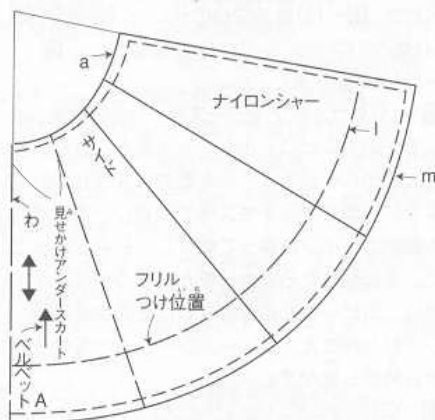
17－(5)見せかけアンダースカートの図案をコピーしてその上にビニールシートを置き、さらにその上に赤のハードチュールを重ね、3枚がずれないように四隅をホッチキス等で固定し、透けて見える模様のラインに添って銀ブレードAを貼っていく。全部貼れたら完全に乾かないうちに固定をはずし、コピーした紙をはずし、そのまま裏返してしっかり押さえ、ビニールシートだけをめくりながら剥がし乾かす。

17－(6)完全に乾いたらラインストーンのトリムをつけ、ラインにそって輪郭を切り抜き、スカートに重ねて糸で縫いかがる。

※かがる時の糸は1本取りでラインストーンを2個くらいに一針ずつにし、模様の中央部迄行なう。

17－(7)他のスカートの銀ブレード部分と胸にも同様にラインストーントリムをつける。

17－(8)ピンクのサテンバイアスで作ったリボンを胸と袖、スカートにつけ、中心にルビー入りのメッキパーツをつける。あきにスナップをつける。

アンダースカートの刺しゅうの図案

20
深紅薄手ベルベットのドレス
口絵／20ページ
■ドレス
☆ベルベットの裁ち方図は66ページ
〈使用する型紙〉
☆身頃A
ベルベット・ナイロンシャー
☆立ち衿
ハードチュール・オパールラメタフタ
☆袖
a
c
ベルベット
☆土台スカート・見せかけアンダースカート
a
ナイロンシャー
l
m
わ
サイド
見せかけアンダースカート
フリルつけ位置
ベルベットA
☆オーバースカート　B·C·D対称に各1枚
ベルベット
B
C
D
☆裾フリル（型紙はなし）
6mm
ロックミシン
6cm
ベルベット
180cm
6
銀ブレードB
袖（表）
折ってミシン
袖（表）
袖（表）
ミシン
4.5cm
プリーツフリル
20cm
6cm幅レースを4.5cm幅に使用する
13-(1)
土台スカート
3cmくらい縫わないでおく
見せかけアンダースカート
縫いつける
前飾りの下になる部分はギャザーを寄せない
l
13-(2)
2cm
プリーツレース
裾フリル
裾フリル
6cm
ロックミシン
ギャザー寄せミシン
（表）
ミシン
5mm
※裾フリルは2枚を接ぎ合わせる。
13-(4)
縫い代は割る
縫い縮める
18cmに縮める
銀のブレードBを縫いつける
D
前側
C
フリル裾までの寸法
B
バイアステープをつけ、まつる
13-(3)
見せかけアンダースカート（表）
土台スカート（表）
銀ブレードA
プリーツレース
白と銀ブレードA
裾フリル
13-(5)
オーバースカート（表）
6mm重ねる
ミシン
飾り布つけ位置（x）
見せかけアンダースカート（表）
1.5cm
1.5cm
チュール
プリーツレース
プリーツ押さえのミシン
台形型に本縫い
3cm
余分を切り落とす
前飾り（表）
3cm
2本作る
14
見せかけアンダースカートの中心をたたんで、前飾りを突き合わせる
縫い目の上にブレードAをつける
前飾りをつける
見せかけアンダースカート（表）
（x）
オーバースカート（表）

20

深紅薄手ベルベットのドレス

口絵／20ページ

■ヘアースタイル「ロココ風」

生え際がアップ植毛の人形ならカール、ストレートどちらでも良い。

■髪飾り

白のオーストリッチティップ3本、白バラ造花、銀台ダイヤのティアラ、タテロールつけ毛

■作り方

1 髪の毛を耳の横頭上に45度に向って前後で分け、後ろの毛はゴムで括って毛先を三つ編みにして根元に巻きつけながらお団子にまとめピンで止める。

2 スキ毛をお団子の前に乗せ、前髪を被せトップでゴムで括ってピンを打ち、残った髪の毛は二つに分けてそれぞれ三つ編みにし、お団子に添わせてピンで止める。

3 タテロールのつけ毛4本をトップから順番にサイドに乗せ、ピンで止めながら顔に近い部分はGクリアーをつけて固定する。さらに後ろに一本のタテロールを8の字に絡めながらゴム等を隠すようにピンで止めていく。ティアラをつける。

4 オーストリッチの羽根先をカットして物差しやハサミの背でしごいてカールさせて3本を髪に飾り、根元にバラの造花をバランスよくつける。

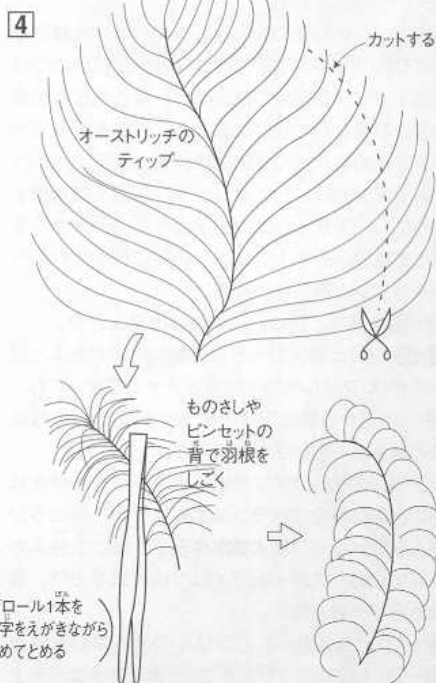
※顔についたGクリアーは乾けば手で引っ張るようにすると簡単にはがせます。また髪についたGクリアーはマニキュアの除光液を化粧用カット綿や綿棒等に染み込ませ、直接湿布すると気持よくはがれてきます。尚、その際に顔の彩色部分にかかると色落ちしますので気をつける事。

21

グリーンの6段フリルのドレス

口絵／23ページ

■ドレス

■型紙

身頃A、土台スカート…………………(A面)各1枚
袖…………………………………(A面)対称に各1枚

■材料　白地にグリーン系模様のオーガンジー(身頃・袖・フリル)90cm幅240cm、薄緑化繊(身頃・土台スカート)90cm幅35cm、白ナイロンシャー90cm幅35cm、グリーンベルベット(リボンと同色)25cm×25cm、薄緑両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、白ナイロン平レース1cm幅900cm、糸レース6mm幅15cm、グリーンベルベットリボン　フリル用3mm幅900cm・ウエスト用6mm幅13cm・胸飾り用9mm幅10cm、造花3個、スナップ5組、基本の共通材料各適量

■裁断前にスプレー洗濯糊使用……薄緑の化繊

■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。

■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)

スカートと胸のフリル用のオーガンジーの上下の布端にロックミシンをかけ、フリルの裾は伸ばしたままで白のナイロン平レースと3mm幅のベルベットリボンをボンドで仮止めし、ベルベットリボンの上下をミシンで縫う。

※一番細いグリーンのベルベットリボンは予めアイロンで毛並みを一方向に寝かせてから使う。リボンの両端等のステッチには段つき押さえを使用する。フリルのギャザー寄せのミシンをかけ、胸のフリルは後ろの両端にもロックミシンをかける。身頃は薄緑の化繊の上にオーガンジーを重ねるが、袖はオーガンジーのみで作る。

1～8は基本と同じ

出来上がった身頃の前中心にはギャザーを寄せる。衿ぐりにフリルとリボンをつける。フリルのつけ方はギャザーを寄せてからつけ、後ろあきは出来上がりで突き合わせになるように両端を折ってボンドで止める。衿ぐりの飾りは糸レースにベルベットリボンをはしごに通し、フリルの上端を隠すようにレースが少しはみ出すようにつけ、中心を絞って縫い、その上にリボンの形に作ったベルベットリボンと造花をつける。

9～11は基本と同じ。上半身は出来上がり。

12・13－(1)土台スカートは薄緑の化繊で基本と同じに作り、フリルのつけ位置をチャコで書いておく。

13－(2)裾から順にフリルをつけるが、2～6段は後ろ端3cmくらい手前まで縫う。

＊フリルの裾のラインが硬くなりギャザーがきれいに出ない場合はバランスよくフリルの裾にランダムな縦ドレープをよせながらマチ針で土台スカートに止め、スチームアイロンの蒸気をかけ、冷めたらマチ針を抜く。

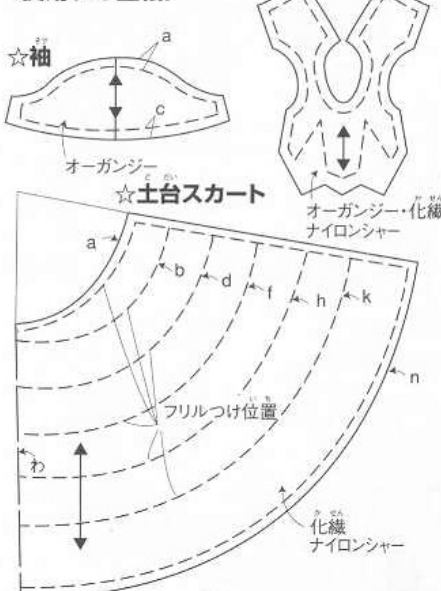
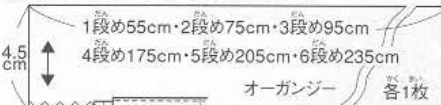
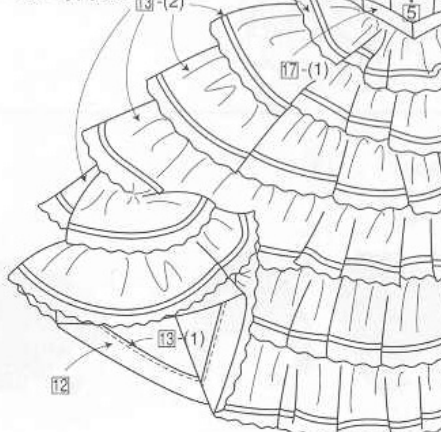
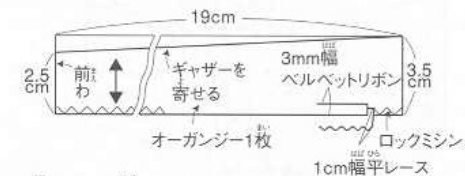
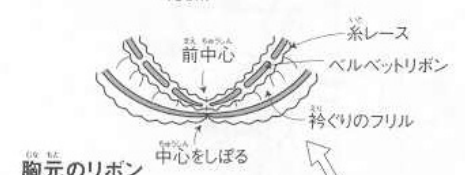
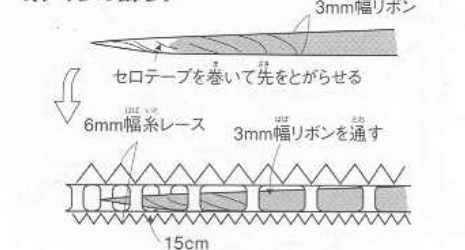
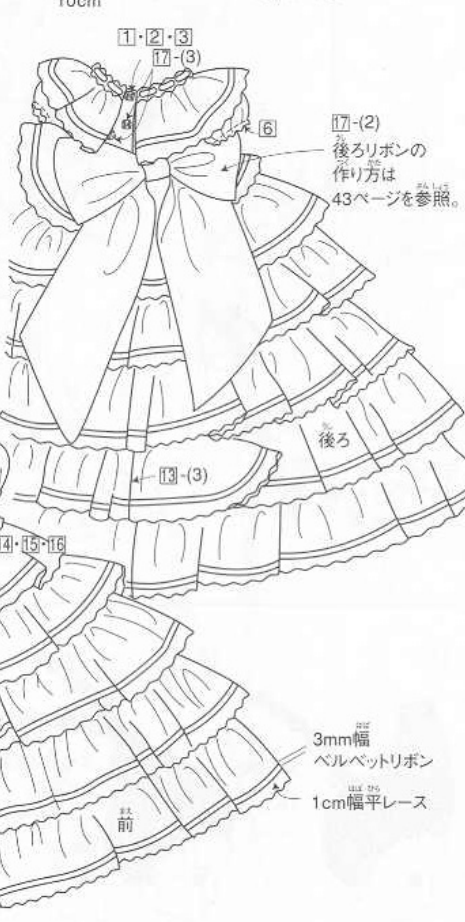
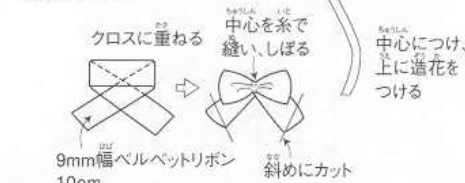
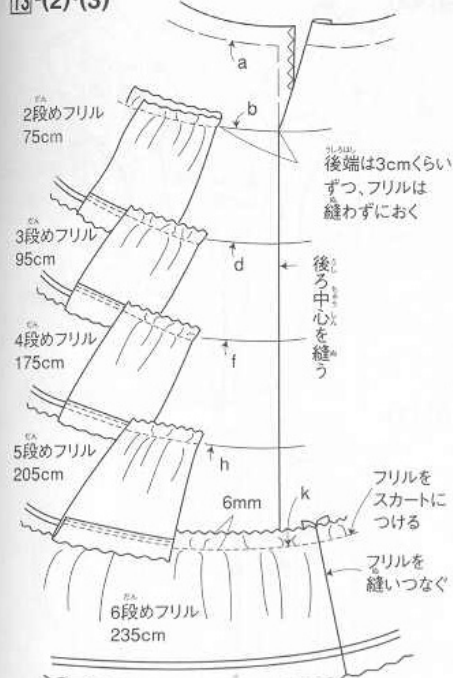
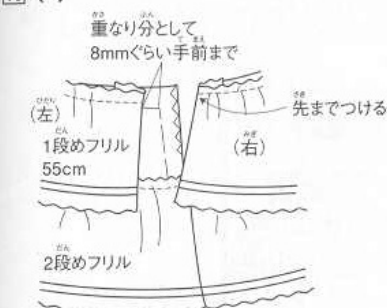
13－(3)土台スカートとフリルの後ろ中心を縫う。

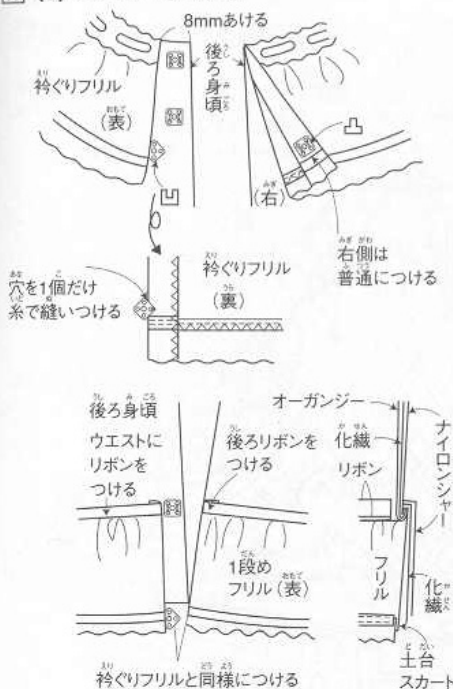
13－(4)1段めのフリルをつけ、後ろあきは出来上がりで突き合わせになるように裏に折ってボンドで止める。

14～16は基本と同じ

17－(1)ウエスト用のベルベットリボンを半分に折ってV字のラインの角度に合わせて斜に縫い、縫い代はアイロンで割り、はみ出す余分はカットして身頃のウエストラインに合わせて中心と脇、後ろを縫い止める。

17－(2)後ろの大きなリボンを作るが、ミシンの押さえ金はベルベット押さえを使用する。

17－(3)後ろあきにスナップをつける。衿フリルとスカートの1段め、衿レースは図を参照。

13-(2)・(3)

13-(4)

17-(3) スナップをつける

21

グリーンの6段フリルのドレス

口絵／23ページ

■長手袋

■型紙

長手袋……………………………(B面) 1枚

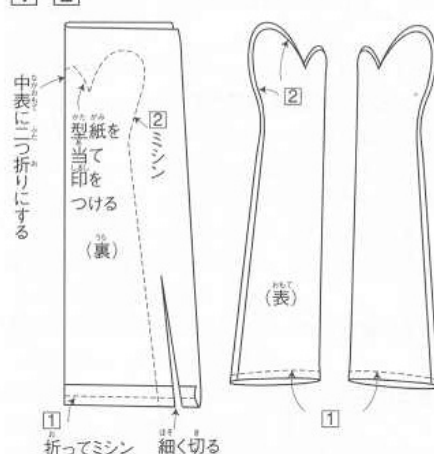
■材料　白の薄手トリコット10cm×10cm

■作り方

1 大まかに切ったトリコットの裾を裏に折って端ミシンで縫う。

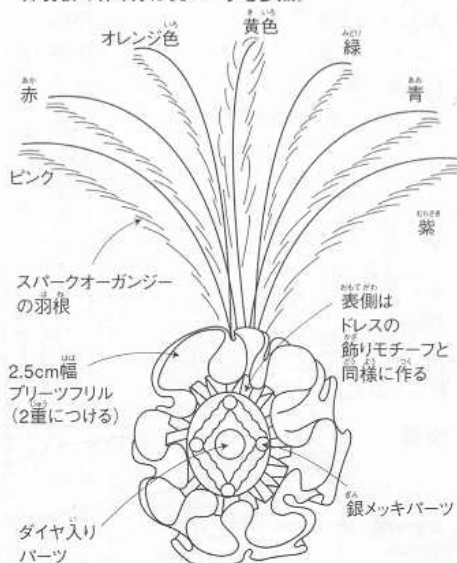
2 端を合わせて縦に中表に折り、型紙のラインを書いてミシンで縫い、縫い代をできるだけ少なくカットし、指の股に切り込みを入れ表に返す。

1・2

■髪飾り

■材料　グリーンベルベットリボン 6㎜幅15cm

■作り方

胸用と同じ作り方のリボンを2個作り髪に飾る。

☆羽根の作り方は63ページを参照。

22

黒×金地のドレス

口絵／24ページ

■ヘッドドレス

■型紙

ヘッドドレス……………………………(B面) 1枚

■材料　黒×金地にレインボーホログラム、金梨地総スパンコール5cm×5cm、黒薄手接着芯(アピコ50) 5cm×5cm、黒厚手接着芯(ダンレーヌ) 5cm×5cm、黒×金の山道テープ1cm幅12cm、黒に金縁のプリーツフリル2.5cm幅30cm、金ブレード6㎜幅10cm、山吹×金の末広ブレード1cm幅12cm、7色スパークオーガンジー各適量、22番金紙巻きワイヤー、銀ホログラムスパンテープ3㎜幅20cm、銀ダイヤ入りパーツ1個、銀メッキパーツ4個

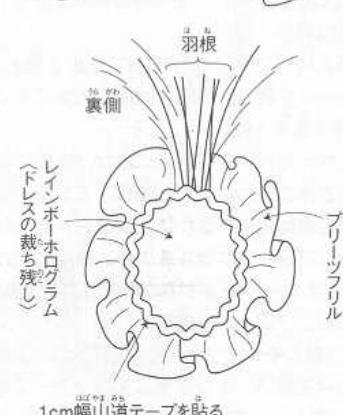
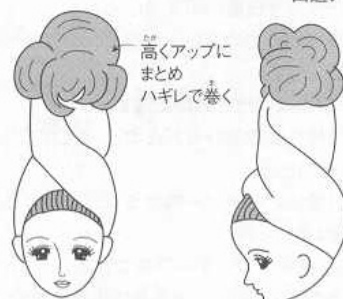
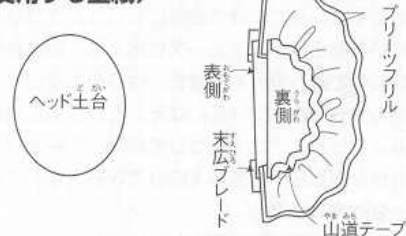
■作り方

1 表側はドレスの飾りモチーフと同じに作る。

2 オーガンジーの羽根を作り、長さを調節して根元を切り、1の裏につける。

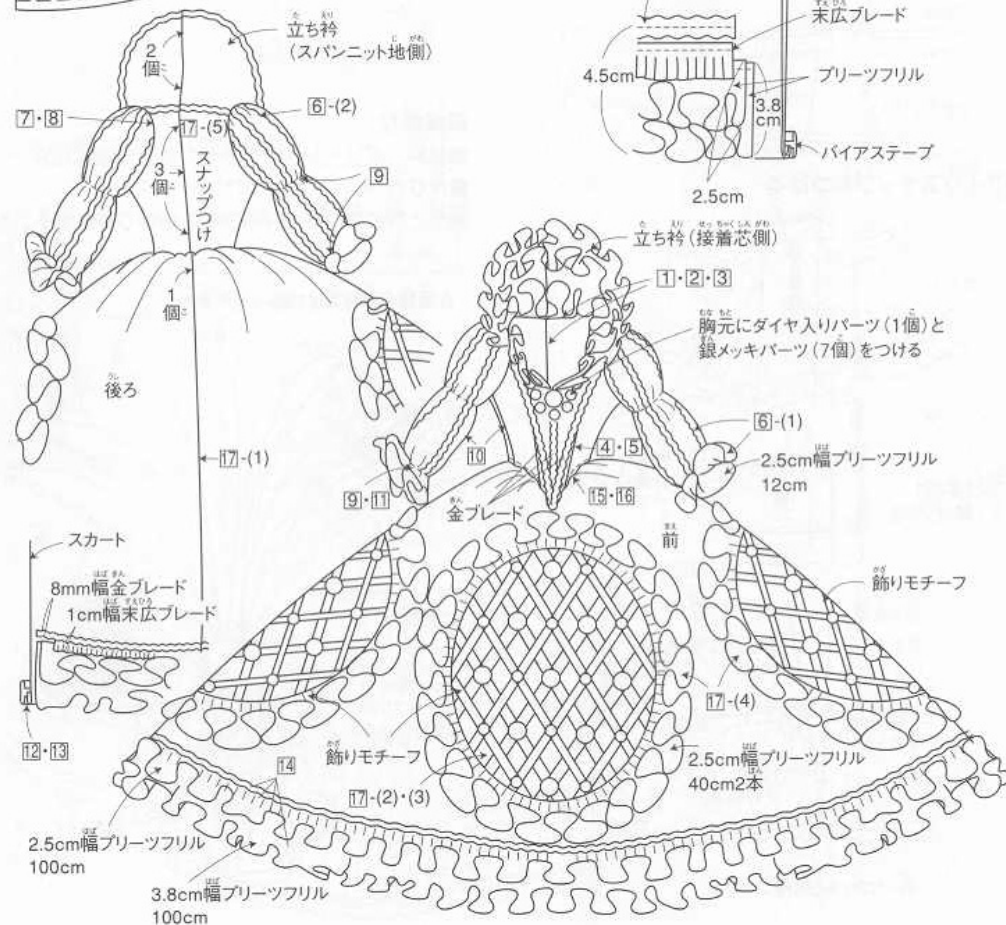
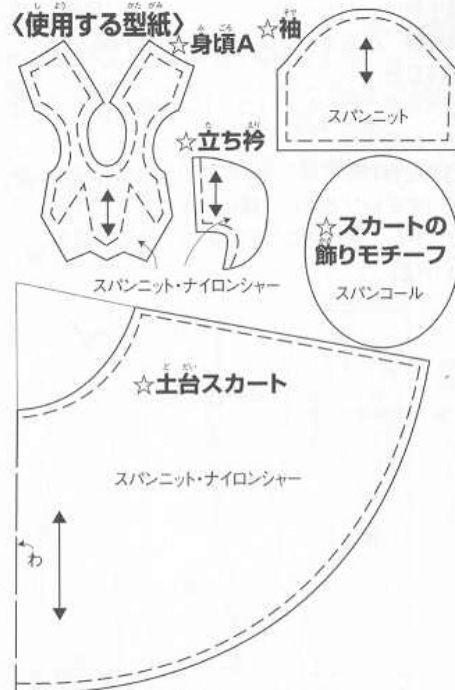
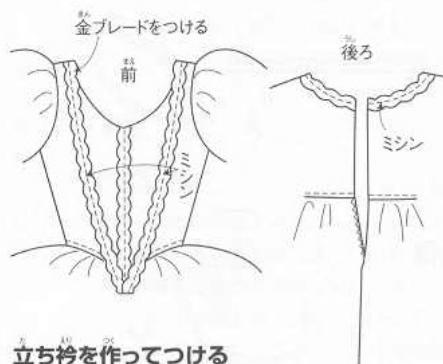
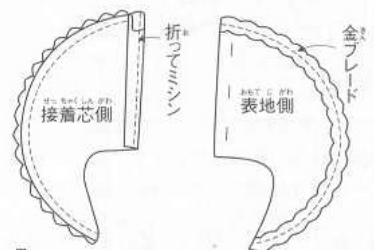
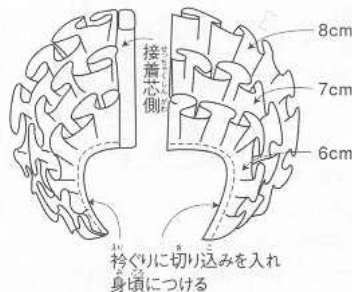
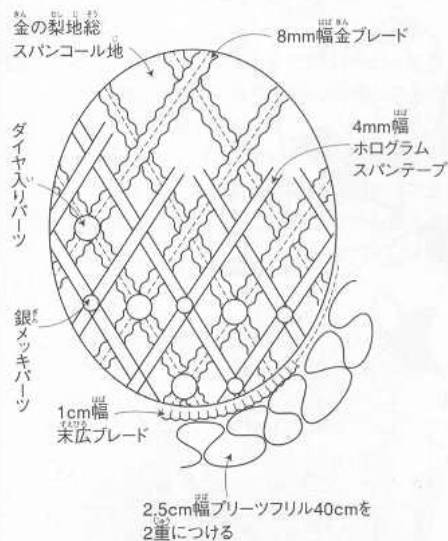
3 裏側は表布を貼り、その回りを隠すように山道テープをつける。髪を高くアップにまとめ、頭部をハギレ等で巻き、虫ピンで止める。

〈使用する型紙〉

22

黒×金地のドレス

口絵／24ページ

■ドレス
■型紙
身頃A、スカート、袖……………(A面)各１枚
立ち衿……………………(B面)対称に各１枚
スカートの飾りモチーフ……………(B面)１枚
■材料　黒×金地にレインボーホログラムの接着スパンニット90cm幅40cm、金梨地総スパンコール40cm×35cm、黒ナイロンシャー90cm幅35cm、薄手接着芯(アピコ50)90cm幅35cm、厚手接着芯(ダンレーヌ)40cm×20cm、黒両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅100cm、黒に金縁のプリーツフリル2.5cm幅410cm・3.8cm幅100cm、金ブレード８mm幅370cm、山吹×金の末広ブレード１cm幅210cm、銀ホログラムスパンテープ４mm幅240cm、銀ダイヤ入りパーツ28個、銀メッキパーツ43個、４コールゴム20cm、スナップ６組、シリコンスプレー、金か銀の液状ボールペン、基本の共通材料各適量
■裁断前のスプレー洗濯糊の使用はなし
■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。
■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)
表地の素材は性質上ミシンの目とびや、糸切れを起こしやすいので、縫う部分にシリコンスプレーを吹いてから縫うとスムーズに縫える。他の素材と合わせて縫う場合も同様に、縫う時に表になっている部分に吹きつける。また、ミシン糸に直接染み込ませるように吹きつけて使用してもよい。
表地は全面に薄手接着芯を貼ってからカットする。
1～3は基本と同じ。
4ー(1)ダーツ位置の印をつける。
4ー(2)中心に金のブレードをミシンでつけ、ダーツを縫う。
5ダーツの縫い代を外側に倒す。
6ー(1)袖に金のブレードをつけ、袖口にプリーツフリルをつける。
6ー(2)袖山にギャザー寄せミシンをかける。
7・8は基本と同じ。
9袖口、袖中にゴムテープをつける。
10・11は基本と同じ。上半身は出来上がり。
12・13は基本と同じ。
14基本と同じで裾にプリーツフリル２段と末広、金ブレードを縫う。両端３cmは縫わずにおく。
15・16は基本と同じ。
出来上がったドレスを人形に着せ、身頃に金ブレードを立体に這わせながら貼り、ミシンで縫う。
立ち衿の表地側の外回りに金ブレードをつけ、接着芯側にプリーツフリルをつけ、身頃につける。
17ー(1)スカートの後ろ中心を縫う。14で縫い残したフリル、ブレードを縫う。
17ー(2)飾りモチーフを作る。スパンコール地に金ブレードを縫い、ホログラムスパンテープを貼る。回りにプリーツフリルを２周重ねて縫い、その上に末広ブレードをGクリアーでつける。
17ー(3)交差した部分にメッキパーツとダイヤ入りパーツをつける。これを３枚作る。
17ー(4)出来上がった飾りモチーフをスカートにバランスよく縫い止める。
17ー(5)ドレスと立ち衿にスナップをつける。

16

立ち衿を作ってつける

17 飾りモチーフを作る（3枚）

22

黒×金地のドレス

口絵／24ページ

■背負い羽根

■型紙

背負い羽根土台……………………………(B面) 1枚

■材料 黒×金地にレインボーホログラムの接着スパンニット(ドレスの裁ち残し分／薄手接着芯全面貼り済み)、黒サテン5cm×5cm、黒厚手接着芯（ダンレーヌ）10cm×5cm、黒山道テープ1cm幅30cm、黒セーラーライン5mm幅20cm、黒×銀ホログラムブレード6mm幅20cm、7色＋黒スパークオーガンジー各適量、22番金紙巻きワイヤー、0番鉄色かぎホック2組

■作り方

1 7色のオーガンジーをバイアスに切り、Gクリアーをつけた金の紙巻きワイヤーを挟んで、ミシンの片押さえを使ってワイヤーの際を縫う。

2 オーガンジーの根元と先端から1/3をカットし、布をほぐしながら繊維を出す。ワイヤーを曲げて余分な先端部分の繊維を切り、形を整える。

3 土台布に厚手接着芯を貼り、はがきくらいの厚さにして型紙通りにカットする。

4 サテン土台の裏にV字に折った肩背負い用のセーラーラインをミシンで縫う。

5 脇用のセーラーラインも両端を折ってかぎホックをつけ、ミシンでつける。

6 サテン側から切り口を隠すように山道テープをボンドで仮止めし、ミシンで縫う。

7 肩背負い用のセーラーラインも表からホログラムブレードを重ね、両端をミシンで縫う。

8 セーラーラインの両端にかぎホックをつける。

9 裏土台の上にGクリアーをたっぷり塗り、中心からオーガンジーの羽根を同色それぞれ3本と、間に黒1本の順で並べて貼る。羽根のワイヤー部分にGクリアーをたっぷり塗り、表土台を貼る。縁を隠すように金ブレードをつける。

10 ドレスを着せた人形に背負わせ、形を整える。

1・2 オーガンジーの羽根を作る

5cm
オーガンジー
18cm
ワイヤー24cm
わ
ワイヤーをはさんで縫う
切り取る 5mm
1.5cm
切り取る
織糸を適宜ほどく
必要な形に作る

4

型紙通りにカットする
セーラーライン
サテン地に接着芯を貼る
ミシン
接着芯側

5-(1)

セーラーライン

5-(2)

ミシン
1.5cm折って貼る
かぎホック（受）を内側につける

6

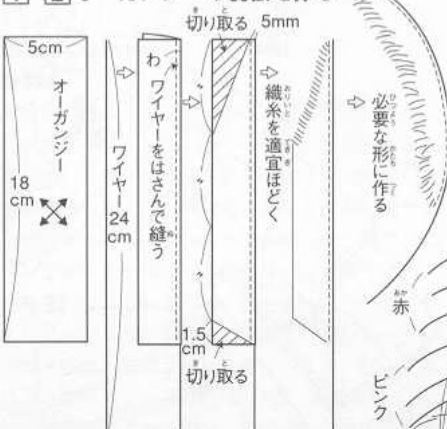
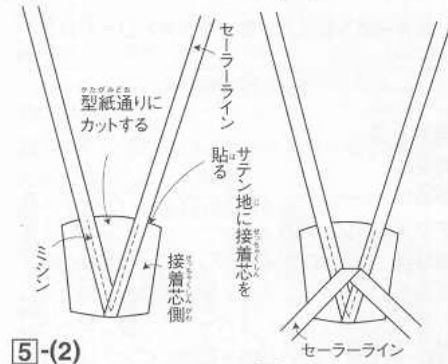
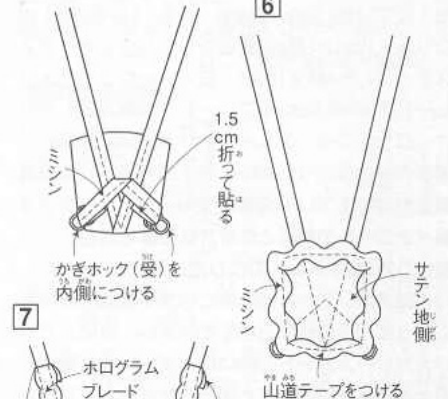
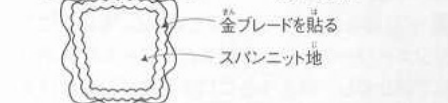
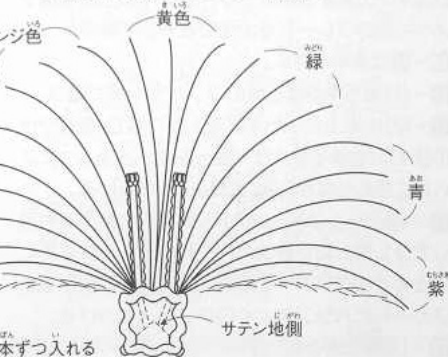
ミシン
サテン地側
山道テープをつける

7

ホログラムブレード
7cm
ミシン
内側に折る
ブレードをセーラーラインに重ねてつける

8

端を1.5cm内側に折り、かぎホック（カギ）をつける
接着芯側に羽根を貼る
サテン地側

9

羽根
金ブレードを貼る
スパンニット地
羽根を貼った上にスパンニット地の表土台を貼る、周囲には金ブレードを貼る

オレンジ色
黄色
緑
赤
青
ピンク
紫
サテン地側
間に黒20本を1本ずつ入れる

23

白オーロラ総スパンのアシンメトリードレス

口絵／27ページ

■ドレス
■型紙
身頃A……………………………………(A面)各1枚
アシンメトリースカート………………(B面)1枚
■材料　白オーロラ梨地総スパンコール地横40cm×縦40cm、白ナイロンシャー90cm幅35cm、白ナイロンタフタ70cm×35cm、スパークオーガンジー白(1段め・袖2枚フリル)10cm×205cm、ピンク(2段め・袖1枚フリル)10cm×165cm、水色(3段め・袖1枚フリル) 10cm×175cm、白両折りテトロンバイアステープ1.2cm幅×100cm、白×オーロラのラメブレード3mm幅575cm、銀ブレード1cm幅160cm、白台オーロラのラインストーントリム5.5cm幅20cm、白薄手の接着芯(アピコ50)、基本の共通材料各適量
■裁断前にスプレー洗濯糊使用…ナイロンタフタ
■ペチコートの材料と作り方は基本と同じ。
■作り方(基本ドレスの作り方は10・11ページ)
白の総スパンコール地の裏には薄手接着芯を全面に貼ってから型紙に合わせて裁断し、身頃とアシンメトリースカートの縫い代とダーツ等に掛かる部分のスパンコールは2箇所ハサミを入れて布から外す。この時スパンコールをつけている糸を切らないように注意する。
1～5は基本と同じ。
6袖フリルの寸法に切ったオーガンジーの端を三つ巻き押さえを使ってミシンで縫い、表からラメブレードを乗せてミシンで縫う。左右分をそれぞれ2枚重ねてギャザー寄せのミシンをかけ、身頃の袖ぐりと合わせながらギャザーを寄せて袖つけ線を縫い、縫い代の端ぎりぎりにミシンをかける。
※縫い代はこのドレスのみ身頃側に片倒しにする。
7～11は基本と同じ。9はなし。
12土台スカートは白のナイロンタフタで裁ち、基本と同じ。
13－(1)裾をバイアステープで始末し、その上にアシンメトリースカートの総スパンコール地をボンドで仮止めし、後ろ中心にロックミシンをかける。
13－(2)フリルを袖同様に作る。
13－(3)フリルのつけ位置の線をチャコで書き、フリルを下の段から順につけ、フリルの上端を隠すように銀のブレードをのせてミシンで縫う。
14～16は基本と同じ。
17－(1)後ろ中心は各段のフリルも一緒に縫う。
17－(2)出来上がった洋服を人形に着せ、袈裟がけのライン(右後ろ衿ぐり～肩～左脇～左後ろウエスト)に添わせながら銀のブレードをつける。
17－(3)ラインストーンのトリムを石の配列を利用してひし形に切り分け、ハードチュールに星形にまとめてGクリアーで貼り、星形ごとに切り抜き、スカートにバランスよくGクリアーでつける。
17－(4)後ろあきにスナップをつける。

23

白オーロラ総スパンのアシンメトリードレス

口絵／27ページ

■背負い羽根

■型紙

背負い羽根土台……………………………（B面）1枚

■材料　白オーロラ梨地総スパンコール（ドレスの裁ち残し分／薄手接着芯全面貼り済み）、白サテン5cm×5cm、白薄手接着芯（アピコ50）10cm×5cm、白山道テープ1cm幅30cm、白セーラーライン5mm幅20cm、白×銀のホログラムブレード6mm幅20cm、白オーストリッチティップ20本、白ベビーマラボー約35cmにカットしたもの10本と10cm1本、22番白紙巻きワイヤー、0番銀色かぎホック2組

■作り方

●大羽根の準備（オーストリッチのティップ）

軸の長さを揃えて余分な毛を刈り込み、紙巻きワイヤーを羽根の軸にボンドでつけて紙テープを巻く。毛先を物差しやナイフの背でしごいてカールさせる（59ページ参照）。

●ナイアガラの準備（ベビーマラボー）

ベビーマラボーは1ヤード（約180cm）で売られているので、5等分して35cmくらいの長さを10本用意する。紙巻きワイヤーを13cmに切り、先をペンチで丸めておく。先端から9cmまでGクリアーをつけ、ベビーマラボーの毛並みを分けて芯に近い部分に貼る。

1 土台の作り方は63ページを参照して作る。
2 土台の裏にGクリアーをたっぷり全面に塗り、中心から大羽根を並べて貼る。その上にナイアガラを重ねて貼る。
3 羽根のワイヤー部分にたっぷりGクリアーを塗り、土台を表から貼り、その縁にもGクリアーをつけてナイアガラ（ベビーマラボー）で隠すように貼る。
4 Gクリアーが乾いてからナイアガラ（ベビーマラボー）のワイヤーが入った先を22番の紙巻きワイヤーを順番に絡めて固定する。
5 ドレスを着せた人形に背負わせて、大羽根とナイアガラのワイヤーを背中から突き出たように土台から折り曲げ、全体のバランスを見ながら整える。

■シルクハット

■型紙

シルクハットトップ、シルクハットつば、シルクハットサイド…………………………（B面）各1枚

■材料　白オーロラ梨地総スパンコール地（ドレスの裁ち残し分／薄手接着芯全面貼り済み）、白サテン20cm×15cm、白ブレード6mm幅35cm、白グログランリボン8mm幅15cm、白台オーロラのラインストーントリム6mm幅20cm、白台オーロラのダイヤ入りパーツ1個、白厚手の接着芯（ダンレーヌ）20cm×20cm、白フェザースプレー4本、ビーズ入りフェザースプレー（白、ピンク、水色を各1本）、22番紙巻きワイヤー20cm、白ベビーマラボー6cm

■作り方

1 大まかに切ったスパンコール地とサテンに厚手接着芯を貼り、はがきくらいの硬さにして切る。
2 サイドの裏表をボンドで貼り合わせ、上端に切り込みを入れて折り癖をつけ、後ろを挟み込んで輪にする。
3 つばの外回りにワイヤーを入れて貼り合わせ、内側に切り込みを入れる。
4 サイドとつばを貼り合わせる。
5 トップを貼り、トップとサイドのつなぎ目、つばの縁をそれぞれブレードで挟むようにつける。
6 内側に両端を折ったグログランリボンを貼る。
7 サイドにラインストーンのトリムを巻き、蝶リボンとパーツをつける。
8 フェザーをまとめ、根元のワイヤーをトップにつけ、根元を隠すようにベビーマラボーを巻く。

〈使用する型紙〉

■長手袋の材料と作り方は61ページを参照。

24

タオルハンカチの楽屋着

口絵／67ページ

■楽屋着

■材料(各１体分)タオルハンカチ約25cm×25cm、リカピン２本、綿ロープ太さ５㎜を50cm

■着せ方

1 タオルハンカチを対角線に置く。

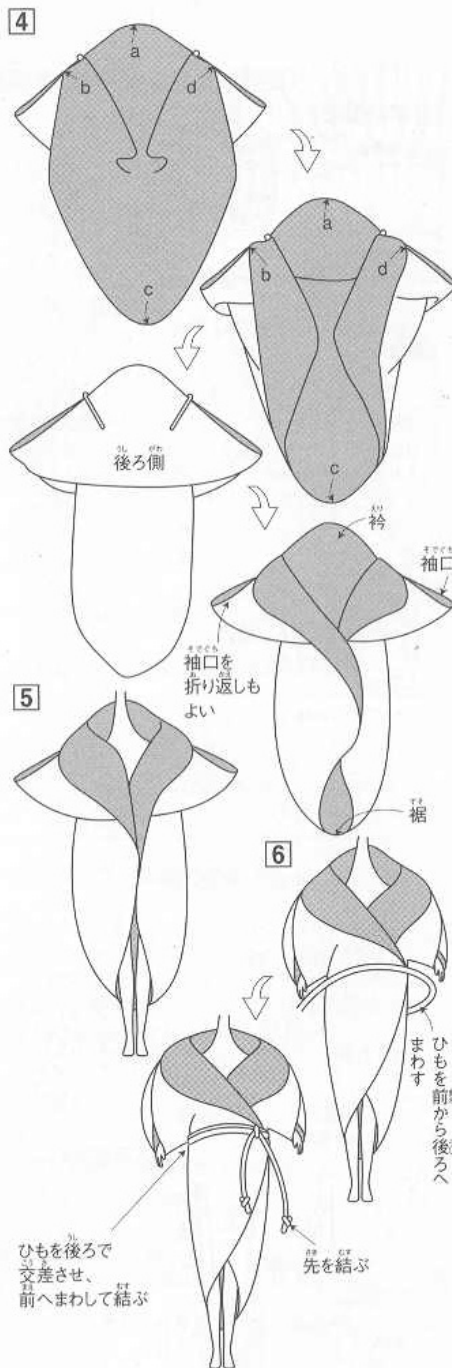
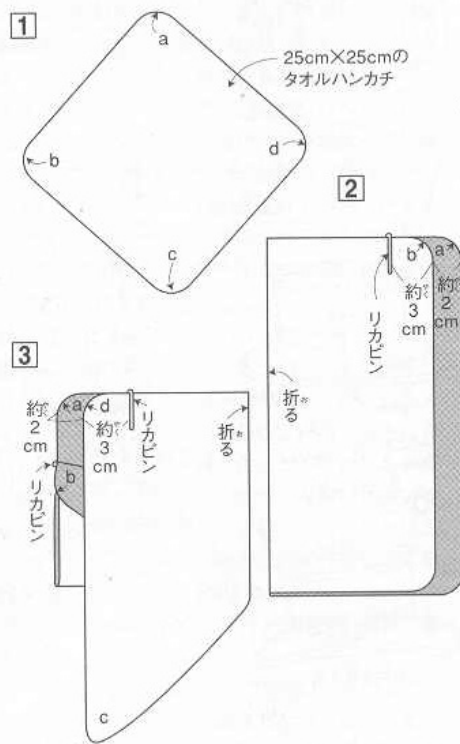
2 ２cmくらいずらして畳み、上になった端から３cm位を直角にリカピンで挟む。

3 反対側も同様にリカピンで挟んで止める。

4 開きながら後ろを折り込む。

5 人形に袖を通して着せる。

6 左前に合わせ、前から綿ロープをまわし、背中で交差させて前に戻し、蝶結びする。綿ロープの端を玉に結んで切る。

7 写真を参照して自由に形を整える。

☆15ページ15 ラメシャンタンの裁ち方図

☆20ページ20 ベルベットの裁ち方図

Jenny
16

1cm

15 ページ 15
8枚接ぎスカート

20 ページ 20
オーバースカート

D

CONNECT
HERE

サイド
1cm
Jenny 16
19ページ19 オーバースカート
対称に各1枚
前側
たたむ
JOIN
HERE
Join with
85a
here
v

Jenny 16
19ページ19
見せかけアンダースカート
1枚
わ
前中心
1cm
飾り布つけ位置
1段めフリルつけ位置
2段めフリルつけ位置
3段めフリルつけ位置

Jenny 16

19ページ19 オーバースカート

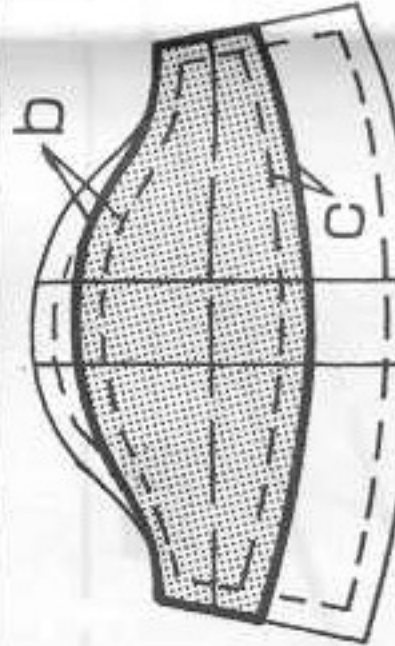
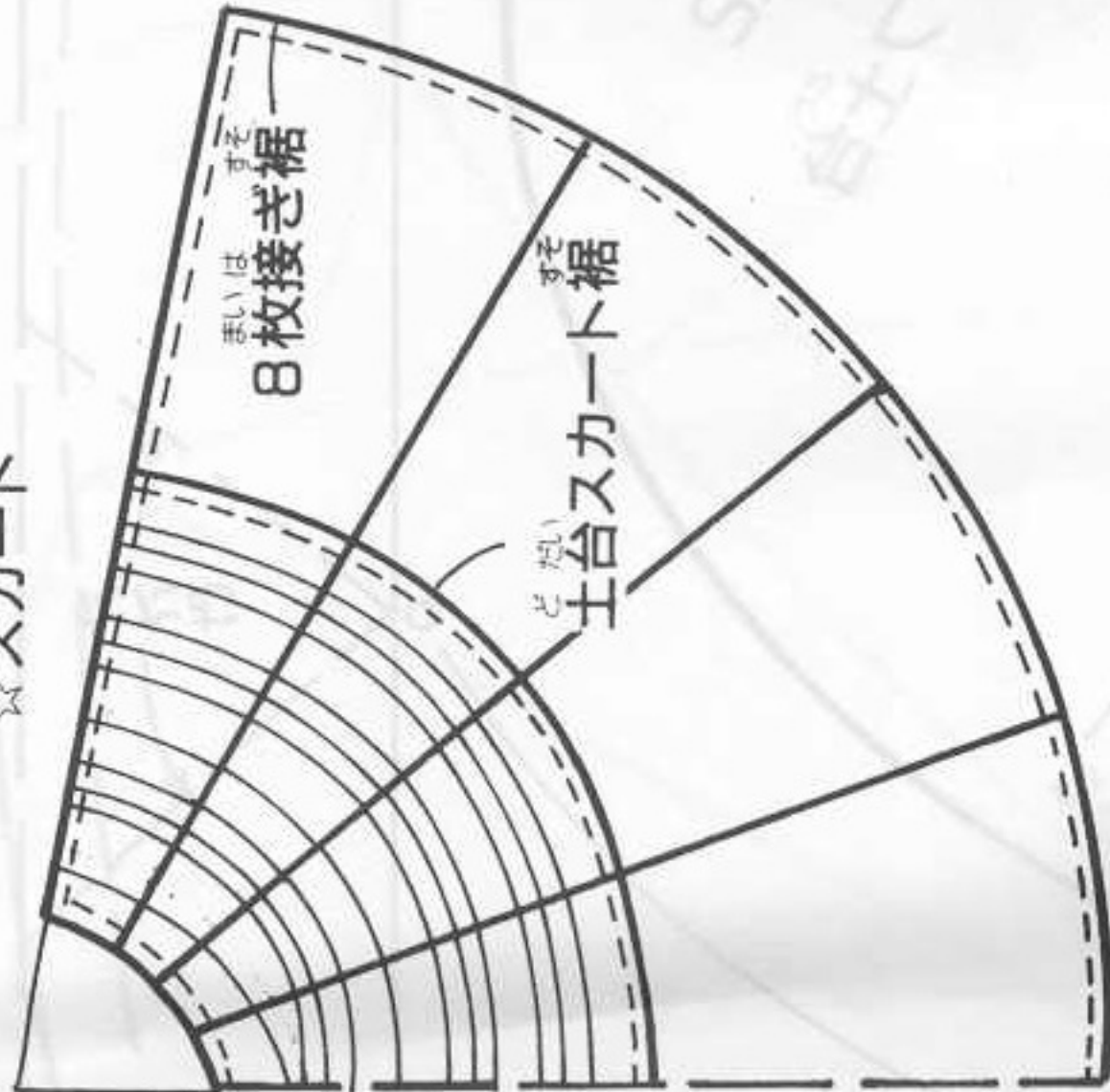
対称に各1枚

サイド

1cm

JOIN HERE

後ろ中心

24ページ22

飾(かざ)りモチーフ土台(どだい)

Jenny 16

cm

a
b
c
c
3・14
21
21
a
12
a
f
をつなげる
d
長袖
fをつなげて袖幅を狭くする
☆スカート
8枚接ぎ裾
土台スカート裾
☆土台スカート
Jenny 16
A
B

1・10・11
12・13・14・15
16・17・18・19
20・21・22
23
後ろ
身頃A・B
A
B
Jenny
16
前中心
ダーツ
cm

200%に拡大すると
実物大
穴
折り線
5ページ4
折り線
折り線
Jenny16

a
1・10・11・12・13
・14・15・18・20
21
f
f
b
後ろ
前
Jenny 16
cm
e
袖
12 わ
1・10・11・13・14
15・18・20・21
c
12つなぐ
12
d
わ
中心
17・ページ17
袖
ゴム引き
ゴム引き
Jenny 16
cm

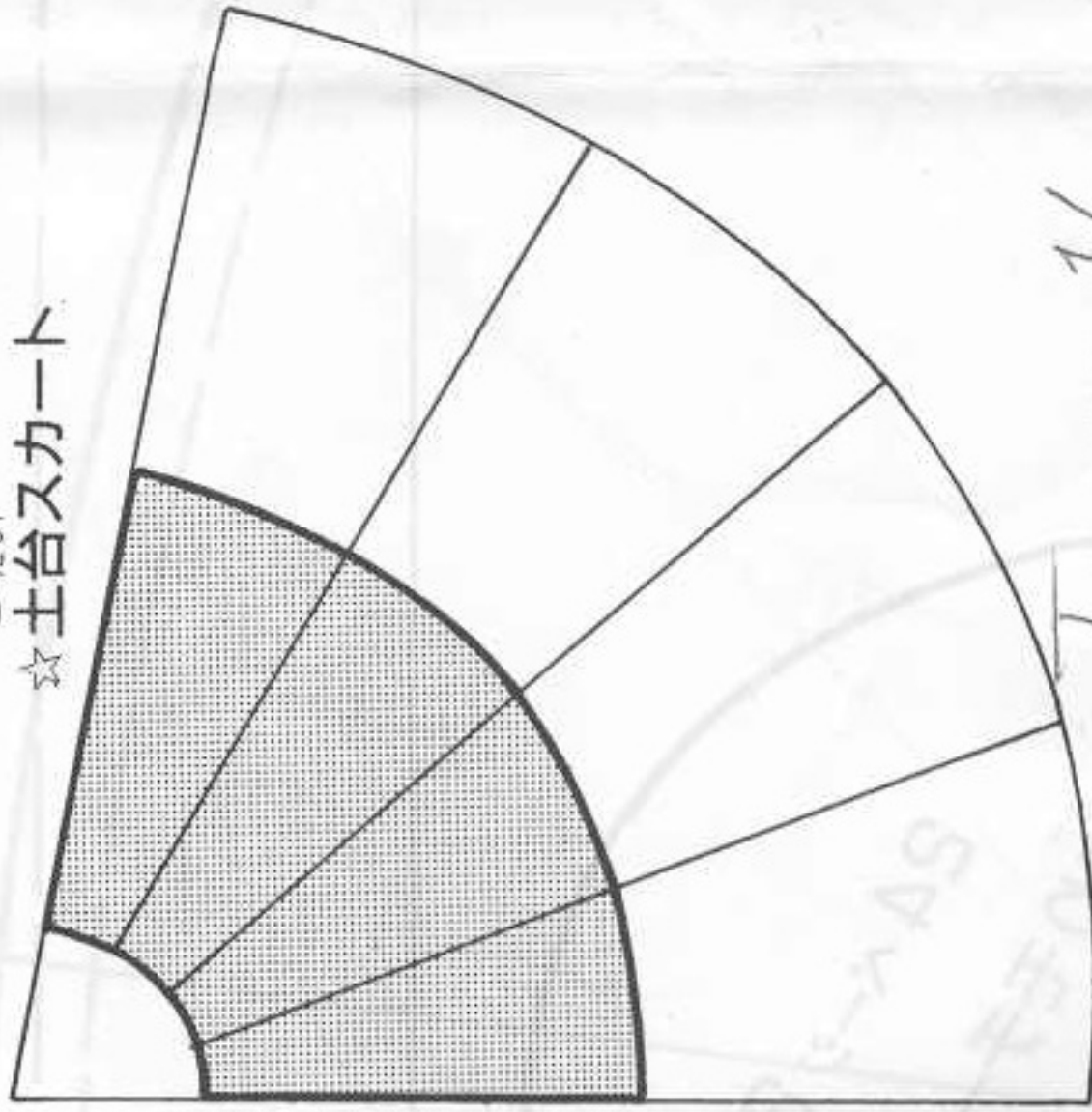
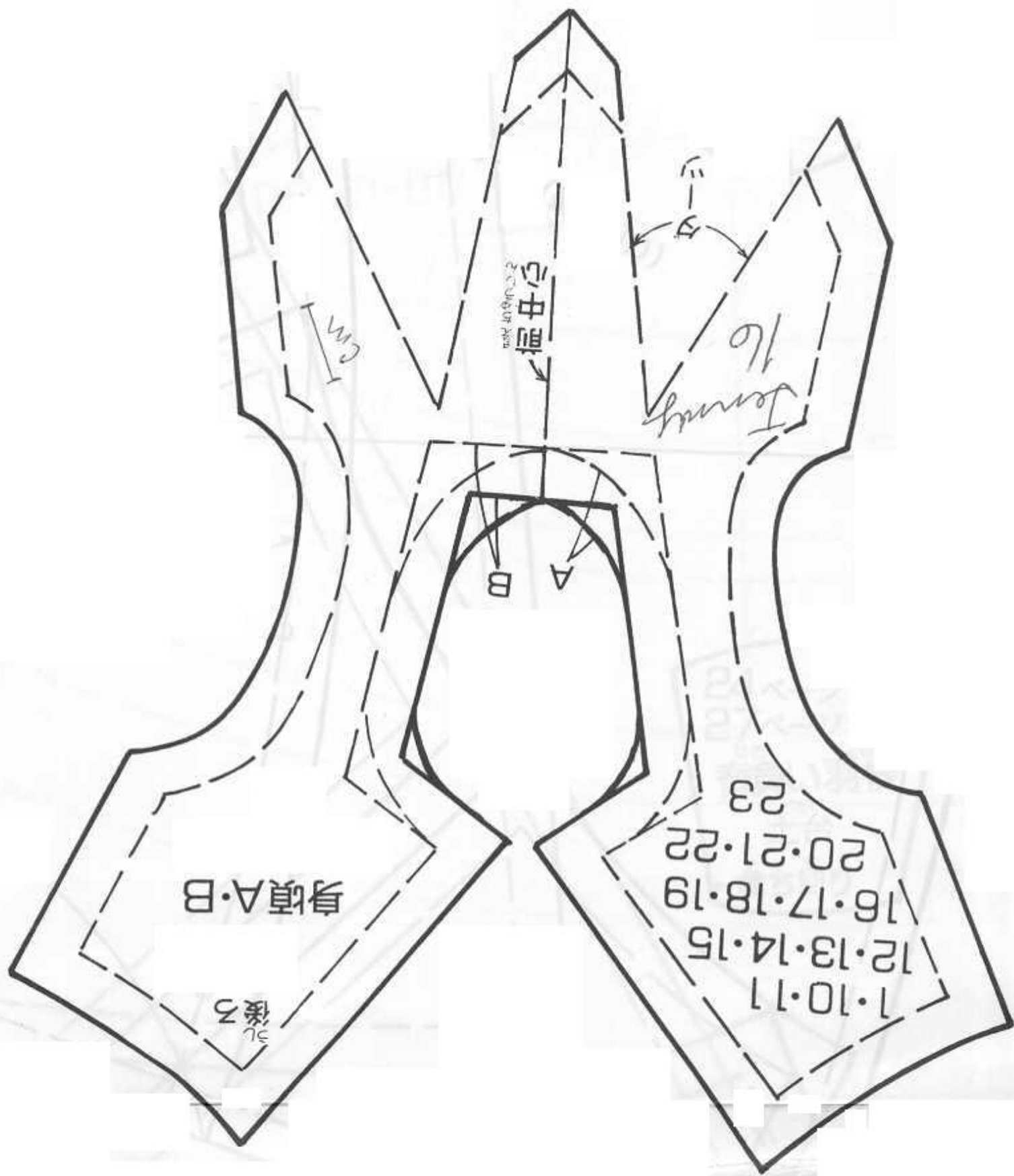
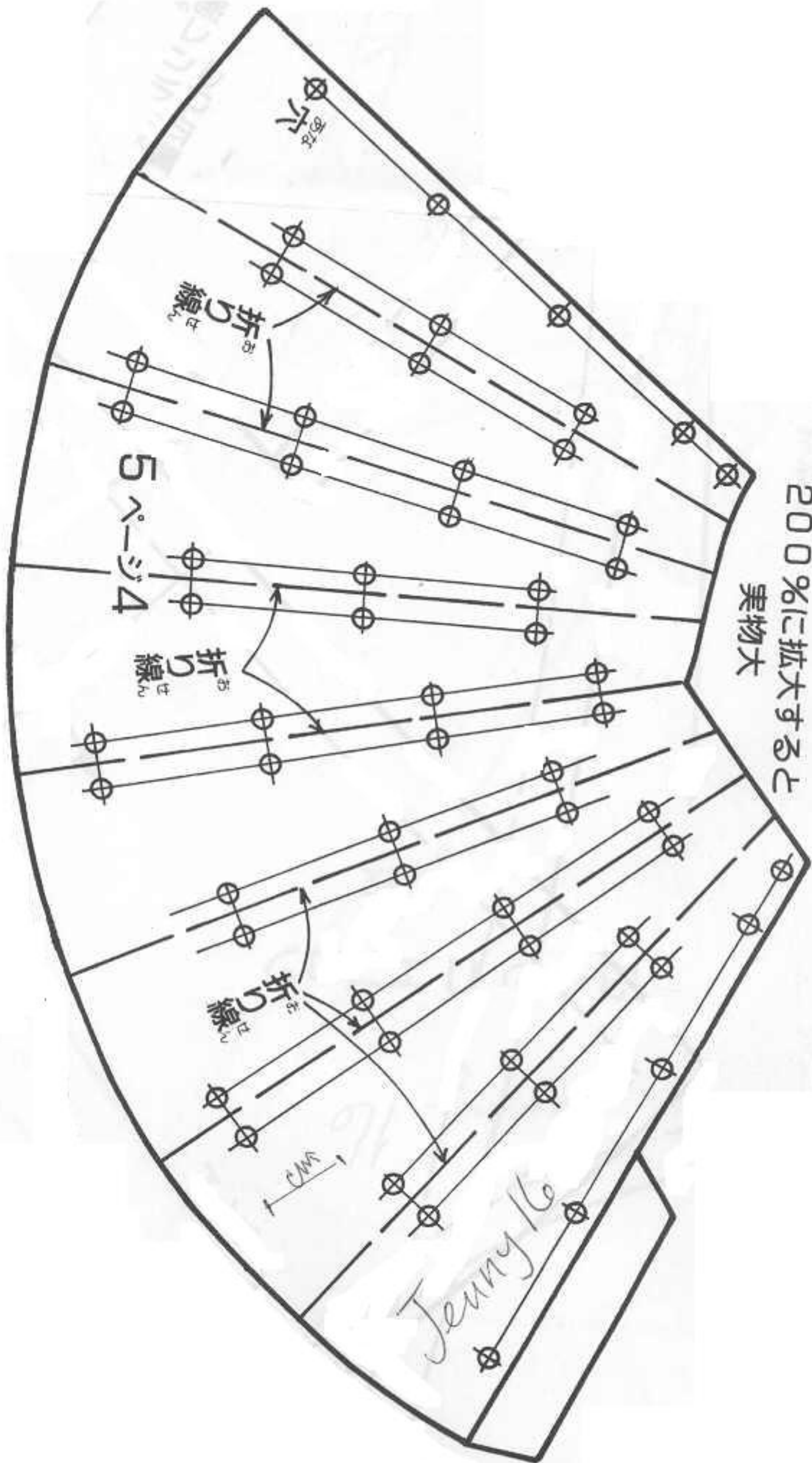
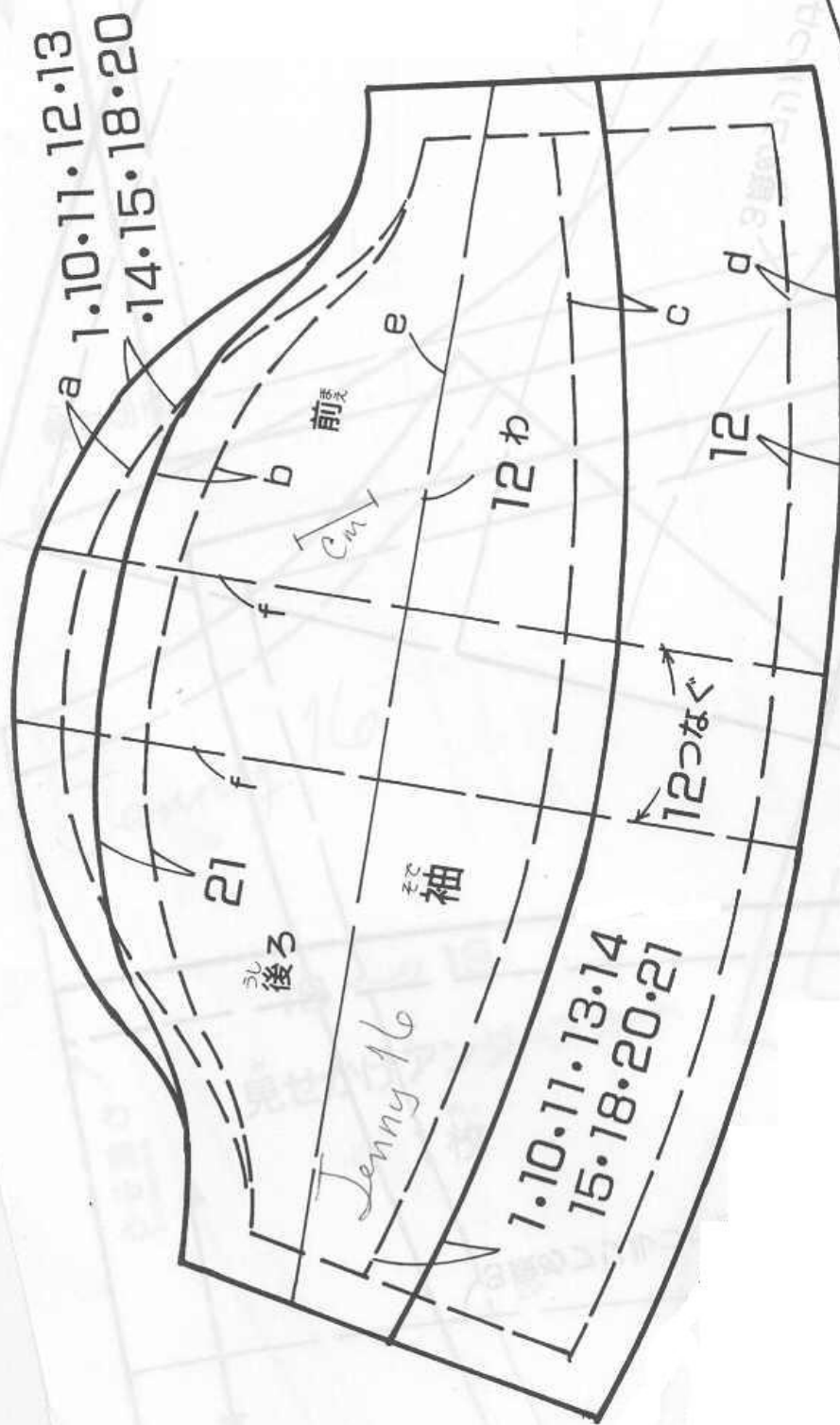
Jenny
16

18 ページ 18

オーバースカート

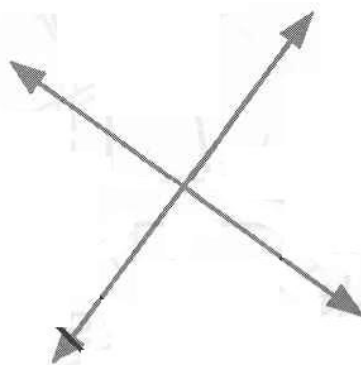
対称に各1枚

A

前

Jenny 16
15ページ14
オーバースカート
C
cm
対称に各1枚
Jenny 16
15ページ14
オーバー
スカート
D
後ろ中心
対称に各1枚
cm

CONNECT

HERE

1cm

Jenny 16

1cm
13ページ 12
ヘッドドレス
Jenny 16
裁ち切り
15ページ 15
ヘッドドレス
Jenny 16
裁ち切り

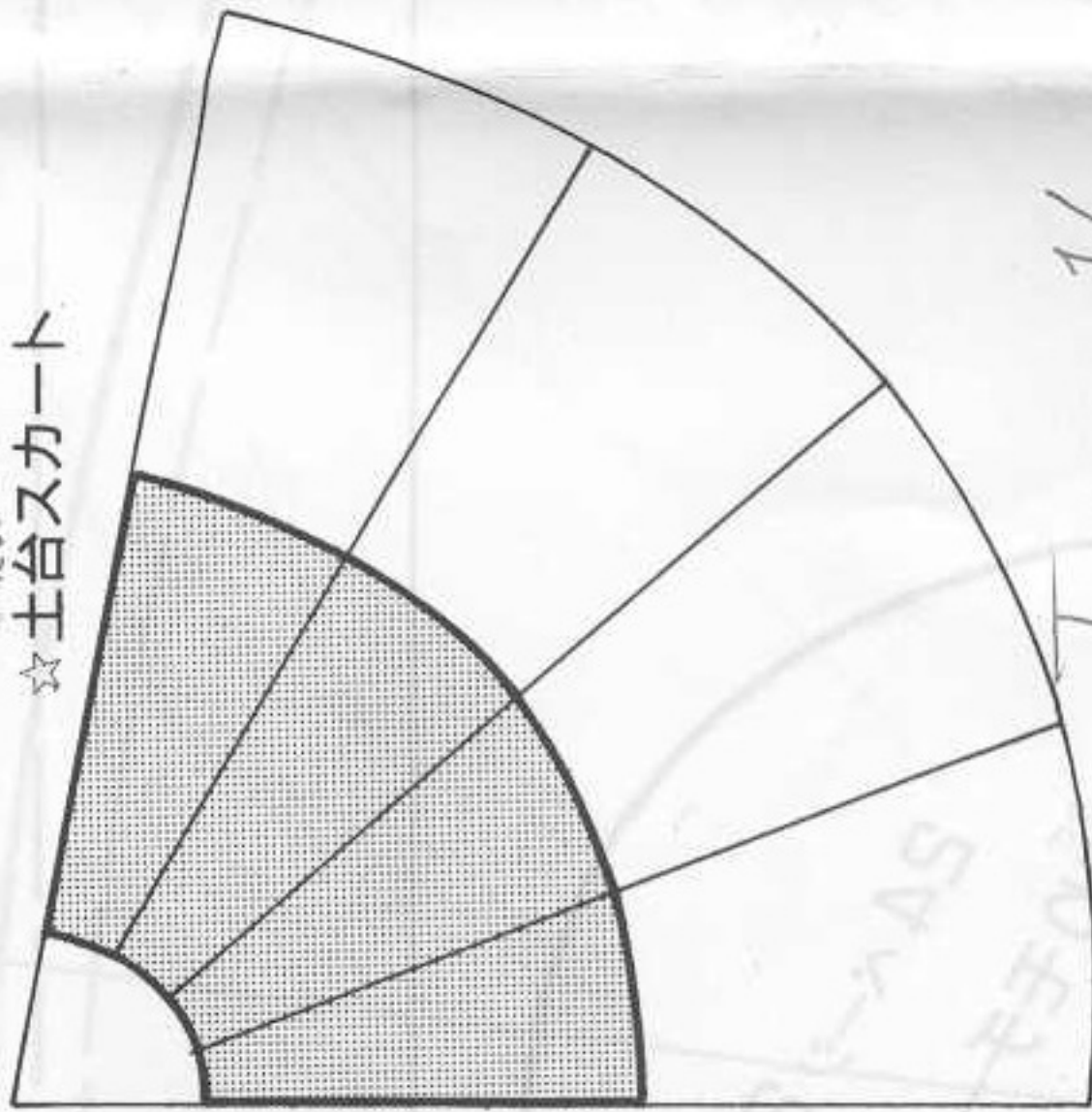
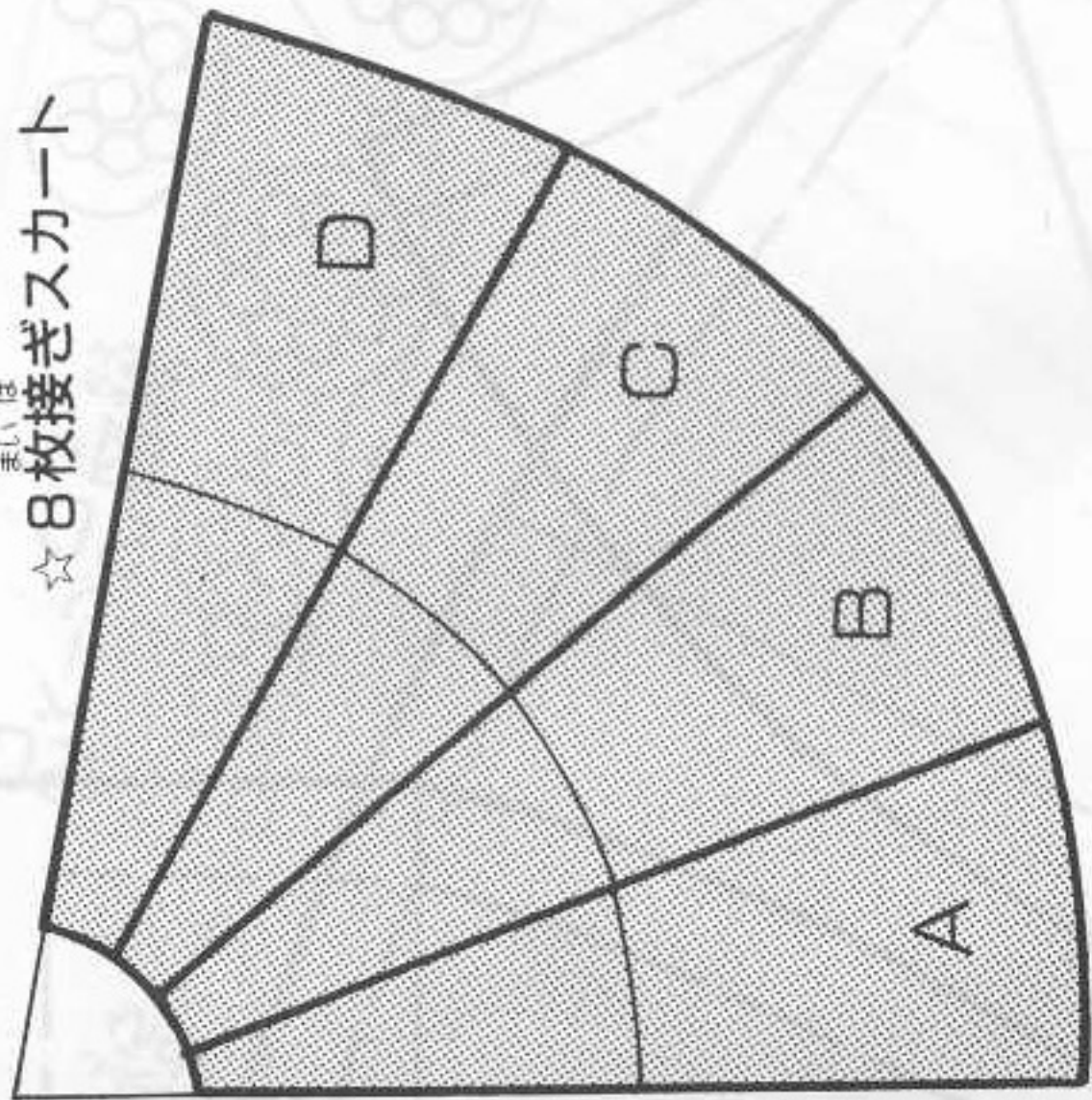
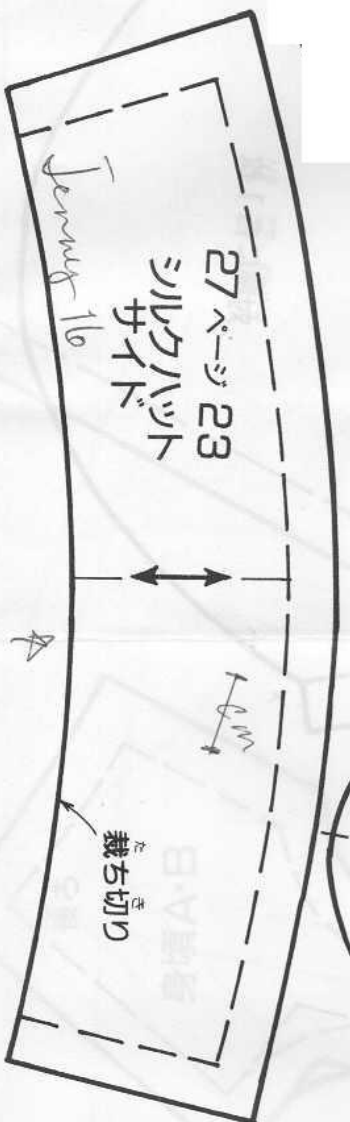
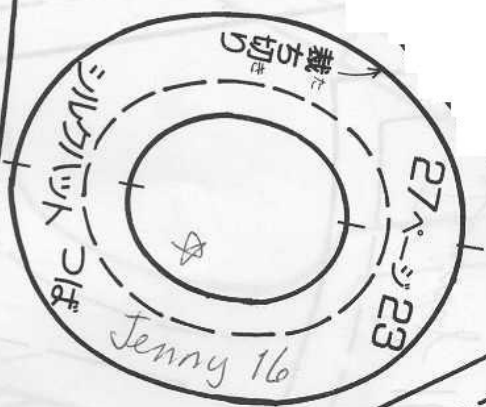
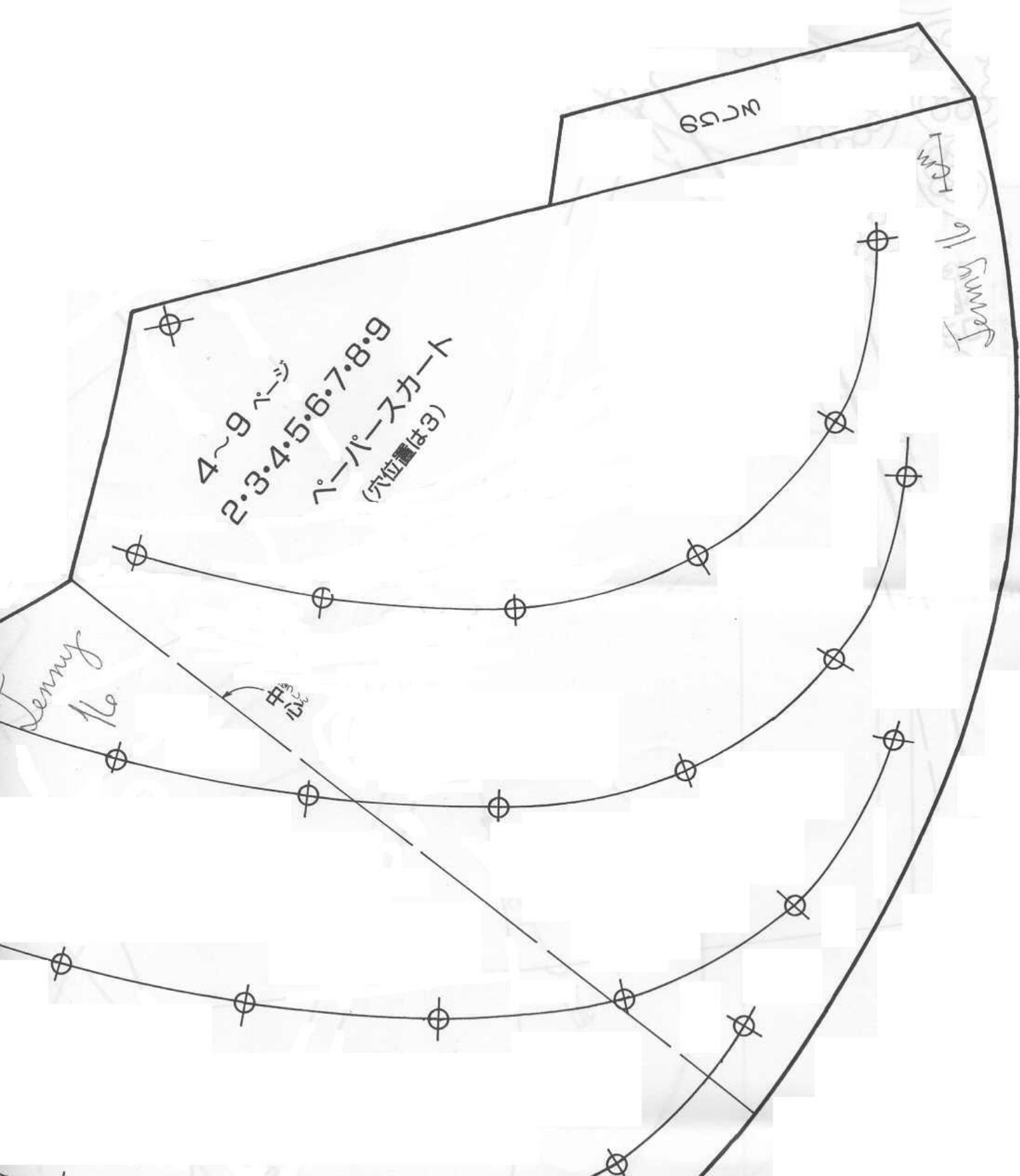
実物大型紙
B面
Jenny 16
サイズ
13ページ 11 エプロン
1枚
前中心わ
1cm
裁ち切り

コピーして切って使える実物大型紙A面

20ページ20
立ち衿
対称に各1枚
裁ち切り
24ページ22
立ち衿
対称に各1枚
裁ち切り
27ページ23
裁ち切り
シルクハット つば
14ページ13
23ページ21
27ページ23
長手袋
わ
各2枚
27ページ23
シルクハット
サイド
裁ち切り
27ページ23
シルクハット
トップ
(裁ち切り)

4〜9 ページ
2・3・4・5・6・7・8・9
ペーパースカート
（穴位置は3）
中心

後ろ中心
サイド
a
b
c
d
e
f
g
h
i
j
k
l
m
n
土台スカート
1・10・11・12・13・14・15
18・19・20・21・22
Jenny 16
Jenny 16

Jemny 16

18 ページ 18

オーバースカート

B

前側
サイド
Jenny 16
19ページ19　オーバースカート
対称に各1枚
1cm
後ろ中心
Jenny 16
バイアステープつけ位置
12ページ10　帽子
中心
対称に各1枚

後ろ中心
d
e
f
g
Jenny 16
サイド
Join Here
どだい
土台スカート
1・10・11・12・13・14・15
18・19・20・21・22
まえちゅうしん
前中心わ
Jenny 16

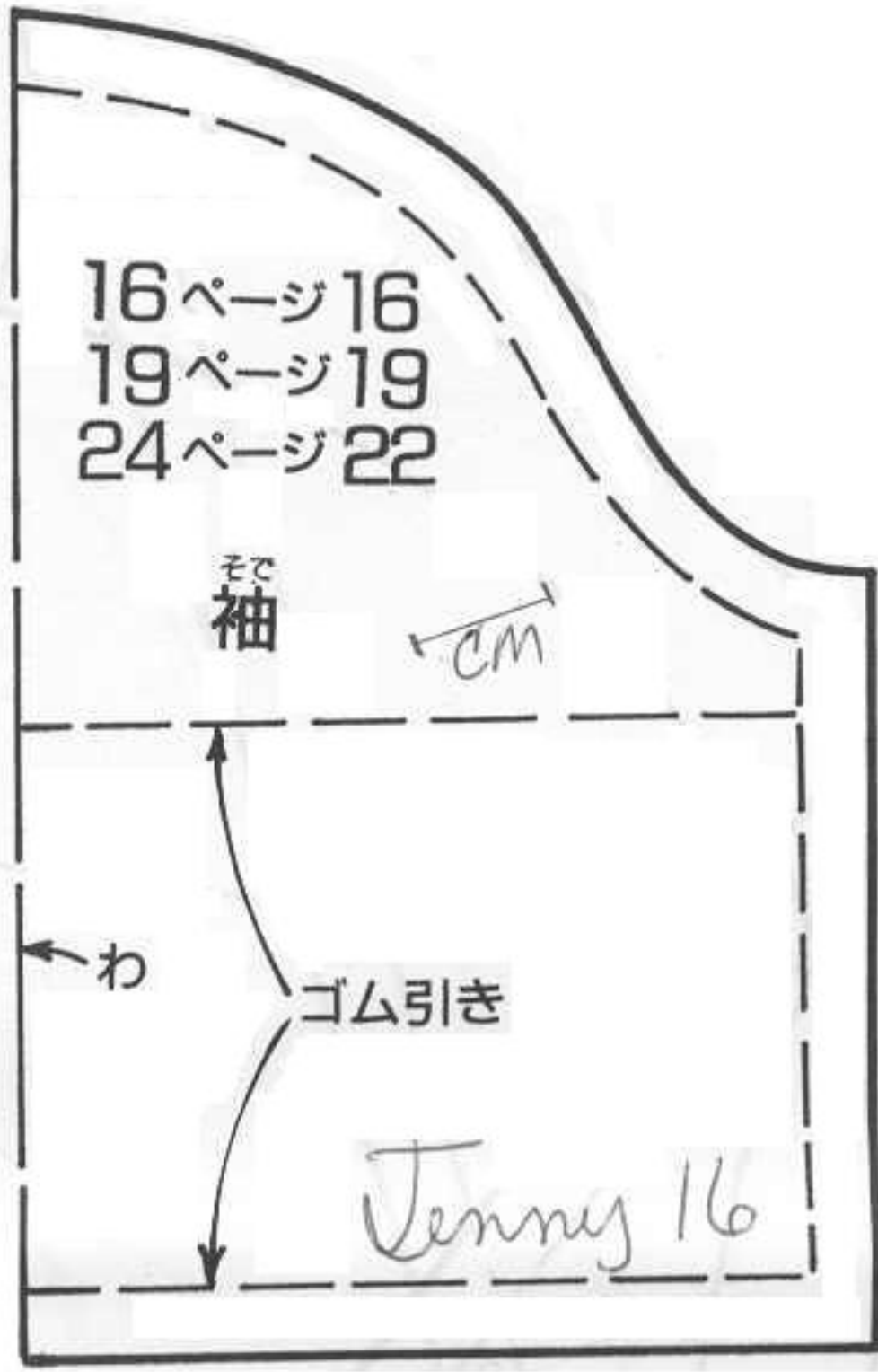
16ページ 16
19ページ 19
24ページ 22

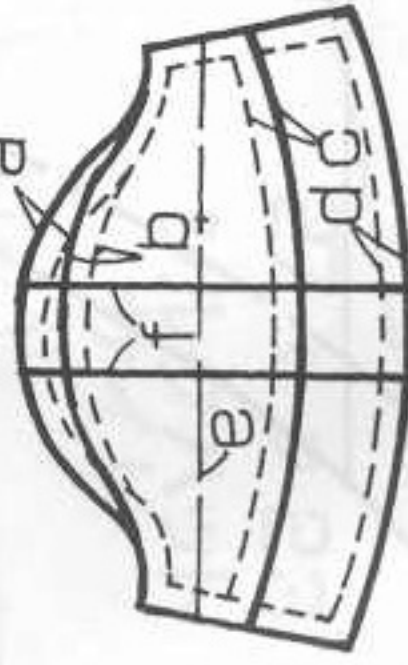
袖（そで）

cm

わ

ゴム引き

Jenny 16

☆型紙の作り方・見方

☆本誌掲載スタイルの実物大型紙です。
使用したいスタイルの型紙をコピーして切って使用します。
☆身頃、袖、スカートで共通型紙になっているのが多くあります。
身頃はA・Bの2種、袖は4種類重なっています。作り方ページの使用する型紙を参考に、間違えないように用意しましょう。
☆地の目は作り方ページを参照します。スカートは土台スカートと、8枚接ぎスカートは別々に縫い代つきの型紙になっていますが、右図のように1枚の型紙から発展させた物です。

Jenny 16

☆身頃

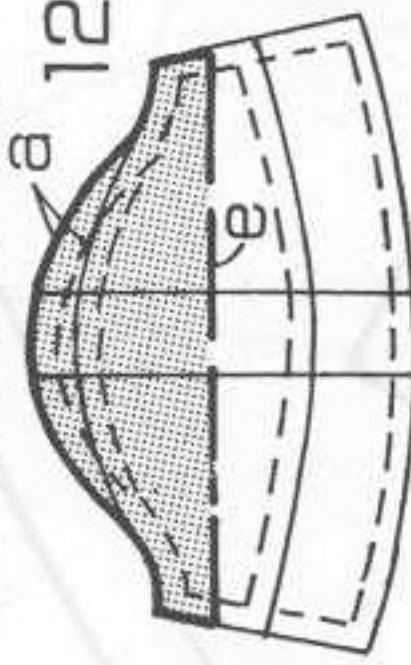
衿ぐりの丸A、角Bの2種類
他はすべて共通

☆袖

袖山a・bの2種類、袖口はc・d・eの3種類。それぞれを組み合わせる。布目は作り方ページを参照する。

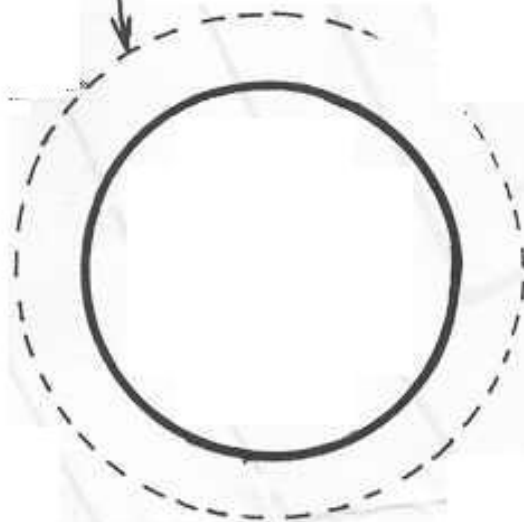
半袖

Jenny 16

長

fをつなげて

Jenny
16
後ろ中心
18ページ18
オーバースカート
対称に各1枚
1cm
13ページ11
ヘッドドレス
裁ち切り
15ページ14
24ページ22
ヘッドドレス
裁ち切り
24ページ22
27ページ23
背負い羽根
土台
裁ち切り

Jenny 16

バイアステープつけ位置

12ページ10 帽子

Jenny 16

裁ち切り

わ
前中心

18 ページ18

見せかけアンダースカート
1枚

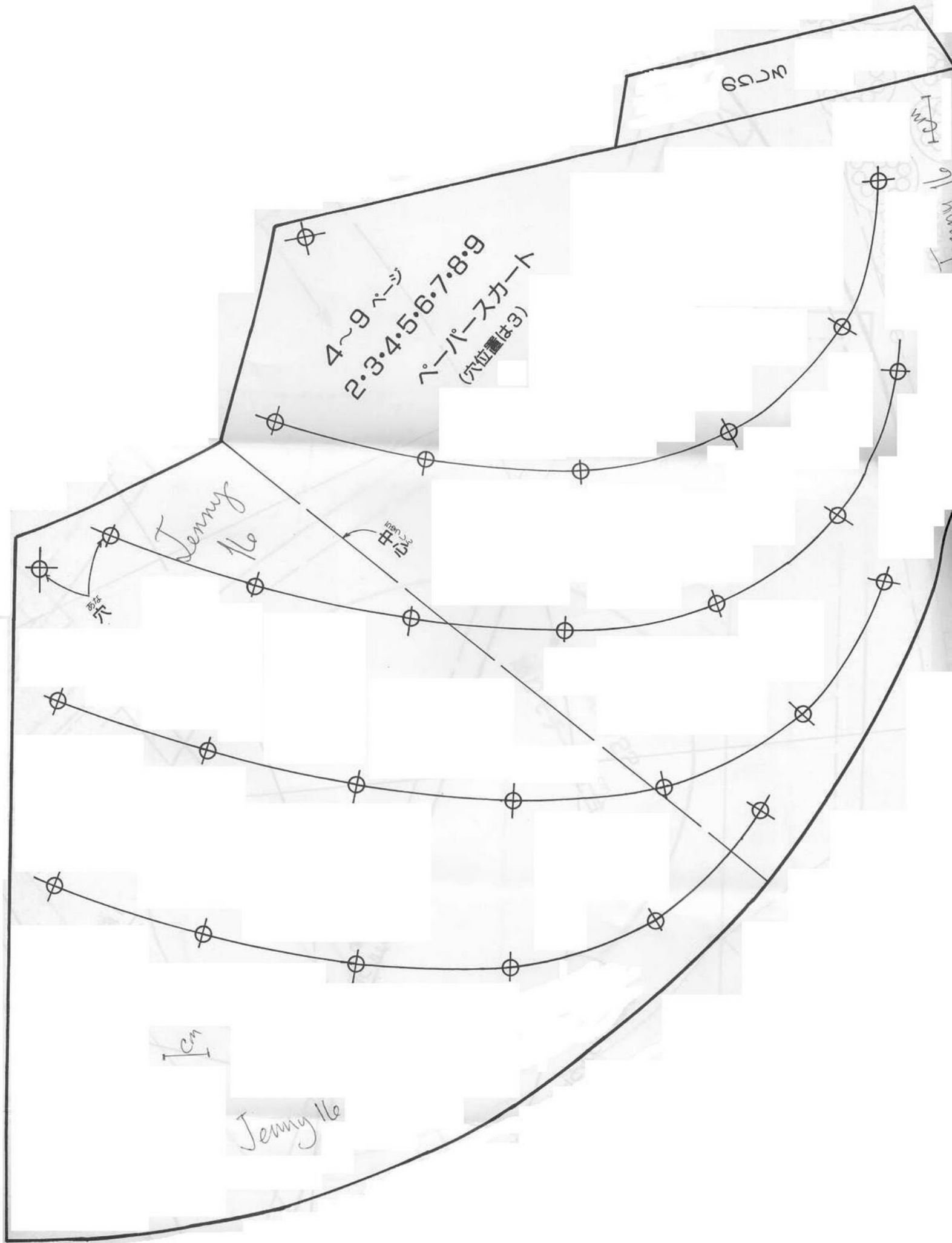
1段めフリル

2段めフリル

3段めフリルつけ位置

1cm

裾フリル
つけ位置

4~9 ページ
2・3・4・5・6・7・8・9
ペーパースカート
(穴位置は3)
中心
穴
のりしろ
Jenny 16
cm
Jenny 16

対称に各1枚
15ページ14
オーバースカート
B
Jenny 16
Jenny 16
わ
前中心
15ページ14
オーバースカート
A

昭和40年代に家庭を飾った
フランス人形をテーマに、
お子さまでも簡単に
工作感覚で作れるドレスから、
懐かしいポーズ人形風ドレスや、
きらびやかなベルサイユ宮殿の舞踏会、
宝塚の舞台衣装風まで、
一度は作ってみたかった
憧れのドレスを、
ご一緒に楽しく作りましょう。

Heart Warming Life Series
わたしのドールブック
ジェニーno.16　フランス人形風ドレス
本多淑人作品

発行日／2003年10月30日
発行人／瀬戸信昭　編集人／小林和雄
発行所／株式会社日本ヴォーグ社
〒162-8705 東京都新宿区市谷本村町3-23
販売☎03-5261-5081　編集☎03-5261-5083
出版受注センター☎0424-39-7077　FAX0424-39-7877
振替／00170-4-9877

この本に関するご質問をお受けいたします。
受付時間●午後1時～5時
（土曜日／日曜日／祭日を除く）
上記時間以外●留守番電話に接続しますので、
案内に従ってご用件を録音してください。
本のコード●NV4017
書名●ジェニーno.16
編集担当●石坂文子
ご質問電話TEL03-5261-5083
手作りを応援するホームページ
http://www.tezukuritown.com

9784529038768
ISBN4-529-03876-9
C9477 ¥1400E
1929477014008

NV4017
定価 本体1,400円
＊消費税が別に加算されます。

印刷所／大日本印刷株式会社
雑誌67528-72